

始



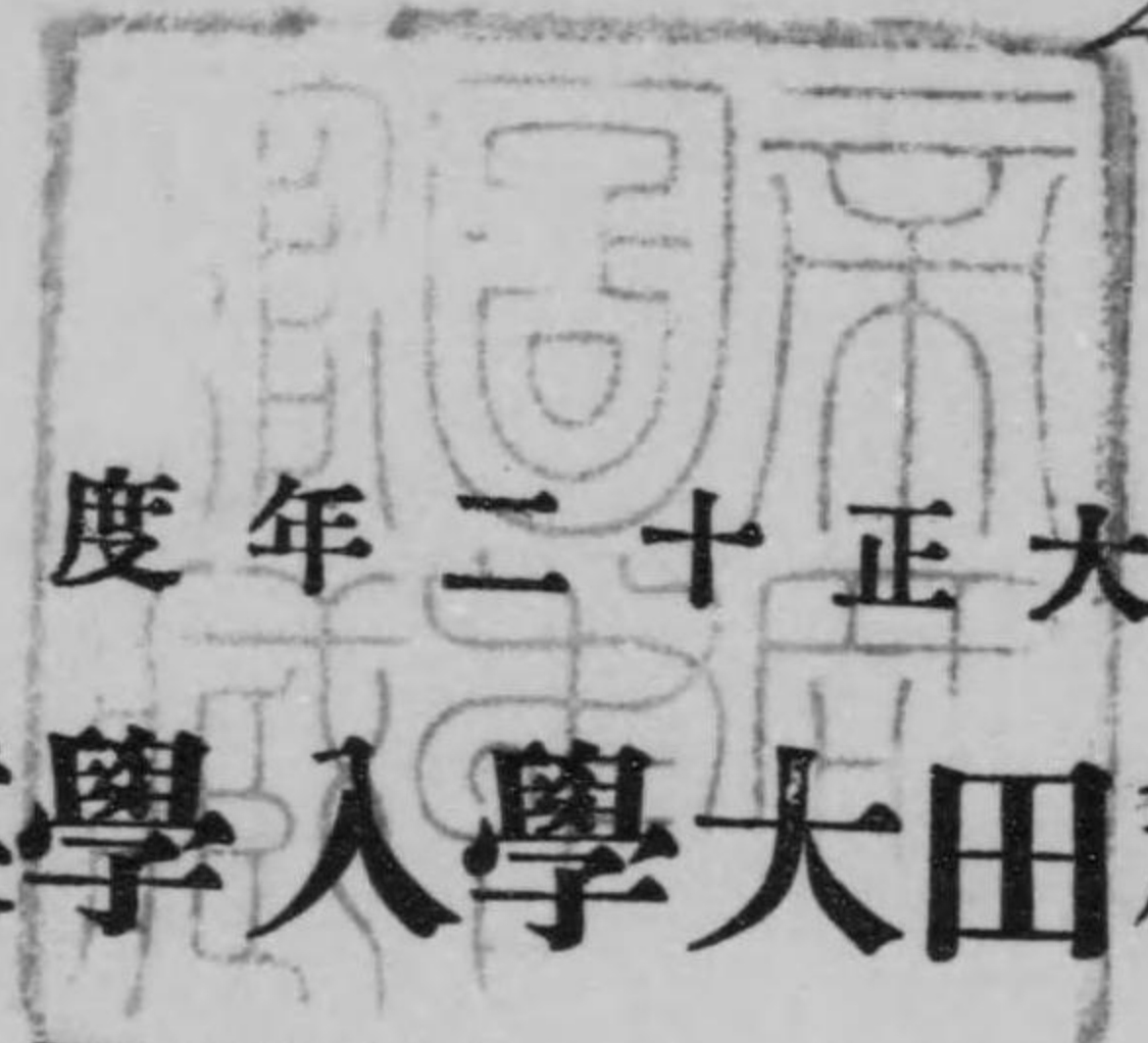
大正十二年
早稻田大學入學案內

附最近五年間試驗問題
及模範解答

第一高等學院
第二高等學院
高等師範部
專門部

早 稻 田
廣 文 堂 書 店

282-30



大正十二年

早稻田大學入學案內

附最近三年間試驗問題

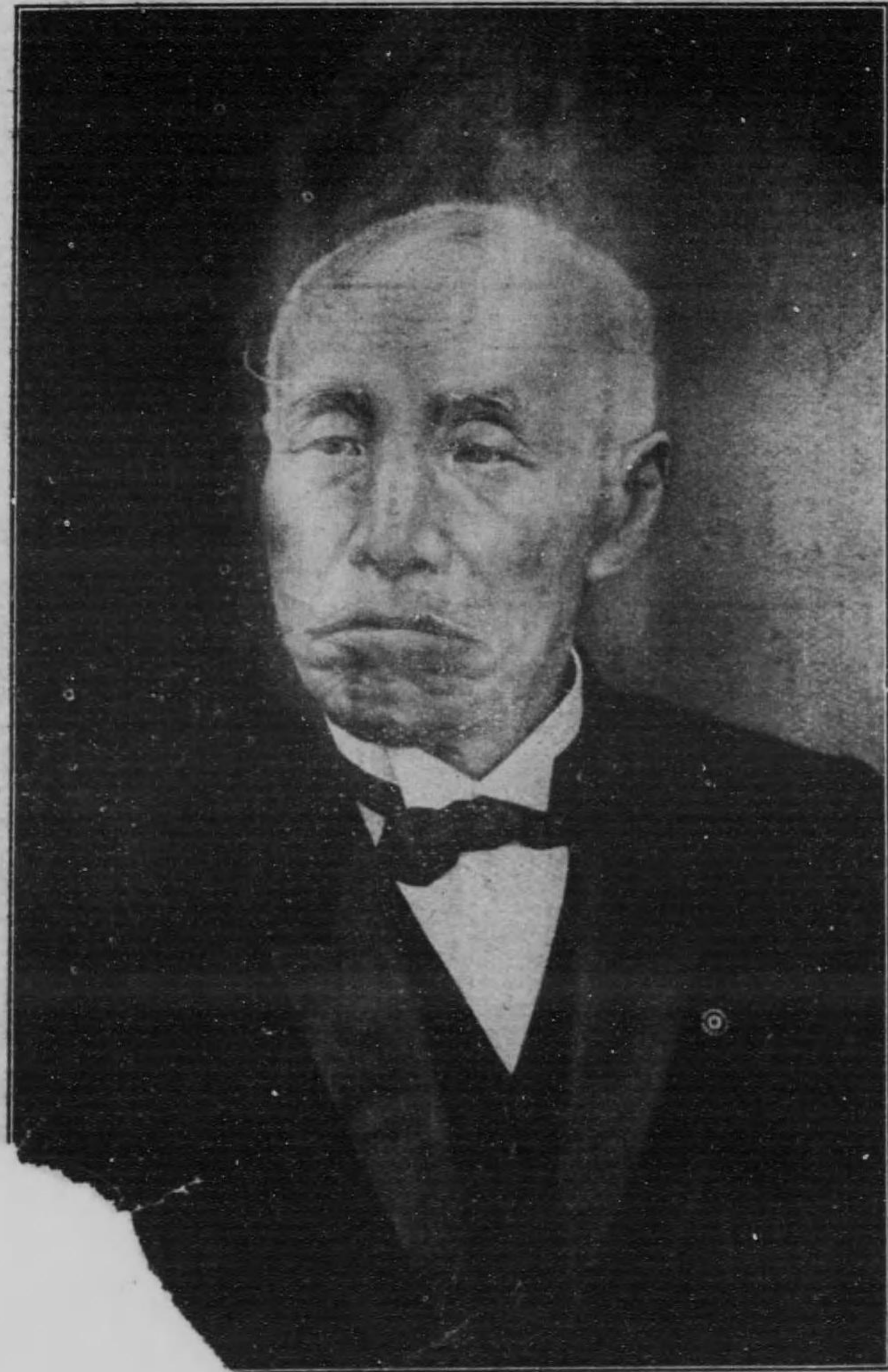
及模範解答

專	高	第	第
門	等	二	一
部	師	高	高
	範	等	等
	部	學	學
		院	院

早 稻 田

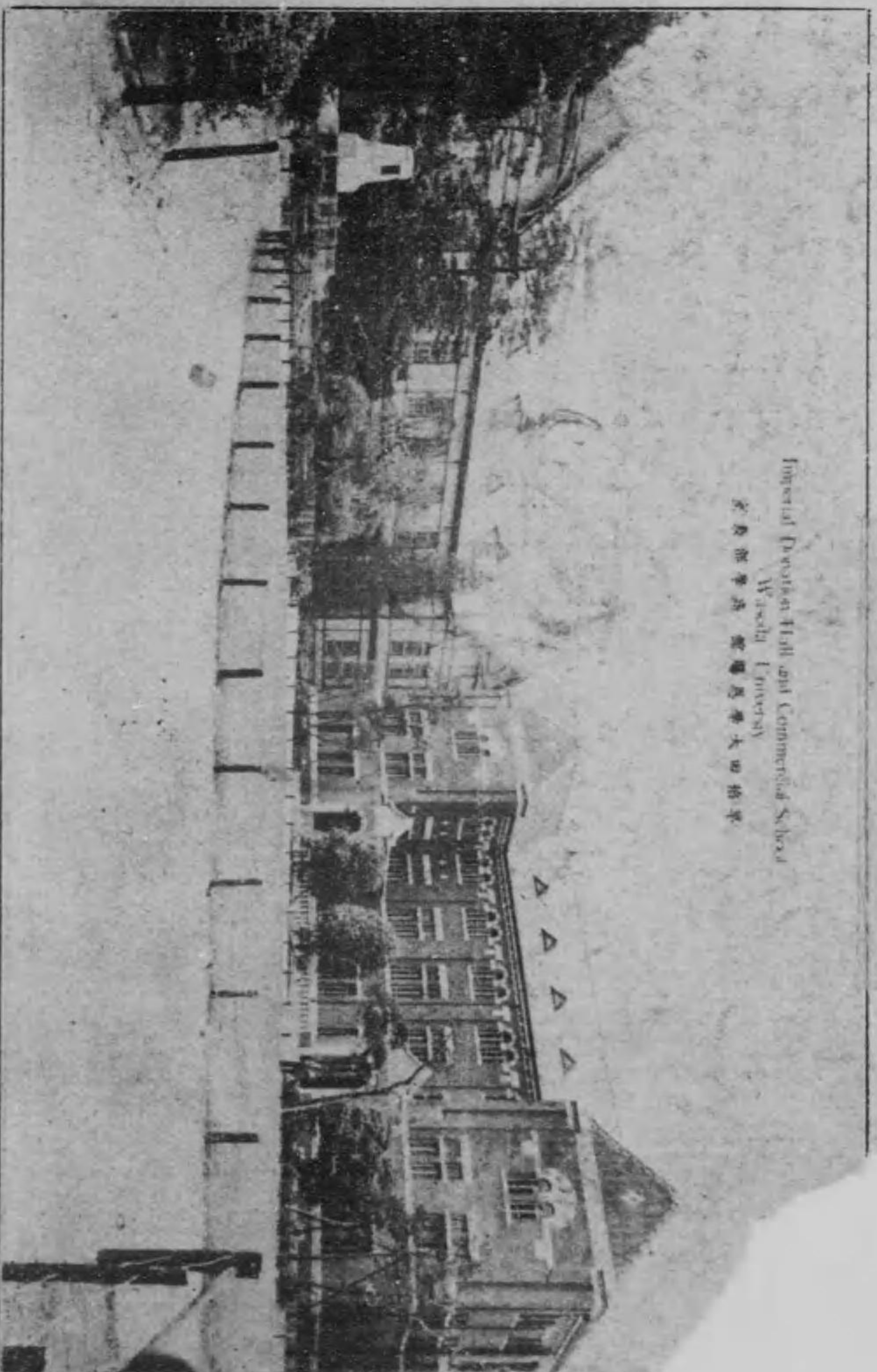
廣 文 堂 書 店





爵侯限大長總故

大正十二年...



Memorial Pavilion Hall and Commercial School
Waseda University
早稻田大学 纪念堂及商学大田稻早

早稻田大学纪念堂



Higher Institute of Waseda University, Tokyo
(東京) 早稻田大学高等学院

早稻田高等学院正面校舍



チワアグニミオウの手廻廊庭園大塚

早稲田第一高等学院チワアグニミオウ

米國
シカゴ

ストーン洋服

羅紗直輸入
直接販賣

卒業
入學

共に若紳士間に評判のストーン式スタイル



牛込鶴巻町電停前
電話番町一九八〇番

目出度御入學の上は、御制服、制帽は是非高島屋へ！高島屋は御校が専門學校當初より、姉妹の關係ある公認御用として、最も古い歴史を持つて居りますから、どういふ「スタイル」が御氣に召すか、チャント心得て居ります。「高島屋の洋服は第一安くて仕立が丁寧で、よくからだに「キチン」と合つて地質が極めて、丈夫で裁縫が實に巧みだ」と既に御入學の各位から評判で御座います。

高島屋は何しろ、ラシヤ地を全部直輸入して居るばかりでなく、京橋、三田、神田、の支店とも共通して日進月歩しつゝ、三十餘年來洋服業を經營して惣ての準備をして居りますから他店に眞似られぬ安價で出来るのです。

各國毛織物
直輸入販賣
高島屋洋服店

本店、牛込區早稻田、馬場下町三〇、(早中表門通り)

電話番町一五七五番

支店、牛込區早稻田鶴卷町五十九番地

(早大、正門通り交番角)

早稻田大學入學案内目次

- 校 歌 一
- 早稲大學教旨 四
- 沿 革 五
- 組 織 一〇
- 附屬專門部及高等師範部 一八
 - 專 門 部
 - 高等師範部
- 附屬高等學院 二二
 - 其特色、組織、學則

□ 早稻田ノ一年間……………	三七
□ 早稻田の特色と其將來……………	四四
□ 諸設備……………	五一
□ 費用は外所より遙かに安價……………	五三
□ 入學の秘訣……………	五七
□ 過去の競争率と將來の考察……………	六一
□ 入學者の經驗談……………	六五
□ 早稻田 ^{第一} 高等學院最近三ヶ年間入學試驗問題……………	七二
第一高等學院	
第二高等學院	

□ 右模範答案……………	一一八
--------------	-----

英語
數學
國語
漢文
物理
化學

寫眞

故總長大隈侯肖像
恩賜紀念館

高等學院正面
高等學院運動場

目次終り

校歌

都ノ西北早稻田ノ森ニ
聳ユル葦ハ我等ガ母校
我等ガ日頃ノ抱負ヲ知ルヤ
進取ノ精神學ノ獨立
現世ヲ忘レヌ久遠ノ理想
輝ク我等ガ行程ヲ見ヨヤ

ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ

東西古今ノ文化ノ潮

一ツニ渦卷ク大東國ノ
大ナル使命ヲ擔ヒテ立テル
我等ガ行程ハ極リ知ラズ
聽テモ久遠ノ理想ノ蔭ハ
普ネク天下ニ輝キ布カン

ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ、ワセダ

アレ見ヨ彼所ノ常盤ノ森ハ
心ノ故郷我等ガ母校
集リ散ジテ人ハ變レド
仰グハ同ジキ理想ノ光

沿革

早稻田大學ハ其初メ故大隈重信侯ノ發案ニ依ツテ明治十五年十月廿日東京專門學校トシテ現在ノ場所ニ其基礎ヲ置カレタモノデアアル。當時明治維新ノ大業ヲ確立シタ新大和民族ノ意氣ハ長ク幕政ノ鎖國主義ニ災セラレタル世界協調ト民族文化ノ交換トヲ回復スル爲ニ衝天ノ勢ヲ示シ學制ノ施設、西歐文物ノ輸入、等ニ向ツテ殊ニ著シキ進展ヲ要求シタノデアツタ。茲ニ於テ身ハ繁忙ナル政治界ニ在リ乍ラ尙且學術ノ發達ヲ思フコト切ナル大隈侯ハ夙ニ學問ノ獨立ヲ企畫シ一面ニハ時勢ノ進運ニ魁ケセンガ爲メ他面ニハ世界文明ニ遅レタル當時ノ新日本ニ眞個發展ノ基礎ヲ與ヘンガ爲ニ學府設立ノ實ヲ揚ゲラレタノデアツタ。開設當時主トシテ故侯爵ヲ補佐セラレタル者ニ小野梓先生ト高田早苗先生トガアツタ。小野先生ハ今既ニ物故セラレ高田先生ハ現ニ早大名譽學長トシテ今尙誠意校運ノ向上ニ盡シテ居ラレル。

當時英國へノ留學ヨリ歸ラレ三十歳ノ若サト深遠ナル學識トヲ併セ有セラレタル小野先生ニ指導セラレ、學窓ニアリテ既ニ大偉人隈侯ノ知遇ヲ得ラレタル高田先生ニ誘掖セラレ、若キ日本ノ文化ノ上ニ大イナル貢獻ヲ致サンガ爲若キ東京専門學校ハ生レ出デタノデアル。爾來幾多ノ壓迫ト難業トハ天ノ將ニ大任ヲ下サントスルニ先ダツテ此東京専門學校ノ上ニ振り掛ツタノデアツタ。シカシ乍ラ鞏固ナル意思ト建學ノ赤誠トハ常ニ之等ヲ退ケテ根強イ濶歩ヲ續ケテ行ツタノデアル。尾車ノ轍ハ回ツテ春ハ創業ノ冬二十年間ノ後東京専門學校ノ上ニ惠マレタノデアツタ。曩ニ清國トノ戰ニ勝チ未來ニ露國トノ開戰ヲ約束セラレ日本全土ガ不安ト歡喜ニ渦卷イテイタ明治三十五年學問ノ目醒メト教化ノ實果トハ遂ニ東京専門學校ヲ驅ツテ綜合制早稻田大學ニト變ゼシメタノデアル。

然シ乍ラ創業ノ難ハ未ダ茲ニ於テ早稻田大學ヨリ去ツタノデハ無カツタ。早稻田大學ガ明治四十年私學ノ卒先トシテ理科ノ設置ニ成功スル迄ニハ筆紙ノ盡シ難イ苦艱ヲ

嘗メタノデアル。トハ云へ早稻田大學今日ノ榮昌コソハ正敷此難業ノ成就ニ芽組マレテ居ツタモノト云ハナケレバナライノデアル。カクシテ綜合私立大學ノ覇者タル早大ハ日ヲ追ヒ月ヲ閱スルニ從ツテ益々其眞價ヲ發揮シ廣ク世界ニ向テ其名聲ヲ發揚シタノデアル。時代ハ進ミ人心ハ向上シ學問ノ獨立ト平等トハ全ク疑フベカラザル眞理トシテ容レラレ終ニ澎湃タル官私大學無差別論トナツテ表ハレタノデアル。大勢ノ趨ク所遂ニ政府ノ新大學令發布トナリ内容ト組織トニ於テ官立大學ニ劣ラザルモノハ直チニ之ヲ昇セテ大學トスルニ至ツタノデアル。寔ニ事情當然ノ處置ト云フベキデアル。サアレ我等ハ之等ノ事實ヲ單ニ一個ノ推移ト見ルコトヲ得ナイノデアル。何トナレバ聲ノミ大ナル要求ハ畢竟利スルトコロ有リテノ要求ニシテ之ヲ透徹セル考查ト事實トニ照ストキ其處ニハ必ズヤ何等カノ大ナル缺點ガアリ弱所アルコトヲ發見スルモノデアル。換言スレバ私立大學昇格ノ要求盛ナリトモ若シ當ノ私立大學ニシテ内容ト組織トニ重キヲ置クコトナクシテ只單ニ名ヲノミ之追フトキハ到底昇格ノ實現ヲ夢見ル

コトサへ不可能デアリ且ハ輿論モ亦之ニ賛成スルコト無キハ當然ノ歸結デアラウ。然ルニ這般文部當局ガ大勢ニ順應シテ私立大學昇格ヲ許可セルハ要スルニ私立大學ノ内ニテモ内容組織ノ官立ト異ナラザルモノアルヲ知リシニ外ナラナイノデアアル。

然モ此昇格ニ際シ早稻田大學ガ劈頭其許可ヲ與ヘラレタル事實ハ其内容ヲ雄辯ニ物語ツテ居ルモノト論斷シテ毫モ憚ルトコロガ無イノデアアル。嘗テ八十名ノ生徒ト數名ノ講師トヲ以テ遷都僅カニ十五年ニシテ人家未ダ整ハザル東都ノ而モ見渡ス茫然タル萬頃ノ只中ニ粟粒ノ如キ觀ヲ呈シタル校舍ヨリ早大ハ今ヤ數萬ノ學徒ト一萬坪ノ大伽藍ヲ有スル堂々タル University トナツタノデアアル。

顧レバ何人モ轉々變移ノ大ナルニ驚嘆スルデアラウ。而シ乍ラ繼ツテ其歴史ヲ思ヒ支拂ハレタル人間の努力ノ渾大量ニ想倒スルトキ、ヨリ大ナル驚嘆ニ打タル、モノデアアル。加之頃日傳フルトコロニ依レバ早大當局ハ圖書館ト大講堂ノ建設計畫ヲナシテ更ニ内容ノ充實ト設備ノ完璧トヲ期スルトコロアリト聞ク。誰レカ此絶大ナル企圖成

立ノ曉晏然トシテ驚ゼザル。我等ハ早大ノ過去ヲ憶ヒ現在ヲ知ルガ故ニ其企劃ノ成功ヲバ疑ハザルモノデアアル。

早稻田大學ノ組織

早稻田大學ノ組織ハ之即チ早稻田大學ノ内容デアアル。早稻田ニ入ラントスル諸君ハ宜敷之ヲ熟讀シテ自ラ前途ノ方針ヤ或ハ勉學大體ノ徑路ニ參考トセラレンコトヲ望ム次第デアアル。茲ニ冗々ト規約ヤ事務ノ事ヲ連ヌルノハ勉強ニ多忙ナル讀者ノ貴重ナル時間ヲ割クコトヲ恐ル、ガ故ニ入學ニ關係アルモノ、ミヲ考量シテ此所ニ記スコト、スル。

早稻田大學ノ組織ヲ茲ニ記スルニ當ツテ之ヲ二ツニ分ケテ見タイ、即チ左ノ二項トナルノデアアル。

一、幹部

二、學制概略

以上ノ二項ヲ細説スレバ次ノ如クニナルノデアアル。

一、早稻田大學教職員

名譽教職員

- 名譽學長 法學博士 高田早苗
- 名譽教授 文學博士 坪内雄藏
- 名譽理事 市島謙吉

本部

- 學長 法學博士 鹽澤昌貞
- 理事 法學博士 田中穂積
- 同 伯爵 松平賴壽
- 同 工學博士 淺野應輔

同	法學博士	鹽澤昌貞
同	法學博士	平沼淑郎
會計監督	宮田修	
會計監督	坂本三郎	
幹事	前田多藏	
副幹事	土屋啓造	
庶務課主任	蠣崎敏雄	
教務課主任	中村芳雄	
學生課主任	望月嘉三郎	
政治經濟學部々長	安部磯雄	
法學部々長	寺尾元彦	

文學部々長	文學博士	金子馬治
商學部々長	法學博士	田中穂積
理工學部々長	理學博士	山本忠興
第一高等學院長		中島半次郎
第二高等學院長		杉山重義
圖書館々長		安部磯雄
工手學校々長	理學博士	徳永重康

二、學制概略

早稻田大學ノ學部ハ之ヲ五學部ニ分チ各學部ハ夫々又專攻科目ニ依ツテ各學科ニ分
タレテイル。之ヲ本科トシ本科ニハ各學部ニ研究科ヲ置キ之ヲ大學院ト云ヒ其他ニ專
門部高等師範部第一高等學院及第二高等學院並ニ附屬工手學校等ガアル。之等ノ附屬
學校ハ逐次項ヲ分ツテ後段ニ述ベルガ今本科ノ組織ヲ大體ニ渡ツテ書イテ見タイト思
フ。之ハ將來當然社會ニ立ツ爲ニ入學志望者ガ專攻科目ヲ撰バントスルニ當ツテ必要
ナモノデアラウト思フカラデアアル。尙詳細ニ亘リ度イ方ハ學校ノ規則書ニ依ツテ貰イ
タイノデアアル。

扱前記ノ五學部ト云フノハ

政治經濟學部
法學部

文學部

商學部

理工學部

ヲ云フノデアアルガ之ヲ夫々ノ學科ニ分ツト次ノ如クデアアル。

政治經濟學部

政治學科
經濟學科

法學部

文學部

哲學科(東洋哲學專攻、西洋哲學專攻、社會哲學專攻)
文學科(國文學專攻、支那文學專攻、英文學專攻、史學科、佛蘭西文學專攻、獨逸文學專攻、露西亞文學專攻)

商學部

機械工學科

電氣工學科

理工學部

探鑛冶金學科

入學志望者
ノ
爲
メ
ノ
同
様

建築學科
應用化學科

右ノ如クニナルノデアアル。尙大學院ハ各學部卒業生ノウチ更ニ專攻研究ノ希望アル者ヲ撰ビテ入學ヲ許可セラル、事ニナツテイル。在學年限ハ滿一ケ年ヲ在學中ハ早大及早大附屬學校ノ教職以外ノ職ニツケナイコトニナツテキル。

早稻田大學附屬專門部及高等師範部

早稻田大學ガ今日隆盛比ブモノモナイ大學園トナル迄ニハ古イ傳統ガ在ル。ソシテ此偉大ナル傳統ノ中ニ有力ナル援助者トナリ運動者トナツタモノ、中ニ我專門部及高等師範部ガアル。一ハ官界實業界、操觚界ニ活動シ他ハ教育界ニ活動シテ早大ヲシテ其價値ヲ普ク天下ニ及ボス爲ニ有形無形ノフアカルタイトナツタノデアアル。人若シ名ノミヲ知リテ實ヲ知ラズンバソレハ知ルニアラズシテ推想スルニ止マルノデアアル。此意味ヨリシテ早大ノ專門部及ビ高等師範部ハ一面ニハ國家ニ活躍スル有用ノ人材トシテ働キ他面ニハ綜合大學ノ實際的價値ヲ知ラシメ依ツテ以テ名實共ニ全キ早稻田大學ノ存在ヲ可能ナラシメタノダ。

「早稻田スピリット」茲ニ換言スレバ「早稻田教育」ハ之ヲ學究的方面ニ見ルモ之ヲ實際的方面ニ見ルモ金瓶曾テ無缺デアルト云フコトヲ公表センタメニハ一ニ大學本

部ガアリニ附屬專門學校ガナケレバナラヌ、且ツ又綜合大學ノ複雜ヲ加ヘル所以ノモノモ探求シテ行ケバ此附屬學校ノ設立ヨリ生ズルモノナノデアル。トモアレ專門部及高等師範部ハ早大ニ取ツテハ極重要ナル附屬學校タルニ疑ヒナイノデアル。サテ然ラバ早稻田ニ於ケル專門部高等師範部ノ内容組織ハ如何ナルモノデアルカ。次ニ之ヲ陳ベテ行カウト思フノデアル。

專門部 專門部ハ專門學校令ノ定ムル所ニ則ツテ組織サレ、現在ハ政治經濟科、法律科及商科ノ三科ニ分レ修業年限ハ三ケ年デアル。卒業後ハ文官任用令ニ依ツテ判任文官ニ任用セラル、ノ資格ガアリ在學中專門部本科生ハ研究ノ都合上特ニ入營延期ヲ許サレテキル。

專門部ニハ、又二種ノ別ガアリ第一種ヲ本科生トシ第二種ヲ別科生トシテアル。本科生ハ中學校、師範學校卒業者、專門學校入學者檢定試驗合格者、甲種商業卒業者ノ資格ヲ要シ、第二種生即チ別科生ハ各種ノ實業學校卒業者ヨリ中等學校卒業程

度ノ選抜試驗（倫理、國語、漢文、英語、歴史、地理、數學）ニ依リテ入學スルコトヲ許サレル。試験料ハ現在ノトコロ參圓トナツテキル。

高等師範部

コレハ中等教員ノ養成ガ主眼デアル、年限ハ四ケ年デアリ、國語漢文科及英語科ノ二科ガ設ケラレテキル。卒業後ハ無試験檢定デ中等教員タリ得ルノデアル。入學資格ハ中學卒業者師範學校卒業者タルコトヲ要スル。

以上ノ如クデアル。授業科目等モ整備シ、實際社會ニ活動スル人トシテノ必要ナ教育ニハ充分ナ施設モアル。早稻田在學中ハ殆ンド大學部ノ生徒ト同様ニ研究モ運動モ出來、異ル所ハ要スルニ卒業後ノ各自ノ力ニアルノダ。大イニ爲スアラントスルノ士ハ須ラク入園スル事ヲオ獎メスル。學費ハ大正十一年ノ調べニ依ルト專門部一ケ年八十五圓之ヲ三期ニ分納シテ第一學期第二學期ガ各三十五圓宛第三學期ハ十五圓納入スレバヨイ。高等師範部ハ一ケ年九十五圓之モ三期ニ分納シテ第一學期第二學期ガ三十五圓宛第三學期ガ二十五圓ニ制定サレテキル。尙其他ノ費用ニ就テハ別項ニ述ベルトコ

ロガアルカラ参照願ヒ度イ。

制服
制服
帽は

新らしく生れた

ライト洋服店へ

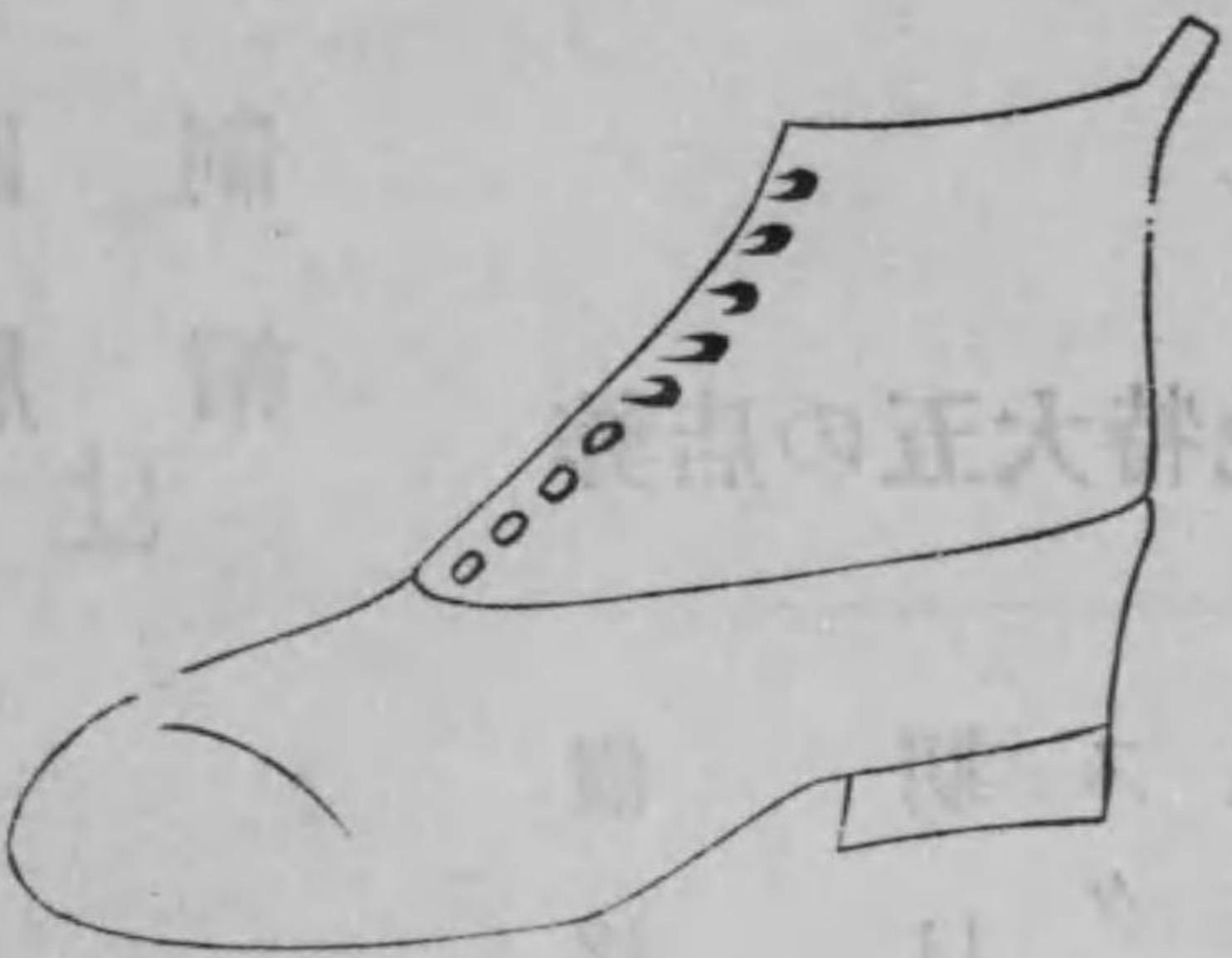
早稻田穴八幡下

弊店の五大特色

価格の底廉なる
期日の正確なる
スタイルの最新なる
裁縫の頗る優秀なる

靴ノ御用命ハ是非

- ◎技術ノ優秀ナル
- ◎期日ノ正確ナル
- ◎営業振り眞面目ナル
- ◎然シテ時代ニ後レザル



浅野靴店

牛込早稻田大學横通
下戸塚一三四番地

附屬高等學院

高等學院は大正九年新大學令の發布と共に設定せられたる私立の高等學校である。初め早稻田高等學院が花咲く三月戸山ヶ原の一角に建築せられると逸早くも天下の健兒は其校舎に集つた。そして潑瀾たる意氣と新興の學風は纏て東都の空より全日本へと波打つたのである。若く誇れる謙虛なる校風は、時を待たずして都の西陵に聳立した。「規律のよい、自由さうな」こうした讃辭は學院賢兒の若き胸に時として躍る様な刺激となつたものである。かくして第一歩に成功の半を遂げたであらう高等學院は着々其聲價を昂めて行つた。今や第二學院の設立と共に名實共に全からん時も近づいたのである。來るべき新社會の建設に大きな力を致すべき青年の薰陶には早稻田校風を置いて理想的な方法は無いといふ聲が暗に約束せられている様だ。ときれ事實は何者の證明よりも雄辯である、編者の役目は其内容を、いつわる事なく披瀝すれば足るの

である。

さて之より兩高等學院の内容を調べて稍詳細に諸君に示して見たいと思ふ。先に第一高等學院より初めることにする。此處の院長は名望並び高い中島半次郎氏である。先生は早稻田の出身、教育學の泰斗であり永年の經驗から生徒への態度も實に温強の粹を得ておらるゝといふ評判である。教頭は文學士野々村戒三氏で八面玲瓏の働き手である。此先生は又基督教史に獨特の見地を有せられ隱然史學界の重鎮を爲して居られる。其他の先生については數多い事であるから省くとして暫く眼を轉じて教授方法に亘つて見たい。温恭なる院長、六臂八面の教頭を載く第一高等學院の教育方法は他に類例の無い理想的なものであることを先以て諸君に告げることの出来るのは筆持つ自分さへが快よくなるのを欺かれない。

修學三年間の學期を九學期に分けてあり文科理科に編成されているのは高等學校と代りが無い。しかし文科の方を將來の専門に依つて政、法、文、商に細別してあるこ

とは輕々に見逃せない遣り方である。何となれば文、政、法、商と變つても教授上何等の差別をつけてないところより見ると要は生徒各自の嗜好を覗つたものと解釋出来るのである。即ち之に依つて各自は目的の一樣性より生ずる特種の親密を味ひ更に學術の交換を便ならしめ加ふるに競争研鑽上に齎らす抽象的の刺激は莫大なるものである。『學問の活用』云々といふ建學の趣旨を此處迄働かせて行くところに計られぬ經營運用的頭腦の大きさが知られるのだ。更に生徒に對する學院當局の態度を見ると此處にも亦卓越した識見の閃光を目にするのである。

「自治」といふ言葉が流行り出して到る處に活用されつゝある事は喜ぶべき事であると同時に人間性を尊重善導する上より見て必然の事といふべきである。學院經營法を縦に貫ぬいている精神は此「自治」であるらしい。早稻田ツ子に言はせるとそれは「自由」であると云ふかも知れないけれど、自分は殊更に之を「自治」を呼ばなければならぬ事を主張する。其理由は茲に述べることを控へるが、兎に角學院經營に「自治」の

精神が横溢している事は次の事實に照して明かである。即ち教授上の事は非常に嚴格であるが——之が近來早稻田を官僚^ハばはりする輩の唯一の理由らしい——院規、體育等より教室内外の風規に至る迄苟しくも學生自身が行ふべき凡ゆる行爲に對しては只管健全な學生自らの常識に訴へている形跡が門を入らない内に臭つて來る。此事實を批判的に云ふならば即ち之によつて學生等は獲得した智識の力を實際行動に運用する機會が多分に與へられし當局は之に依つて學生が發達した程度を知り延いて爾後の施政に對する有效なアドヴァイスを得る譯である。教育學を實地に運用するに當つて『氛圍改造』を近代的な遣り方とするならば學院當局は並ぶ者も無い進歩的教育家といつても過言ではあるまい。之等は一、二の抽象効果を論じているに過ぎないが實地に表明さるゝ學生の意氣當局の態度等は之を別項の證左に委ね筆を第二高等學院に運ぶこととする。

第二高等學院は十年三月開設されて校舎の完築されない爲に一時第一學院の一部に

同居し之と幽玄な學究を共にしていたが十一年三月學年の革まると共に新校舎に移轉して今は不羈な研究にいそしみつゝ健全獨特の校風確立に忙しい様である。大學本部の横に亞米利加三界迄鳴り響いている運動場があることは讀者が先刻御承知の筈である。其運動場の東方に煉瓦造りの新しい建物が聳えているのを見られるならば、それが即ち我第二早高の校舎である。教授上の要領は第一學院と先づ同じであるから重複を恐れて此處には略すが院長は政治、經濟、教育、に曉通される白鬚蕭洒な杉山重義先生である。先生も亦生粹の早稻田ツ子で巷間に所謂『早稻田スピリット』の體得者である。咳一咳得意の倫理を講義されるときにはさなきだに鋭い眼光は生徒の胸に感銘抜く能はざる何物かを與へらるゝそうである。此處には教頭の椅子は初から無く新進の教授が吐かれる講演壇場の生命光は萌え出でんとする學生の研究欲と激しい火花を散らしているのである。

學院紹介は此位に止めて次に諸君が入學上必要とせらるべき學則の拔萃を掲げ成文

上の學校内部を告げること、しやう。其前に一言して置かねばならぬのは此兩學院が求める入學資格の差違である。中學五年を卒業した人若しくは專門學校入學檢定試験（俗稱專檢）合格者は第一第二兩高等學院の入學者撰拔試験に應じ得るが中學四年修了者、高等學校高等科入學資格試験（俗稱高檢）合格者は第一高等學院の撰拔試験にのみ應じ得るのであつて第二高等學院には許されて居ない。尙理科志望者は第二高等學院に理科がないから、當然第一高等學院に入らなければならぬのである。

早稻田高等學院學則

第一章 總 則

- 第一條 本學院ハ高等普通教育ヲ授クルヲ以テ目的トス
- 第二條 本學院ヲ分チテ第一高等學院及第二高等學院トシ各學院ニ文科及理科ヲ置ク
- 第三條 文科ヲ終リタル者ハ早稻田大學政治經濟學部、法學部、文學部及商學部ニ理科ヲ終リタル者ハ同大學理工學部ニ入學スルノ資格ヲ有ス

第二章 學科課程

- 第一條 修業年限ハ第一高等學院ヲ三學年トシ第二高等學院ヲ二學年トス
- 第二條 各學院ノ學科課程ハ大正八年文部省令第八號高等學校高等科學科課程ニ據ル

第三章 學年學期及休業

第一條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二條 學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ七月十日ニ至リ第二學期ハ

九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ第三學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第三條 夏季休業ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至リ秋季休業ハ十月十五日ヨリ同月二

十七日ニ至リ冬季休業ハ十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

第四條 日曜日、祭日、祝日及早稻田大學創立紀念日（十月二十日）ハ休業トス

第五條 休業中ト雖モ特ニ講義ヲ開キ又ハ實驗實習ヲ課シ試験ヲ行フコトアルベシ

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第一條 入學時期ハ各學年第一學期及第一學年第二學期ノ初トス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第二高等學院ニ入學スルコトヲ得

一、中學校ヲ卒業シタル者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者

三、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力

アリト指定シタル者

四、甲種商業學校卒業業者ニシテ早稻田大學政治經濟學部、法學部若クハ商學部ニ

又工業學校卒業業者ニシテ同大學理工學部ニ進入ノ志望ヲ有スル者

第三條 前條ノ資格ヲ有スル者又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第一高等學院ニ入學
スルコトヲ得

一、中學校第四學年ヲ修了シタル者

二、高等學校尋常科ヲ修了シタル者

三、高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者

四、高等學校高等科入學ニ關シ指定ヲ受ケタル者

4月1日
7月10日
12月24日

20
10
30
60

第四條 各學院ニ入學セントスル者ハ體格検査ニ合格シタルモノタルヘシ

第五條 入學志望者ノ數各科豫定ノ人員ニ超過スル時ハ選抜試験ヲ行ヒ其成績優等ナル者ヨリ順次入學セシム

第六條 入學檢定料ハ金五圓トス

第七條 第二學年以上ニ編入ヲ許ス可キ者ハ第二高等學院ニ在リテハ本章第二條第一高等學院ニ在リテハ同條又ハ第三條ノ資格ヲ有シ更ニ前各學年ニ於ル各科目ノ試験ニ合格シタル者タルヘシ

第八條 編入檢定料ハ金拾圓トス

第九條 本學院生徒ニシテ中途退學シタル者一年以内ニ於テ再入學ヲ請フトキ又ハ他ノ高等學校高等科生徒ニシテ轉學ヲ請フトキハ同一學年以下ノ學年ニ限リ詮衡ノ上之ヲ許スコトアルヘシ

第十條 入學志望者ハ入學後履修セントスル學科ヲ明記シタル入學願書ニ學業履歷書

手札形寫眞及檢定料ヲ添ヘ本學院ニ差出スヘシ

但シ一旦納付シタル檢定料ハ之ヲ還付セス

第十一條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ直ニ保證人連署ノ在學證書ニ本章第二條又ハ第三條ノ資格ヲ證明スヘキ證書又ハ證明書及戶籍抄本ヲ添ヘ差出スヘシ

第十二條 保證人ハ東京市内又ハ其附近ニ居住スル成年ニシテ相當ノ生計ヲ營ム者タルヘシ

保證人前項ノ範圍内ニ於テ其居所ヲ轉シ又ハ改印シタルトキハ一週日內ニ届出ツヘシ

第十三條 既ニ入學シタルモノハ其父兄(父兄ナキ者ハ近親)ヨリ入學保證書ヲ差出スヘシ(入學願書等ノ用紙ハ事務所ニ於テ交付ス)

第十四條 保證人ハ其生徒在學中ニ係ル一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スヘキモノトス

第十五條 保證人死亡又ハ前掲ノ資格ヲ失ヒタルトキハ直ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ

證書ヲ差出スヘシ

三一

第十六條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ退學セント欲スル者ハ保證人連署ノ上願出ツヘシ
第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學若クハ停學ヲ命シ又ハ除籍ス

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、引續キ一ケ年以上缺席シタル者
- 四、正當ノ事由ナクシテ引續キ一ケ月以上缺席シタル者
- 五、出席常ナラサル者
- 六、學則ニ違背スル者校規ヲ紊亂シ又ハ怠惰不品行ニシテ本學院生徒タルノ體面ヲ傷ケタル者

第五章 休 學

第一條 疾病ニ罹リ二ケ月以上修學スルコト能ハサル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ當該學
年間休學ヲ出願スルコトヲ得

第二條 兵役ニ服スル者ハ其現役又ハ召集中休學ヲ許可ス

第三條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ休學滿期後原級ニ入り修學スルモノトス

但シ休學期間内ト雖モ其事故止ミタルトキハ許可ヲ得テ教場ニ出席スルコトヲ得

第四條 休學學年間ハ學費ヲ徵收セス

但シ學年ノ中途休學ヲ許可シタルトキハ其期ノ學費ヲ徵收ス又中途教場ニ出席シ
タル者ハ其月ヨリ月割ヲ以テ之ヲ徵收ス

第六章 試 驗

第一條 試験ハ各學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ

第二條 科目ノ種類ニ依リ平常點ヲ以テ試験點ニ代フルコトヲ得

三三

- 第三條 各學期試験ノ總平均點數ヲ合算シ之ヲ三分シタルモノヲ學年成績トス
- 第四條 修了成績ハ在學中ノ試験成績ヲ考查シテ之ヲ定ム
- 第五條 試験點ハ一科目百點ヲ以テ滿點トス
- 第六條 各科目四十點以上總平均六十點以上ヲ得タルモノヲ合格トス
- 第七條 成績ノ判定ハ前條ニ依ル外平素ノ品行及學業進歩ノ狀況等ヲ參酌シテ之ヲ決スルコトアルヘシ
- 第八條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ依リ試験ニ缺席シタルモノニハ當該學期ニ於ケル平常成績ヲ考查シテ評點ヲ定ムルコトヲ得
- 第九條 同一學年ニ於テ二回不合格トナリタルモノハ原級ニ留ルコトヲ得ス
- 第十條 所定ノ課程ヲ修了セル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第七章 學 費

- 第一條 生徒入學ノ節ハ入學金トシテ金五圓ヲ納付スヘシ
- 第二條 學費ハ一學年金壹百圓トス
- 第三條 學費ハ之ヲ三期ニ分チ每期左ノ期日マテニ前納セシム
 - 第一期 四月十五日迄 金四拾圓
 - 第二期 九月十五日迄 金四拾圓
 - 第三期 一月十五日迄 金貳拾圓
- 第四條 事故アリテ缺席スル者ト雖モ必ス學費ヲ納付スヘシ
- 第五條 一旦納付シタル學費ハ之ヲ還付セス
- 第六條 學費納付ノ期日ニ違フ者ハ本人及其保證人ニ催告シ尙納付セサル者ハ之ヲ除籍ス
- 第七條 理科實習費ハ別ニ之ヲ徴收ス

第八章 生徒心得

三六

- 第一條 早稻田大學ノ教旨ヲ服膺シ堅ク院規ヲ遵守スヘシ
- 第二條 自敬其身ヲ修メ以テ品性ヲ陶冶シ德器ヲ造就スヘシ
- 第三條 學業ハ自修ヲ主トシ務メテ實力ヲ涵養スヘシ
- 第四條 常ニ身體ヲ鍛鍊シ剛健快活ノ氣象ヲ養成スヘシ
- 第五條 共同ノ責任ヲ重シシ情義竝ヒ盡シ以テ善美ナル學風ヲ發揮スヘシ

早稻田の一年間

茲に自分は早稻田の一年間といふ題目を掲げて一つには早稻田大學に入らんとする人々に早大學生の意氣を示し一つには學校内部の充實さを一般世人に公表せんとするものである。行ふ前には考へがなければならぬといふ事は何人もが守らねばならぬ處生訓である。そして考へるには相當の材料がなければならぬのだ。此拙い文章が來らんとする人々の前に考へる爲の材料となつてくれれば我身に餘る幸榮である。一月より十二月迄は一般行事の一年であるが自分は四月に始まつて翌年三月に終る學校曆を本位として順次に筆を運んで行くつもりである。

さて、磨ぎすました様な冬の空が次第次第に水蒸氣を増して花の便りが度重なる。四月といふ聲を聞く。杖引く人の足の運びも綻び行く花の笑壺に、しどろとなつて世は揚げて治安の夢に洵酔している。此時にあつて若き血潮に建設の覇業を色取らうと

三七

する人達は晴れの競争試験場裡に凌を削らなければならないのである。我早稻田の學園も四月一日よりは之等の雄々しき人々の蒼白な顔で所せまき迄に埋められてしまふのである。此競争試験によつて専門部、師範部、兩學院の新生を選抜して月の中旬から授業が開始される。太陽の光を五色に分光して新しい羅紗地に受けた丸帽角帽が鶴巻町、馬場下町、戸塚町等早稻田一帯を練りあるくのを見る者は必ずや古代希臘オリンピア祭典の雄者を思ひ出すに違ひない。しかも同時に白馬銀鞍の蔚然たる平安文化を推想することであらう。

授業の開始と共に各中學出身者より組織される種々の郷土會並に學友會の各部或は各學部の先輩達之等は親睦會の形式で新來の友僚を招いで日毎夜毎に盛んな歡迎のうたげを開催する。學窓に經驗の乏しい人は云ふかも知れない。こんな事をして貴い時間を雲煙費散するのかと。あゝ其言の計らざる、我等が學問の一面に堅實な究理を思ふとき他面には重要な靈的接觸を忘れてはならないのである。人間を放れて學問の存

在を否定する者は學究の傍ら行ふナツンシニーションの必要さを肯定するであらう。寔に學府は又偉大な人間力にインスパイアさるべき靈殿でさへもあるのだ。

ともあれ此等交驩の宴は畢竟人格接觸の絶好機會であり早大新生は之に依つて謂ふ所の「早稻田スピリット」を感得する譯である。「羅馬に入つたら羅馬人のなすが如く爲せ」とは西諺中普く人口に膾炙された言葉である。此言葉は單なる命令の意味ではなくて其處には津々として盡き無い言外の意味が含まれていることは賢明なる諸君の既に御承知の事であらう。「早稻田に入つたら早稻田に従へ」さすれば傳統と其結昌なる氛圍とに溶け込んで、大きな勉學能率に驚嘆する 때가やがて來るであらう。あゝ諸君よ、諸君は純眞な智識愛に燃えてゐる。そして諸君の眼前には大戸を八文字に開いた理想の學園が待つてゐるのだ。

四月は花と共に散つて五月は初夏の太陽を連れて來る、水色の空は底光りのする紺青と化して新緑の季節は戸山原頭に華やかである。此月より若き新入諸君が稍落付き

を得て先哲至理の教訓に觸れ初めるのであることは先輩盡くが経験するところであつたらしい。高等學院の合併體育大會が開かれるのは此五月の中旬爽やかな早月晴の一日である。花火の音が明けの明星の彼方に迄轟くやうに開會の會圖をする。選手の白衣が往來する。バラソルの波が搖れる。應援隊は各部夫れ々の旗を颯風に靡かせてブリッキ、太鼓を打鳴らしつゝ對部レースに覇權を握つてくれる選手を應援する。かくして初夏一日の行樂は家庭的な親しみを學びの庭に齎らしてくれる。早稻田行事の火蓋は此體育大會に切られるのだ。月が變ると學院の學期試験が始まるのだ。さなきだに忙しい學生は收穫整理に夜も不足である。「垂れ込めて春の行方知らぬ」のは往昔クロイスターの風流とされた。時は流れて今は「垂れ込めて五月雨の行方」知らぬ若人が多い。此試験は七月中は爛熟した夏と交換される。郷關遠く半年の勉學を濟ませて久瀾の旅情を暖かい父母の膝下に慰めんとする學生等は都の東西に散發するのである。あゝ豊けき造化の恵みに對する感謝は期せずして各人の胸に躍動することであらう。

夏の休暇は九月十日に終るのだが、各自は此長い二ヶ月の休みを海に山に木蔭に書齋に夫々有效な經驗にと換えて行く。そして立派に鍛へた體格と思ふ様貯へた蘊蓄とを提げて秋天高き或吉日をトし再び早稻田の森へと雪崩れ込む。

九月！此月こそは勉學の書入時である。同時に又盛んな運動季節でもある。萬卷の書籍にはちきれそうな早大圖書館は無數の學生のはく呼吸の韻律に物すごい神秘的な音を立てる。赤々とした夕日は多幸な學生の上に満足げな微笑を送りつゝ、目白台の彼方に落ちる。すると各自は重さうなバッグを提げて家路につく。千草に、すだく虫の聲々は無常と寂莫とを暗示しつゝ、若き人々の琴線に觸れて燈火は爛々と灯されるのである。幽奥無限の學理は此時豁然として地上に甦り、人の子は陶然として宇宙に同化されるのだ。秋はよし、秋は嬉し、學徒は、かく口吟みつゝ、爛々たる穗燈を掲げてひた走りに眞理の殿堂奥深く這入つて行くのである。

學生は又體育を忘れてはならない。秋は前述せる如く運動の季節である。リーグ戦

は春秋の二回に行はれるが秋を主として決勝に胸を高鳴せるのだ。戸山ヶ原に憂々の響を耳にする者は知らざる間に足をグラウンドに向けるのが常だ。野次とアンパイアとは一投一打に聲の限り絶叫する。野球に東洋の覇を握る早大は此リーグ戦に模範的な勝利を常勝し堂々たる早大の威風を吹かせて月の桂も折るばかりである。

リーグ戦は對外的のものであるが十月の中旬に行はる、早大々運動會は對内的である。學園開校紀念日は小春日和の一日暮鳥の飛ぶ入合頃迄學校一致で行はれる。年中行事の掉尾は此運動會であるのだ。筑波嵐が都大路に萬丈の黄塵を捲き起すと二學期の試験は學院に施行されマントに深く襟をうづめた學生達は多く室内の火鉢を圍んで高談轉た清烈を極めるのだ。そして新春歌留多會の終るを待たず各自は卒業の試験準備に取掛つて花咲く春を思ふのである。

自分は年中行事の筆を、終りに運びながら多忙多端な、それで居て呑氣な學生々活の一年間を考へると、たまらなく床しく思はれるのである。何が故に床しいのか。そ

れは開放された生活を思ふからである。それは緊張した生活を思ふからである。若き學徒に誇あらん爲には大いに勉めて大いに運動しなければならぬ。そして此兩條件を完全に備へる學校はと求めるならば、自分は言下に早稻田だと答へざるを得ない。筆を擱くに望んで祝福さるべき早大入學者の健康を祈ること切なるものがある。

早稲田の特色と其將來

『足一度校門を出れば其處には何とも云へぬ喧騒の世界がある。心の故郷とは結局自分の目的嗜好と場所の氛圍とがシツクリ合つたところを云ひ得るのだ。思へば學窓は懐しい心の故郷であつた。』こう云つて世路に立つ多くの人々は遠い過去を床しがるのである。蓋し早稲田の特色もかゝる浪漫的な方面より述べて行くときは寧ろ他の學校の思ひ及ばない特長が盡きぬ程ある。併し之は要するに感傷的な叙情文となつてしまつて謂ふ所の特色を明らさまに言ひ表はすことが出来なくなる。此意味より主として總括的特長を述べ將來に亘つて記して見たい。

早稲田大學は現在彼は一萬以上の學生と十萬近くの校外生とを抱擁する一大學園である。建學の主旨が『學問の獨立』に標する丈あつて宛然一學國の觀がある。創立以來四十年常に學問の獨立を如實に行ひ、其所にフエアデモクラシイの空氣を彌滿せしめ

た結果出身者は他の學校のそれより嶄然異つたところがある。

今之を稍實證的に論じて行く爲には所謂『自由』より始めて行く必要がある。早稲田には他の學校で欠にも出さない『自由』といふ言葉が恰も標語の如く學生間に膾炙されてゐる。之は前述の趣旨即ち『學問の獨立』といふ精神より布衍された意識である。早稲田學徒の心の中には『獨立的』にして『自由な』『紳士』たるべしといふ精神が火となつて燃えてゐるのである。換言すれば人の力を籍らないで、思ふ様完全な自己を造らうといふにあるのだ。此心は學校にあつては常に倦まざる研究を刺激し社會に出でては飽く迄熱心に働くといふ意味を延長鼓舞するのだ。故に學風にも何處か不羈なところがあり生徒の意氣にも旺盛なところが多分にある。これを第一に早稲田の特色と云ひ得る。特長は世の盲昧者流より又非難の對照となる。『過激』であるとか『奔放』であるとか種々な惡罵を蒙るのも畢竟其優れたるを嫉する爲かさなくば全然時潮を解せざるものゝ言である。ともあれ曾て早稲田學徒たりし人が現代政治界實業界教育界

に立つて如何に特徴ある活動を続けているかを知る者は、それを羽含んだ早稻田學風を正しく想到してくれることであらう。

私立で現在多數の學校が經營されているけれども中に官僚臭にかぶれず驕奢に墮せずしかも一味崇高の異點を有するものは我早稻田大學である。頃日新聞紙の報導する學生の不道德はよしや數の多寡は論せずとも、まことに教育に對する一大汚辱である我早稻田大學が比類のない多數を擁成し乍らも、かゝる徒輩を曾て出さざる點は國家より見るも學園より見るも意を強うせしむるところ大なるものがある。偶、詐稱早大生の出づる事實は學園の名譽より見るときは甚だ迷惑至極なる事なれども一面早稻田の實力が大であつて世人も亦早稻田を信すること厚きが故にかゝる徒輩より冤の汚辱を受くるものと解される。

さて學生の意氣は前述の如く獨立自由に立脚して各其業を勵むにあることは疑ひないが然らば教授上の特長は如何といふことになる。讀者も御承知の如く早稻田は創立

以來文科が名高い。之れは文科は早稻田中で一番ふるい歴史を有しているから廣く知られているのである。また名が高くなるには其處にしつかりした實があることは疑ひ無い。即ち早稻田は文科が好いと世人が云ふことは、要約すれば早稻田は好いと云ふことなのである。何故ならば世人の多くは早稻田に外の科のあることを知らないからである。とにかく文科が好いことには偽りは無い。此結果は語學の力が充足しているといふことにもなるのである。此處に一人の學生がある彼は非常に内外の書に深く廣く通じ得るとする。然らば彼は成功の鍵を與へられたのだ。又此處に一人の學生がある彼は外國物を讀めて知識を吸収し得るとする。外國物の讀めるのはまことに結構だ結構だが内國物(國語)の力がないとすれば悲しい結果を見なければならぬ。之はほんの譬への様ではあるけれども廣く學校の有様を見ると此譬へを輕視することが出来ないのだ。或大學豫科では原書ばかりやつて國語をやらぬ。或物は又國語を重んじて外語を輕んずるといつた傾向が隨所に見らるゝのだ。茲に我早稻田大學の豫備教育が一

頭地を抜く完全な制度下に充分な實行をされているといふことを誇るのも、あながち無意義なことではない。此充分な豫備知識を得て大學に進んで専攻研究を恣にするこゝとなるのである。『高等學校は語學校』だと一般に云ふ通り主として語學を手に入れるのが豫備知識の本領である。諸君は此所をよく御承知ありたい。

早稲田はかくして他の追従を許さない特徴を有している。然らば大學はと云へば『獨立』といふ文字を再び引いて答へるのだ。内外の書を通して法律は法律、商業は商業、政治は政治夫々自ら研究しなければならぬ。しかも獨立は建學の主旨で先輩の残した空氣は斷乎として校風に存し現在の學生は此處に安住して夫々研究にいそしんでいる。之は偽らない、早稲田大學の内幕である。次には理工學部方面を見ると實力を確實に養成して學理と實際とを完全に融合せしめている點が明白である。理工學部の進級者査卒業査定は極めて嚴格である。卒業生に對する評判を聞くと次の如くである『官立大學は理屈が上手、といつて専門學校の連中は腕ばかり、其處へ行くと早稲田は中庸を

得て居て都合が好い』と。此説は稍極端の様に聞え他の學校を悪く云つた様なところがあるので面白くないが、兎に角『早稲田は中庸を得ている』といふのは眞實であり當らずとも遠からざる評かと思ふ。ともあれ内部は極めて整頓した立派なものであることを御知らせする。

かくして早稲田は對外的にも對内的にも現在充實した立派な大學となつている。そして學校當局や校友達は更に努めて先づ大講堂と圖書館の建設を企劃し年を経ずして完成することになつている。之は建物ばかり建て、立派にするのではなくて、無くては事實困る様になつてゐるからである。大圖書館と云つても其周圍には研究室が建てられることになるし、大講堂建設は所謂科外教育の重要さに目醒めて外國大學の美點を採ることになつたのであるらしい。兎に角之等は此處數年を経ずして建築され、層學生をして思ふところを延べさせる事になるのである。從來早稲田の圖書館といへば藏書の點より見て屈指のものであつたが將來は之が容積をも擴張し設備をも大にする

に至つては恐るゝものも無くなることであらう。

之を要するに精神的、實質的の兩方面より見て數年間に早稻田は人を造り人を産むに最も完全なる大學となるのである。あゝ其將來の發展は抑々如何に大であらうか。我等は筆を投じて欣然早大の前途を祝福するものである。

諸 設 備

圖書館 には内外の書籍を網羅し數十萬卷を數ふるに至つた。新着書は月々間を缺かない様に取り揃へられ學生は朝八時から夜九時迄無料で好きな研究に没頭する事が出来る。計畫中の新圖書館が出来れば、さなきだに完全である上に更に一層の趣を増し眞實の學究生活を可能ならしめてくれる譯である。

大講堂 早稻田の學生が各自の研究を發表し或は深遠なる先輩の意見を聞くこと出来るのは此大講堂である。其他諸種の演奏會等も自由に催されることになつてゐる圖書館と共に現在より更に大なるものを新設計畫中であるから出来れば之亦非常に偉觀となることであらう。

體育會 學究をのみ之逐ふて身體をかへり見ざるものは畢竟アブストラクトを追ふ夢遊病者となつてしまふ。故總長が常に體育の事に關し御熱心であつた事も寔に故

あることである。青年の内にあつて勉學の重要なことは言を俟たないが體育の重要なることに至つては或意味に於て更に大なる意義を有するものである。此故に早稻田大學は創立以來體育にも力を濫ぎ現在諸高等專門學校中第一位を占むるものは我早稻田大學の^{體育部}である。學長は親しく體育會を直轄し更に一層大なる發展を遂げん事を期しておられる。

學資は外所より遙かに安價

諸君が學校へ入らるゝに及んで當面第一の問題の中に學費の問題がある。勿論學生たる以上恥づかしくない程度を越えて奢侈に流れるのは禁物である。然らば此耻しくない程度とは一體どの位の金があれば間に合はせることが出来るのかと云ふことになる。之を詳細に調べて見たい。

學費のうち確定的に皆同一なものは月謝である。諸君は本書の各項を見て下されば一目にして明瞭となるが行掛上早大各科の月謝を書くに専門部年額八十五圓外に體育費三圓高等師範部年額九十五圓體育費三圓高等學院年額百圓體育費六圓之を一ヶ月當りとすると専門部一ヶ月七圓三十四錢弱高等師範部一ヶ月當り八圓十七錢弱高等學院八圓八十四錢弱となる。

更に食費及間代は幾何かゝるかと云ふと之れは人様々で程度も種々あるが、要する

に通例下宿屋へ入れば四疊半位で三十圓内外はかゝるものと見ねばなるまい。尤も下宿屋へ入らず間借をして行く方法もある。此場合食事は全然賄屋で自分の好きに依つて済ますのであるが之には早稻田は非常に都合の好い事に飯屋の綺麗なのがよくある。値段も到底他所に見られぬ安さである。今試みに之を調べて見ると大抵一ヶ月十三圓から十四圓位で賄つて呉れる。食事もサツパリして一寸喰はせる。すると間代はどの位であるかと云ふと先づ四疊半の新しい家で十圓乃至十一圓といふ所である。安いところを捜して六疊で同値(十一圓乃至十二圓)位であらうか。此場合六疊ならば氣の合つた友人と二人一所に居れば五圓から六圓を出せば好い事になるが、二人は仲々折合上面白くない事も出来るから、一人で居るものと見なければならぬ。

さて月謝と間代食費が大體分つて見ると次は本代と小使である。之れは一番厄介な問題で學費の多寡は主として此處に起因するといつてよい。では普通幾何かといへば此兩方を合せて十圓あれば結構である。高價な本は圖書館を利用して勉強すれば買は

んでも済むといふ便宜がある。此他衣服、靴であるが、之も普通を土台にして見ると夏服が一着十三四圓(霜降)合着一着三十圓乃至四十圓、冬着四十圓乃至五十圓位を見當としてよい。之は三着揃へなくても冬と夏、夏と合、合と冬、といふ具合に二着で結構間に合ふのである。そして二着あれば優に四年は持つから洋服は大抵一度こしらへて置けば卒業迄は間に合はすことが出来る。冬は寒いからマントがあれば結構だ學生にオーバも近頃流行している様であるけれども要するに防寒の役に立てばよいので新調すれば五十圓位のもので上等であらう。次は靴であるが之は大抵十圓以下の六圓近邊のもので充分役に立つのである。

さて然らば一ヶ月學費はいくらかゝるか云ふことになる、上記の事實を基本にして次の様な數字になる。

下宿屋へ入れば一ヶ月五十五圓(月謝、小使、下宿料、本代)衣服靴は省く。
間借すれば一ヶ月五十圓(月謝、食費、小使、本代)衣服靴は省く。

と云ふことになる。

五六

早稻田は勉學には非常に都合よく學校の近くに居れば自然圖書館も近く餘計な金も要らぬ譯である。尙東京に家のあらるゝ人は一層安價にして、勉學し得るのは言を俟たない。之を他學校生徒の八十圓、百圓に比較すればまことに雲泥の相違と云はねばならぬ。尙學院には生徒の自治になる寄宿舎が二三ある。希望者は何時にても入れてくれる事になつてゐる此所に入れば月二十六七圓で優にやつて行ける模様である。

入學の秘訣

何處の學校にも特色がある。特色は又試験問題にも表はれて来る。今早稻田でも入學競争の激甚な第一第二高等學院について其問題の特色を考へて受験希望者に少しでも便宜を與へたいと思ふ。けれどもかゝる企ては兎角受験者をして『山』を掛けさしむる恐あるのみならず反つて悪い結果を醸す憂があるから慎重の注意を以て書く積りである。で讀者も紙背に其意を酌む程の注意を以て讀んで戴きたいと思ふのである。由來入學試験なるものは人が中等教育をどの程度迄消化したか或はどの程度の鋭さを持つてゐるかといふ事を、提出された數葉の答案に依つて調べるのであるから丁寧に腹の中の事を完全に書き表はせば、試験場に於ける受験者としてはベストであるといふことが出来る。即ち平素は存分に教科書を讀破して紙表紙背の事柄迄よく頭に入れて之を消化し試験場にあつては答案を綺麗に漢字や假名遣ひに氣をつけて、思ふ所をう

五七

まく言ひ表はすといふことに要約されてしまふのである。早稻田に對しても之丈で上等であるべき筈であるが一言参考迄に特色を述べてみる。

早稻田は語學が比較的難物だ、他の學科も必要であるが語學と數學をしつかりやる必要がある。卷末試験問題にも表はるる通り英語は他の學校よりも粹な問題が出ている。粹であるといふことは受験者の力がハッキリ調べられさうな問題であるといふことである。即ち其人の有する英語の力がシツカリしていないと解けないといふ問題が多い。その代りヒツカける様な問題や理論の難しい問題は出ていない。此處が受験者の注意を要するところである。公式的に融通の効かない暗記をやつたり。單語の珍らしい奴をエラさうに覺へて得意でいると手も足も出ない様にされるのだ。つまり英語の解釋には原文の氣分といふことを最も重しとする意味をよく知つて平生の氣分をい物語りや散文を克明に讀んでいる人は成功疑ないのである。單語も辭書に頼らずにそれに含まるゝ氣分をよく知つて置くべきである。之れは英作文にも直ちに融通の

く遣方である。カード式のものを見ても類例を重んじて、用ひられたるところより單語の意味氣分を味はふ事を第一とすべきである。英作文も類例をたくさん覺へるのが捷徑だが數の多きを追ふてアヤフヤになることは禁中の禁だ。國語漢文については、早稻田の問題を見ると他の學校と著しく異つたところを發見する。先づ古文のみを出すものと決つていないで近代文、徳川時代の文等を出す、それも極めて一般に親しいものでありながら特徴の多いものを出す、單語などに此傾向が著しい。即ち或教科書にはあるが或教科書にはないといふ様なものでなく極めて一般的な公平なものが出るから相當に力のある人は驚くに足らない、教科書を咀嚼した頭で常に目に觸れた新聞雜誌を疎そかにしないといふ事を必要とする。數學は他の高等學校の問題と伯仲の間にあつて平行的な傾向がある。數理の理解、計算の確實、答案の明瞭等を注意として、常に練習を心掛けている必要がある。世には應々公式を鵜呑みにして問題をタクサンやれといった人があるが之は甚だ不安全的な本城を築いているものと云はざるを得ない。

我等は何事に依らず殊に數學は一つの問題を徹底するといふことが必要である。公式の暗記は時に誤をするかも知れないし永續するかも疑はしい殊に問題ばかりやつて安心している人に此傾きが著しい。重ねて徹底を御奨めする。

其他の事に關しては之を一々細説するにも及ばぬが上掲諸注意を熟讀され併せて卷末の問題を照し合せて各自それ／＼に、しつかりした勉強をしておられるれば萬違算なく早稻田學園の秀才として時めく榮譽を得らるゝ譯である。

過去の競争率と將來の考察

凡そ何人もが將來の企劃を樹てる上に於て最も安全確實なる材料として見るものは抽象的な觀念論よりも具象的な數字辯證であらう。此意味よりして可成的數字材料を蒐集して讀者に提供するのには又重要な仕事である。重要な丈に更に精密を追ふことを任務とする。

今過去に於ける早大學院入學者の合格率競争率を調べ一言愚見を附して見たいと思ふ。

第一高等學院

年 別	志 望 者 數		合 格 者 數		競 争 率 (一人=付)	
	文 科	理 科	文 科	理 科	文 科	理 科
大 正 九 年	1,308	940	440	260	2.97強	3.62弱
大 正 十 年	1,985	1,477	440	260	4.51強	5.68強
大 正 十 一 年	2,140	1,417	440	260	4.86弱	5.45

第二高等學院

年 別	志望者數(理科ナシ)	合格者數(理科ナシ)	競争率(一人=分)
大正十年	685	28)	2.45 弱
大正十一年	2,307	400	5.77 弱

となるのである。之に依りて、見ると大正九年は創立日尙淺く天下の受験生に學院の眞價が聞えなかつた故であらう、競争率は爾後比較して低いのである。越えて大正十年に至つては一躍して文科四倍半と理科六倍弱の割合を示してゐる。此時第二學院の設立を見たるも之亦恐らく創業日淺きの故であらうが稍低率なる二倍半となつてゐる。翌大正十一年に至つては之を第一學院に見ると文科五倍、理科五倍半となり短時日にして既に他の高等學校競争率中、中位に位するに至つた。第二學院は非常なる好成绩で前年の二倍即ち競争者六倍の結果になつてゐる。早稲田の礎ける地盤は設立後僅々三ヶ年にして、かく優秀なる結果を齎したのである。

少しく上掲數字に表はれたるところを内面的に考察して將來の豫想を陳べて見やう。

大正九年といふ年は學令が改正されて之を行ふた最初の年であることは諸君既に御承知である。そして若しも實生活の趨勢に興味を有する人達ならば次の事實をも無條件に承認されることであらう。即ち未曾有の大戦が終熄して此年よりの世界經濟界は物質の不足より招來される大不景氣に向ひつゝあつた事實である。

さて勉學の必要は一般民衆の間に非常な旺盛さを以て高潮されて來た。とはいへ我等も所詮は人である。人であるが故に衣食を思はねばならぬ。此之故に至純なるべき學校も世の景氣の好惡に従つて競争者の率を上下するのも亦止むを得ないではないか。然るに大正九年、不景氣の浮世風強烈なるにも係らず早高設立の年既に、三倍の競争を以て堂々天下の秀才を選抜した事實は早大の前途に華やかなる暗示を投じているものと解される。更に大正十年大正十一年此兩年に亘つては引續き人類は大不景氣

のドン底に陥入し露獨塊の破産をさへ告げているに際し早大入學者の競争率を見ると一躍して五倍、六倍の猛烈さを示して來た。こは明かに早大の實價が廣く一般に認められて來た事を證するものである。

然らば將來の競争は如何と問はるゝならばそれは一層激烈さを増すであらうと答へざるを得ない。其程度如何と云ふならば他の高等學校と比較して之を論せねばならないが大體現在の狀態より推して一人當り八名の競争者を最高率と見て可なりである。餘程の斟酌を加へても大正十一年を最低と見るが至當であらう。

之を要するに過去現在を將來に對する最良の暗示者とは云へ確定的のものではない。しかも勉強中にあつて貴重なる時間を多分にさいて作戦とやらいふ名目で費消して行くに至つては愚も極まれりといふべきである。我賢明なる早大志望者にはかくの如き人は無からうが過去を大體考察して眞實目に勉強し基礎の爲めの中等教育を勵まれん事をお奨めする。

入學者の 經驗談 早稻田に入つて

私が此都の西北なる早稻田の森人となつてから早や一とせ今にして入學當時を思ひ起すに未だに合格の通知を受けた時の嬉しさが思ひ出でられて一種異様な心身の爽快を覺えるのである。

受験者諸君よ早くヴァニテイを捨て、又は古臭い支那道德に支配せられずに官立でも私立でもよい學校へ入り給へ

そも、諸君が高等の教育を受けんとするのは何の爲めであるか將來教育で身を立て様とする人は兎も角も其他の人々は皆此教育を或目的に達する手段とせんとするに外ならないのである。して見れば敢て官立でなければならぬといふ譯は無い。

或受験者は目的を變更してはならぬといふ小學校當時の教訓を遵守して一學校のみをねらつてゐるを此の大切な時といふものを何もならないむしろ却つて苦しいあ

の受験生活に送るのである。何たる愚ぞや。ましてそれが爲め此の生命を賭すものに於てをや。

私は思ふ如何に學校の名稱は變らうとも同一目的の學校であるならば志望を一枚に限る必要はないと。人生僅か五十年其の中大學教育完成迄に十七年間といふ長い星霜を費すといふ事が既に不經濟な且愚鈍な方法であるのに其の上二年とか三年とかむだな受験生活をやる人々の心理状態が私には解せられぬのである。

序文を終るに望み私は受験者諸君が私の胸即ち我々の教育は或目的を遂行する手段であつて決して我々の目的ではないといふ事を諒とせられて大に勉強し早く實社會に立たれん事を希望するものである。

次に私が取つた入學準備方法を參考迄に述べたいと思ふこれとても所謂十人十色といふ如く人間各自種々なる方面に於て異つてゐる。であるから私に適した勉強法が必ずしも諸君に適するといふものでない。故に諸君は諸君自身大に考へ最適の準備法を

定められん事を希ふ次第である。

英語

平常から非常に好きであつたので別に之と云ふべき受験的勉強もしませんでしたが只學校でやる譯、文法及英作文の外に通學途路の電車中とか又は暇の時間に三省堂の模範單語カードの三四兩學年用のを見ました。之も單語其物よりはむしろ單語の下に書いてある文例をよく見ました。

數學

代數は可成好きでしたが幾何がどうも不得手でしたので學校でやる外に伊藤豊十先生の日土數學講習會へ大正九年九月から通ひました。又此の外夜分家で特に専攻しました。

國漢

國語ではよく篩ひ落されるといふ事を聞いて居ましたのでこれも學校でやる外塚本先生著の「國文の考へ方解き方」「國文解釋法」「漢文の考へ方解き方」「漢文解釋法」を夜分數學と並行してやりました。又作文は幼少の頃から拙かつたので特に當學院の吉川先生篇「作文模範答案集」を熟讀しました。

世界地理 学校のノートの外に概括的な事を見る爲に三省堂「學生の世界地理」を参考しました。

日本歴史 全々参考書なくして只中學一年の時の教科書を熟讀しました。

僕の経験談は斯くの如く平凡極まるものであるが併し此の中より或物を見付けて呉れらるれば幸甚である。

入學後の経験

一、當初の印象

その木々に變化と豊富をしめすは背景の森である。澄んで動かざるは包む空氣である。黄のかつた薄い樺色の木の壁地に交る柱を暗褐に塗つて、スレート葺きの新建築が悠然としてたつ。これが早稻田第一高等學院だ。すべてが落ち着いて、やはらかみがあつてそして明かい。そこには過去幾月、生來はじめて生存競争を痛感して二千五百の受験生が控へる。やがて鐘は鳴らされて、その體驗の最後の幕は切つて落された。彼等の多数が私とともに、豫想を裏切られて自若たる自分を見出し得たに相違ない。受験場の多くは、五六十人を限られ、十分に答案紙面は許され、概してあり剩る時間は與へられ、更に、監督にたゝれた先生の好意に満ちた注意と親切な取扱とがあつた。試みを受くる人々の眞實の力が遺憾なく發揮され得たのは論のないところ。自

由、樂天、それらの早稻田の空氣が誤らるゝことなしに最初の印象としてのこる。一つの大人格が造つた獨特のアトモスフェア!!吾等に千秋の遺憾は後れ來ること一年にして故總長の雄姿に接し得ざる事である。

二、其の後の感想

院長の人格者たるは最初から近かづく者を肯かしめる。彼は自らを學生の忠告者前驅者とする。それは彼の言行によつて明かだ。校の大部分の計畫と組織は學生自身の決定にまで残される。諸教授はその研究發表——教授すると云ふよりはこの方が態度と内容に於て早稻田の實際に近い——に些の畏憚を要せざるが故に清新と指激に溢れ、露骨なエキスプレッションに直截と開放を見る。かくの如き氛圍氣と環境の中にあつてその學生たるもの、服裝に、態度に、言辭に、思想に、氣障がない、衒癡がない、あるがまゝの自然である、それは當然のことではないか。高襟を氣取らず敝衣破帽に固まらず、一人こつそり勉強して抜けがけの功名首席にならうなどのさもしい心は一

人として持ち合せぬ。萬一あつてもそれは勿論前境涯よりの持ち越しにして暫くにして全き同化を遂げるに相違ない。彼等の胸は廣く開かれ、彼等の手は常に學友のそれを握る。

私は自由と獨立に心満たされてこの學院の讚美を禁じ得ない。

第一高等學院入學試驗問題

英語 (文科、理科共通)

英文和譯

大正九年度

- 1.) A danger often attendant on school life is that of bad companionship. We may not be idle to avoid association, but we can and should avoid intimacy with the bad school-mate. If the bad wish the companionship of the good, they themselves should become good.
- 2.) In that city he had only two or three acquaintances, and from them he held aloof, lest necessity or temptation should lead to his spending money which he could not spare.

3.) Whatever children see they unconsciously imitate. They insensibly come to resemble those who are about them as insects take the colour of the leaves they feed on.

大正十年度

- 1.) Affliction teaches a wicked person some thing to pray for. Prosperity, never.
- 2.) The instances are numerous in which persons, even of feeble body and delicate health, have carried into old age the genius of their youth.
- 3.) The world we live in is a fairyland of exquisite beauty, our very existence is a miracle in itself, and yet few of us enjoy as we might and none as yet appreciate fully, the beauties and wonders which surround us.

大正十一年度

- 1.) Japan as yet fails to see that Japan's own real advantage in the long run is to have all the doors to East Asia open to all the world.

- 2) In old age men and women prefer peace, though it may be uninteresting, to every kind of adventure.
- 3.) Seeing no chance of escape, I put a bold face on the matter and walked directly up to him.
- 4.) Liberty will not descend to a people, a people must raise themselves to liberty: it is a blessing that must be earned before it can be enjoyed.

和文英譯

大正九年度

- (一) 君ハ上野ノ図書館へ行ツタコトガアルカ。アルトモ、サ十回位ハ行ツタウ
- (二) 僕ノ友人デ中學ヲ卒業スルト直チニ米國へ勉強ニ出掛ケタモノガアルガ、君ハソレヲ伶俐ナ遣方ダト思フカ。

(三) 僕ノ兄ハ實業界ニ這ヘルノガ志望ナノデ商科へ入學シタガ僕ハ文學ニ趣味ガアルカラ文科ヲ撰ンダ。

大正十年度

(理科ハ三ノ文學ヲ科學ニ文科ヲ理科ト變ゼシノミニテ他ハ同様)

- (一) 皇太子殿下ハ去ル三月三日ニ東京ヲ御出發遊バサレマシタ。其後各地デ歡迎ヲ受ケサセラレテ居リマス。
- (二) 英作文ノ基礎ヲ造ルニハ容易イ本ヲ澤山讀ムニ限ル。
- (三) A、君ハ東京へハ始メテデスカ。B、イヤ三年前修學旅行ニ來タコトガアリマス。

大正十一年度

- (一) 彼ハ未ダ年ガ行カナイカラ世話ガ燒ケル。
- (二) 英國皇太子殿下ハ四月十二日御入京遊サル、筈。
- (三) 試験ガ濟ンダラ先ヅ平和博ヲ見物シ、ソレカラ、ウント遊ブ積リダ。

七五
 君ハ上野ノ図書館へ行ツタコトガアルカ
 アルトモ、サ十回位ハ行ツタウ
 僕ノ友人デ中學ヲ卒業スルト直チニ米國へ勉強ニ出掛ケタモノガアルガ、君ハソレヲ伶俐ナ遣方ダト思フカ

(四) 今年ノ東京ノ花時ハ鳴賑ヤカナ事ダラウ。

中

數學

九年度 文科 (一時間半)

○(1) $a = \text{關スルニ式アリ其式} = a=1, a=2, a=3$ トスレバ其値ハ夫々 4. 3. 5. トナルト云フ $a=6$ トスレバ其值幾何トナルカ。 $a = \frac{1}{2}, 2, 5, 11$

√(2) 138 里ヲ隔ツル東西兩市アリ。今甲ハ東市ヨリ乙ハ西市ヨリ相向ヒテ同時ニ出發シ。甲ハ初日ニ10里行キ。以後毎日 $\frac{1}{2}$ 里ヅツ行程ヲ遞減シ。乙ハ初日ニ6里行キ。以後毎日 $\frac{1}{3}$ 里ヅツ行程ヲ遞減スルモノトスレバ。幾日ノ後ニ兩人相遇フベキカ。

○(3) ニツノ三角形ガ合同トナル總テノ場合ヲ列擧セヨ。

√(4) 三角形 ABC ノ外接圓ノ A ニ於ケル切線ニ平行ニ B フ過リテ直線ヲ引キ。 ACト D ニ於テ交ラシムレバ。 ABハ AC, ADノ比例中項ナルコトヲ證明セヨ

十年度 文科 (一時間半)

中

- (1) 若干人ニテ各等額ノ金ヲ出シ一定ノ金額ヲ儲金セシトス。若シ三人ヲ増セバ一人ノ割前五十錢ヲ減ズベク若シ又二人ヲ減ズレバ一人ノ割前五十錢ヲ増スベシト云フ。人数如何。
- (2) 初項ガ夫々 a, b ナル公比相等シキニツノ等比級數アリ。第一ノ級數ノ無限項ノ和ノ平方ハ第二ノ級數ノ無限項ノ和ニ等シト云フ公比ヲ求メヨ。
- (3) 半徑 r ナル圓ニ内接スル正六面形ノ面積ヲ求メヨ。

十一年級 数学

○次ノ等式ガ成立スルトキハ其各式ハ $\frac{a+b}{a}$ ニ等シキコトヲ證明セヨ。

$$\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{a} + \frac{1}{b} \quad \text{and} \quad \frac{1}{x-a} + \frac{1}{y-b} = \frac{1}{a-b} + \frac{1}{y-a}$$

- (2) 第二項 $\frac{3}{2}$, 總和 2 ナル無限等比級數アリ。此ノ級數ノ初項ヲ初項トシ、公差ヲ 4 トスル等差級數ノ第十二項ヲ求メヨ。
- (3) 三角形 ABC ノ頂點 A, C ヨリ夫々對邊ヘ下ヘル垂線ノ足ヲ EF トシ、重心 H 及

ビ頂點 A, C ヲ過ギル圓ノ中心ヲ O トスレバ, OH ハ EF = 垂直ナルコトヲ證明セヨ。

九年度 理科 (三時間半)

- (1) 次ノ各場合ニ於テ a, b ノトルベキ値ヲ決定セヨ。但シ a, b ハ實數ナリトス。
 - (i) $a^2 = 0$ (ii) $a^2 + b^2 = 0$
- (2) $a\beta$ ハ $a^2 + pa + 1 = 0$ ノ根ニシテ, rs ガ $a^2 + qa + 1 = 0$ ノ根ナルルル。
 $(a-r)(\beta-r) \times (a+s)(\beta+s)$ ヲ p, q ヲ以テ表ハセ。
- (3) 初項 1, 2, 3, 4, 5 ニシテ公差 1, 3, 5, 7, 9 ナル等差級數ノ n 項ノ和ヲ夫々 S_1, S_2, S_3, S_4, S_5 , トスレバ $S_1 + S_2 + S_3 + S_4 + S_5$ ノ値如何。
- (4) 直角三角形 ABC ノ内接圓ガ斜邊 BC ト D = 於テ切スルトキハ BD, CD ノ積ハ三角形 ABC ノ面積ニ等シキコトヲ證セヨ。
- (5) 一ツノ圓ノ直徑 AB = A 點ヨリ引ケル垂線 AC ノ上ノ一ツ點 C ヨリ此圓ニ切線 CD



ヲ引ケバ切點 D ヨリ AB ニ下セル垂線 DE ハ CB ラ以テ二等分セラル、コトヲ證セヨ。

十年級 照林

(1) $Ax^4 + Bx^3 + 1$ が $(x-1)^2$ ニテ割リ切レル様ニ AB ノ値ヲ定メヨ。

(2) $(\sqrt{2}+1)x^2 - 2(\sqrt{2}-1)x + 5\sqrt{2} - 7 = 0$ ナルトキ $(\sqrt{x+1})$ ノ値ヲ最簡單ナル形ニテ表ハセ。

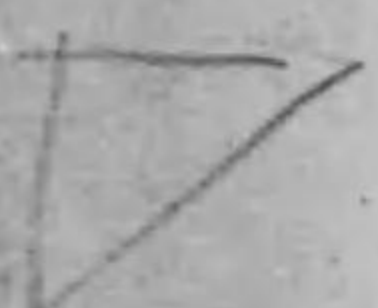
(3) 等差級數。1000 + 997 + ⁹⁹⁴997 + 991 +ニ於テ負號トナル最初ノ項ヲ求ム。

(4) 相對スル二邊ト四ツノ角トヲ與エテ四邊形ヲ作レ。

(5) 直角三角形ノ直角ヲ夾ム二邊ノ長サヲ二尺、二尺一寸トス。内接圓ノ半徑如何。十年級 照林

(1) x, y ニ關スル次ノ聯立方程式ノ二組ノ解ガ相等シクナル爲メニハ K ラ如何ニ定ムベキカ。

$$\begin{cases} Kx + y - 5 = 0 \\ x^2 - 2(x - 3y) + 35k = 0 \end{cases}$$



(2) 直角三角形アリ。斜邊ト他ノ二邊ノ和トノ比ガ $a:b$ ナルヲ b^2 ハ $2a^2$ ヨリモ大ナルコトナシ。之ヲ證明セヨ。

3) 初項ト第二項トガ夫々相等シキ等差級數ト等比級數トアリ、此等ノ級數ノ第三項ハ何レガ他ヨリ大ナルカ。

(4) 正三角形ノ内切圓、外接圓、傍切圓ノ面積ノ比ヲ求メヨ。

(5) 定圓 O ノ定直徑 AB 上ニ一點 O' ラ求メ、C ヨリ AB ニ垂線 CD ラ作り圓周トノ交點ヲ D トス。AC, CD ノ和ヲ最大ナラシメヨ。

國語

文科 大正九年度

一次ノ文ヲ口語ニテ解釋セヨ

ことわりなきことわりのまことなりことわりのごと行はるゝものならば何の難き事もあらじをさも知らず人と争ひ政を誹りなどしてたかぶる者はことわりのまことを知らぬなり。

二次ノ文ヲ口語ニテ解釋セヨ

己を無みし身を捐つる者にしてはじめてよく兼心を得べし利害を計較し得失を打算し自我を立つるに専らならば他人亦かくの如くにして我に對せむ人の冷酷を怨み世の澆季を歎じその極社會の組織を非議する者は恐らく自ら省察するを急とすべし。

三左ノ文中文法ノ誤アラバコレヲ正シ片假名ヲ漢字ニ書キ改ムベシ

現今社會道德は、セキジツに比してタイハイのチヨウコウありシンシといはれセイ
コウシヤといはるゝ人にしてハフリツにフレざる限不義不徳をなすを以てカヘツテ
ピンワンカなるがごとくにシキすこれ實に現代の徳育において最もイウリヨすべき
ゲンシヤウにしてシヤウライイウキの青年が加ふるケイテウフハクのとをモハウシ
その感化を受くるに至らば教育のことゼツバウにキすのみならず我が帝國の前途亦
實にカンシンにタえざるなり我等はダンじてかかる悪風の感化を受くるべからず
ケンシキを持すこと高く品性シウヤウのゴウを完ふするを要す。

大正十年度

(一) 神儒佛の教さまざまなる中に上はかしこき朝政より、下は十露盤の忙しき世渡り
市の出買の其の日過まで、朝寝せよとの教こそなけれ。まして鶏の始めて鳴きてよ
り忠臣は蚊にせゝられて、煙草に明け行く鐘を數ふとかや。
右口語ニテ大意ヲ平ニ説明スル事。

(二) 左ノ文ヲ解釋スシ

あらゆる藝術の士は煩惱を解脱するの點にて清淨界に出入し得るの點に於て我利我欲の羈絆を掃蕩し得るの點に於て千金の子よりも萬乗の君よりもあらゆる俗界の寵兒よりも幸福である。

大正十一年度

(一) 左ノ文ヲ平易ナル口語文ニ譯スベシ圈點ヲ附シタル語ハ特ニ注意スベシ

夕月の影に玉笹の霜の所せくおきわたしたるがきらきらと見えたるなどなかなかをかしき冬枯の野邊のけしき闇ならまし。がばくちをしからまし。

(二) 左ノ文ノ内容ヲ平明ニ記述スベシ

路寂寞と古今の春を貫ぬいて花を厭へば足を著くるに地なき小村に婆さんは幾年の昔からじやらんじやらん(馬の鈴の音)を數へ盡して今日の白頭に至つたのだらう。

(三) 左ノ語句ヲ簡單ニ解釋セヨ

(イ) わすれがたみ (ロ) 俗念を遣る

(ハ) 勝地は主なし (ニ) ひなぶるに鄙びたり

(四) 左ノ文中ノ片假名ヲ漢字ニ改メ文法上ノ誤アラバコレヲ訂正スベシ

(イ) 忠勤をヌキむす

(ロ) 舊習にコウデイしてキビ振はず

(ハ) ガイを逞しふす

(ニ) ハンモンに沈みジバウジキに陥る

作文

大正九年度 『前途』

注意 今度新に専門を選んだについて、是れから歩み行くべき前途を望む心持を書くのである。過去を顧み、周囲を見まはす事無論妨げがない。文體は口語文、雅

文、候文、書翰文式、記事文式、論文式何でもよい。自分の好みに一番合った自分の思想を盛るに最も適したと思ふものを御選みなさい。單複長短は隨意で、どれ程澤山の事をどれ程長く書いてもよいが、成るべくは、自分に最も會心なる一部分を取り出して、其處を念入りに書くのがよいでせう。

十年度 『勞働』

勞働に對する意見でもよい、勞働に就いての經驗でもよい、勞働に關する議論でもよい。何れにしても要點をしつかりと擷んでそれを浮かし出すやうに現はして御覽なさい。文體長短共に隨意であります。

十一年度 『昨今の自分』

最近に於ける自己の生活、經驗、感想、何んでもよい。心に浮ぶ事を有りのまゝに書いて御覽なさい。成るべく要點を擷んで、それを浮し出すやうにするのです。文體、長短共に隨意ですが、與へられた紙面で纏めるやうにして下さい。

理科 大正九年度

(一) 解釋

成敗の人を軒輊するや大なり。頼朝の美名は業の成りしがため、義仲の汚名は業の敗れしがため、史の義仲を叛臣傳に入れしは眞に判定の酷なる者、而も斯く酷に取扱はるゝといふも、主として勢を見誤りし結果なり。勢や察せざるべけんや。

(二) 讀方及意義

家苞。抽象。歌枕。敵愾心。首途。方寸。憧る。

(三) 書取及正誤 (書取ハ平假名ニ適當ナル漢字ヲ充ツルコト)

常ニ聖諭ヲほうたいシテ攷々ふんれいシ、實力ノまんヲ持シテ放ツベキ時節ヲ待タバこひねがハクハ以テ永遠ニ護國ノ大任ヲ全ウスル事ヲ得ン。神明ハ唯平素ノたんれんニカメ、戰ハズシテ既ニ勝タル者ニ勝利ノ榮冠ヲ授クルト同時ニ、一勝ニ満足シテ治平ニ安ムズル者ヨリ直チニ之ヲ褫フ。古人曰ハク、勝ツテかぶとノ緒ヲしめ

ヨト。

大正十年度

(一) 碩學スペンサーは其の大著に於て科學を目するに至大至高の力なりとし、之を吾人精神界の女王に擬し世の藝術文學はすべて其賞讃を目的として、これに隷屬する侍女なりと説けり。

(二) 讀方及意義

(イ) 傳統 (ロ) 賣僧 (ハ) 月暈 (ニ) 轉寢 (ホ) 體験 (ヘ) 藪蛇

(三) 片假名に漢字を當てる事

(イ) ザングの涙 (ロ) ヨシズ掛の茶屋 (ハ) ツムジ曲リ (ニ) シサクと經驗 (ホ) アミダクジをひく

大正十一年度

(一) 常人の意識は煩瑣なる現象の續紛として去來するに任せて、朝三暮四の活計に耳目

の生命を托す。この故に色相に驅役せられ、物華に浮沈して旋回流轉し了るに過ぎず。

(ニ) (イ) 窓の紙松風を嘯りて夜もすがら涼し

(ロ) 子を棄つる藪はあれど身を棄つる藪はなし

(ハ) しゃせましせずやあらましと思ふ事はおほやうはせぬがよきなり

漢文

文科

大正九年度

- (一) 東京以_テ櫻花_ヲ名_ル者_ハ。人皆稱_ニ東台墨水飛鳥山_ヲ。東台多_シ垂絲櫻_{。雜_ルニ以_テ他種_一。}花候最_モ早_シ。墨水次_ツ之_ニ。飛鳥山亦次_ツ之_ニ。
 - (二) 昔時東台。有_リ峻樓傑閣_{。聳_ニ立_シ雲際_一。金碧燦煌。照_ニ映_ス樹間_一。方_ニ春雨始霽。東風徐度_一。遙認_ニ一朵白雲於_ニ松杉檜柏間_一。都人知_ニ花候來_一矣。}
 - (三) 中興後。堂宇灰燼。禁網稍弛。汚穢狼籍櫻花失花。
- 右ノ三問ヲ讀ミ下シタル通リノ假名交リ文ニ書キ改メ其ノ○印ノ語ハ別錄シテ意義ヲ解釋スベシ。

大正十年度

- (甲) 左ノ文ニ送リ假名ヲ施シ解釋スベシ
不_レ見_レ可_レ欲_レ而不_レ亂者。善力猶淺也。他日見_レ可_レ欲。安知_ニ其不_レ亂也。見_レ可_レ欲而不_レ亂。則其心深入_ニ於善_一。善力已堅。可_下以處_ニ聲色貨利之中_一而不_レ爲_ニ其所_レ惑_一矣。
- (乙) 左ノ文ニ返リ點ト送リ假名ヲ施スベシ
源義經神機武略。智勇兼備。出奇制勝。雖韓白無以過焉。故能慶_ニ平氏於西海_一。建不世之勳。然特功專恣。不思善後之策。醞釀讒慝。兄弟不能相容。身爲亡虜。流離狼狽。可勝痛惜哉。
- (丙) 左ノ文括弧内ノ字句ヲ解釋スベシ
漢照烈將_レ終。敕_ニ後主_一曰。(勿以惡小而爲之勿以善小而不爲)

大正十一年度

- (一) 是日也天朗氣清惠風和暢仰觀宇宙之大俯察品類之盛可以游目騁懷足以極視聽之娛信可樂也。
 - (二) 司馬溫公曰光幼時弄青胡桃女兄欲脫其皮不得女兄去一婢以湯脫之女兄來問光曰自脫也先公適見之呵曰小子何得謾語光自是不敢謾語。
 - (三) 孟子曰有爲者辟若掘井井九仞而不及泉猶爲棄井也。
- 右三題共句切反點送り假名ヲ詳ニシ且第一題ハ圈點ノ字ヲ解釋シ第三題ハ全部ヲ解釋スベシ。

理科

大正九年度

- (一) 左ノ文ニ句切り、返リ點、送り假名ヲ詳細ニ附スベシ、講義ニ及バス。
- 應仁以來天下大亂王室衰微宮闕墜廢凡居王土爲王臣者誰不嗟悼今畿内粗定當修禁門

以安帝座然亂後興役不可急迫恐擾民情宜以漸之
大正十年度

左ノ兩章ヲ讀ミ下シタル通りノ假名交リ文ニ書キ改メ其ノ圈點アル字句ヲ別録シテ解釋スベシ。

- (一) 許衡居_レ家勤儉。強_ニ於_一自治。公愛兼盡。不_レ嚴而整。閨門之内。若_ニ朝廷_一然。夫婦相待如_レ賓。凡喪葬一遵_ニ古制_一。不_レ用_ニ佛志_一。
- (二) 夫勇悍趨捷重_レ耻輕_レ死。我國俗自有_一我先王又養_レ之以_レ恩。結_レ之以_レ信。所_下以_上撫摩鍊治之。經數百千年。闔國之民。親_ニ其上_一。死_ニ其長_一。如_ニ手足之扞_ニ頭目_一。以能震懾四鄰。雖_ニ魏唐之強大_一。不_レ能_レ加焉者。恃此俗也。

大正十一年度

全文ヲ讀ミ下シタル通りノ假名交リ(日本文)ニ書キ改メ其ノ圈點アル字句ヲ解釋スベシ。

- (一) 東京飛鳥山舊稱江門之花海每追花時傾都出游士女絡繹鞭影衣香所在成群使人有溱洧芍藥之概也。
- (二) 進而厲義勇於三軍退而激高風於百代其生而軒昂崢嶸百鍊不碎其死豈霧散電滅漸盡而水逝乎。

地理歷史 (文科ノミ)

歷史

大正九年度

- (一) 德川幕府ガ鎖國政策ヲ探ルニ至リシ始末ヲ記セ。
- (二) 北米合衆國ノ建國ヲ記セ。
- (三) 左ノ事項ヲ説明セヨ。
 - (甲) 守護、地頭
 - (乙) 大憲章 (magna charta)
 - (丙) ^カ米イン會議。

大正十年度

- (一) 德川幕府衰滅ノ原因ヲ記セ。
- (二) 甲 北畠親房

乙 日本書紀

丙 豊臣氏ノ五奉行

地理

大正十年度

- (一) 世界ニ於ケル小麦ノ主要ナル輸出地方ニ就キテ述ベヨ。
- (二) (a) Prag (b) Guam (c) Garapagos.



物理化學 (理科ノミ)

物理



大正九年度

- 1) 長サ一尺. 質量二十匁ノ一端ニ直径一寸ノ鐵球ヲ取付ケタルモノノ重心ハ何處ニアルカ。
- 2) 次ノ諸單位ヲ説明セヨ。
 エルグ (Erg) 呎封度 (Foot-Pound) ジュール (joule) ワット (Watt)
 馬力 (Horse-Power) *馬力*
- 3) 臨界温度とは何か。水蒸氣. 炭酸瓦斯. 空氣及ヒ水素ノ臨界温度ヲ記セ。
- 4) 共鳴ノ現象ヲ説明セヨ。

化 學

- 1) 次ノ語ヲ簡單ニ解説セヨ。
原子價・分子式 解離・潮解性・觸媒。
- 2) 空氣 20 立方糎ト水素 20 立方糎トノ混合氣ニ電火ヲ通ズルルキ殘留スル氣體ノ成分ヲ算出セヨ。
- 3) 二種ノ燐ノ製法ヲ記シ其性質ノ相違ヲ比較セヨ。
- 4) 次記ノ場合ニ起ル化學變化ヲ方程式ニテ示セ。
a) 稀硝酸ニ大理石ヲ投ズル時。
b) 螢石ノ粉末ニ硫酸ヲ加エテ熱スル時。
c) 鐵ト硫黃トノ混合物ヲ強熱シテ得タルモノニ稀鹽酸ヲ注グトキ。
d) 金ト銅トノ混合物ニ硝酸ヲ加ヘタキ。

e) 臭化加里ノ水溶液ニ鹽素ヲ通ズルルキ。

物 理

大正十年度

- 1) 静止セル一疋ノ物體ニ斷ユズ一定ノ方向ニ 100 グイソノ力ガ作用スレバ幾秒ノ後ニ物體ノ速度ガ 50 糎秒 (即チ毎秒 50 糎) ニナルカ。
- 2) 滑カナル水平面上ニアル物體ノ一點ニ於テ三ツノ水平力甲・乙・丙ヲ作用セシメタルニ、物體ハ釣合ニアリ、甲力ハ其方向正北ニシテ 40 疋重乙力ハ正東ニシテ 30 疋重ナリトス丙力ノ方向並ニ大サヲ求ム。
- 3) 熱ノ仕事當量トハ何か 其レヲ測定スル方法ノ概略ヲ述ベ且其値ヲ示セ。
- 4) 溶槽ニ溫度 6.0°ノ湯 350 立アリ、之ニ 0.0°ノ雪ヲ加ヘテ其溫度ヲ 50.0°ニ下グセントス。雪幾疋瓦ヲ要スルカ。

化學

5) 吸上ポンプノ構造ヲ圖示シ其作用ヲ説明セヨ。

1) 倍數比例ノ定律及アボガドロノ假設ヲ述ベヨ。

2) 硫化水素ニ就テ次ノ諸項ニ答ヘヨ。

a) 製法及裝置 (圖解)

b) 物理的性質

c) 化學分析ニ應用セララル、特性。

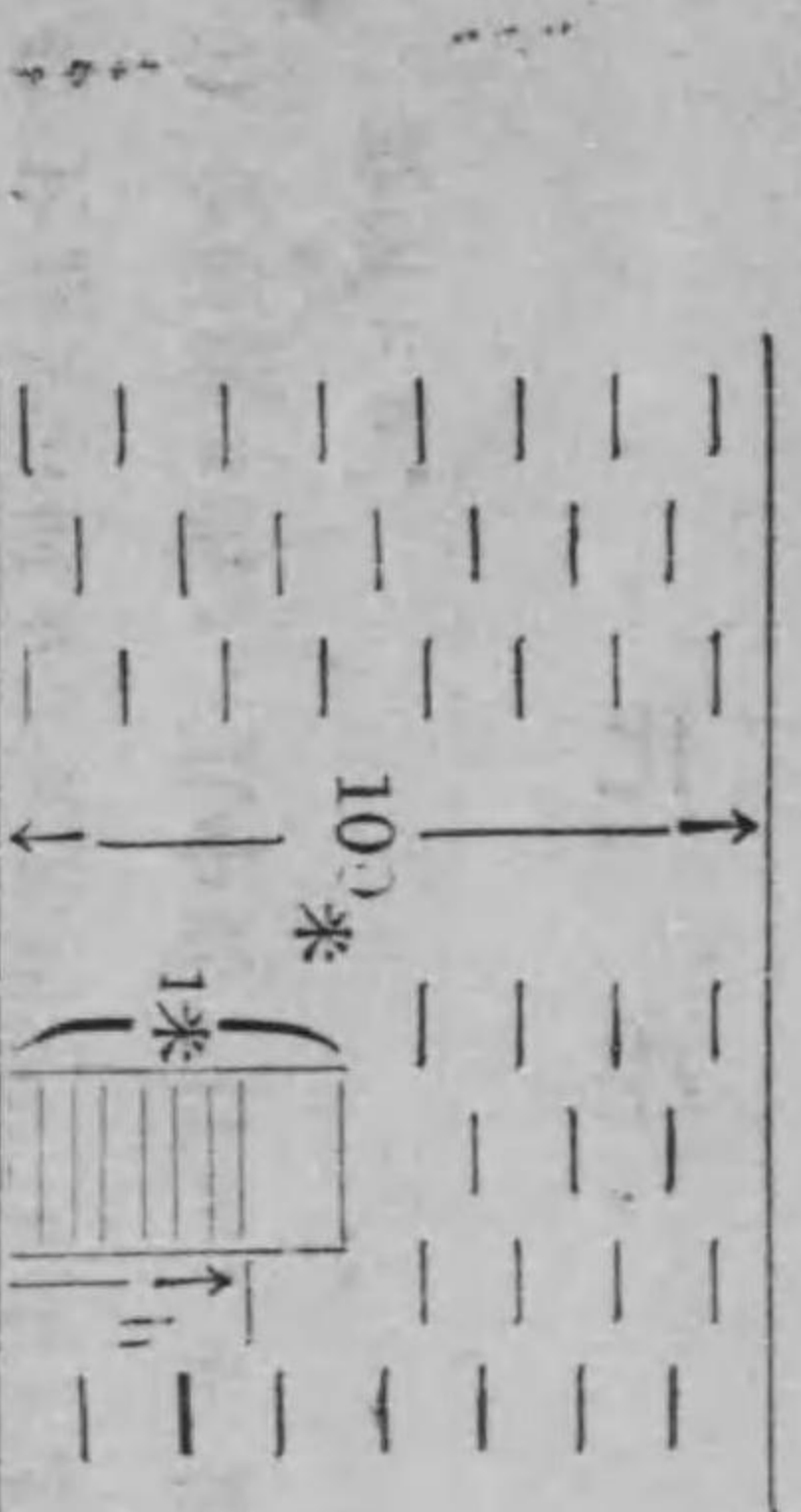
3) 無水亞硫酸 (銅片及濃硫酸ヲ原料トス) 及ヒ鹽素 (二酸化マンガン及濃鹽酸ヲ原料トス) ノ生成ヲ化學方程式ニテ表示シ且ツ其漂白作用ヲ比較セヨ。

4) 鹽素 5 立ノ重量ハ、15.833 瓦ナリト云フ若シ酸素 1 立ヲ 1.429 瓦 トスレバ其分子量ハ幾何トナルカ。

大正十一年度

1) 毎秒 100 米ノ初速ヲ以テ地上ヨリ直上ニ抛ゲテタル彈丸ガ 200 米ノ高サヲ通過スル時刻ヲ求メヨ。但シ空氣ノ抵抗ハ之ヲ無視ス。

2) 一樣ナル断面ヲ有スル長サ一メートルノ一端閉シタル管ニ空氣ヲ入レ之ヲ鉛直ニ海水中心ニ 100 米ノ深サマデ沈ムルトキハ管内ニ侵入スル海水ノ高サ幾何種トナルカ。



但シ海水ノ比重ハ 1.03 海面上ニ於テ大氣ノ壓力ハ一氣壓トシ、水銀ノ比重ハ 13.6 トスニ深サ 100 米ノ處ニ於ケル海水ノ温度ハ海面上ノ空氣ノ温度ニ等シキモノ

ト假定ス。

- 3) 湿度トハ何カ。之ヲ測定スル装置ヲ説明セヨ。
- 4) 比熱トハ何カ。比熱測定ノ方法ヲ述ベヨ。
- 5) 金屬線ヲ張リ。其中央ヲ打ツトキ。此線ノナス運動ヲ述ベ且其エネルギーノ變化ヲ説明セヨ。

化 驗

- 1) 鹽素酸「カリウム」ヲ強熱シテ得タル氣體ノ中ニテ次ノ物質各2瓦ヲ完全ニ燃燒スレバ如何ナル物質幾瓦ヲ生ズルカ。
 (イ) 赤磷 (ロ) 硫黃 (ハ) 炭素
 但シ P=31 S=32 C=12 トス。
- 2) 水素ト一酸化炭素トノ性質ヲ比較セヨ。

3) 過酸化水素ノ製法及用途ヲ問フ。

4) 矽砂ヲ記セ。

早稻田第二高等學院入學試驗問題

英語

英文解釋

大正十年度

- 1) I have often told my rich friends that they can not take their riches away with them when they die, and that they would therefore do wisely to make good use of it while they live.
- 2) Man is man not thru in that which he has in common with animals, but that which distinguishes him from them.
- 3) My impression is that, so far as Personal qualities go, you are the very man of whom

I am in search.

大正十一年度

- 1) To make good use of life, one should have in youth the experience of advanced years and in old age the vigour of youth.
- 2) A glance into the room would have resulted in the opinion that it was as comfortable a corner as could be wished for in stormy weather.
- 3) Many of my competitors read as much in a day as I read in a week; but, at the end of twelve months, my knowledge was as fresh as the day it was acquired, while theirs had glided away from recollection.
- 4) An Englishman is more at home in his own house than an American, first because he is by all the inmates recognized as the absolute master there, and because he spends more of his time there.

和文英譯

大正十年度

- 一) (a) あの本を讀んでしまつたら返して呉れ給へ *Please return my book*
 - (b) 私は八時十五分の汽車で立ちます *I will leave by the train*
 - (c) 電車が非常に込んでいた *The train was very crowded*
 - (d) 己を知ること大切である *It is important to know oneself*
 - (e) 僕は一昨日髪を刈つた *I cut my hair yesterday*
- 二、職務の爲に尊い身命を擲つ人は社會に對して得難い手本を示すものである。
大正十一年度
- (一) 歸りに何處か此附近に夕飯をたべる良い場所は無いでせうか。
 - (二) 名譽を重んずる思想も我國民性の一つに算へなければならぬ。

(三) 十五日突如として起れる暴風の爲に日本海に面せる各地に於て漁船の行方不明となるもの夥し。

(四) 目下建築中の第二早稻田高等學院は四月の初めに落成の筈である。

I don't buy my train
It is important to know oneself
I cut my hair yesterday

數學

十年度 文科 (二時間)

○ (1) 方程式 $\frac{x+1}{x+2} + \frac{x-1}{x-2} = \frac{2x-1}{x-1}$ を解く

○ (2) $2x-3y$ が x, y の等差中項ニシテ且 x^2, y^2 の等比中項ナルルハ x, y の値如何。
 値シ x, y ハ共ニ正數ナリト定ム。

○ (3) 線分 AB ヲ AC : BC = 2:1 ナル様ニ C ニテ内分セヨ。

○ (4) 棱ノ長サ1尺ナル正四面體ノ體積ヲ求ム。

○ (5) $\sin \alpha + \sin \beta = \frac{3}{2}$, $\cos \alpha + \cos \beta = \frac{2}{3}$ ナルル $\cos (\alpha - \beta)$ ノ値ヲ求ム。

十一年度

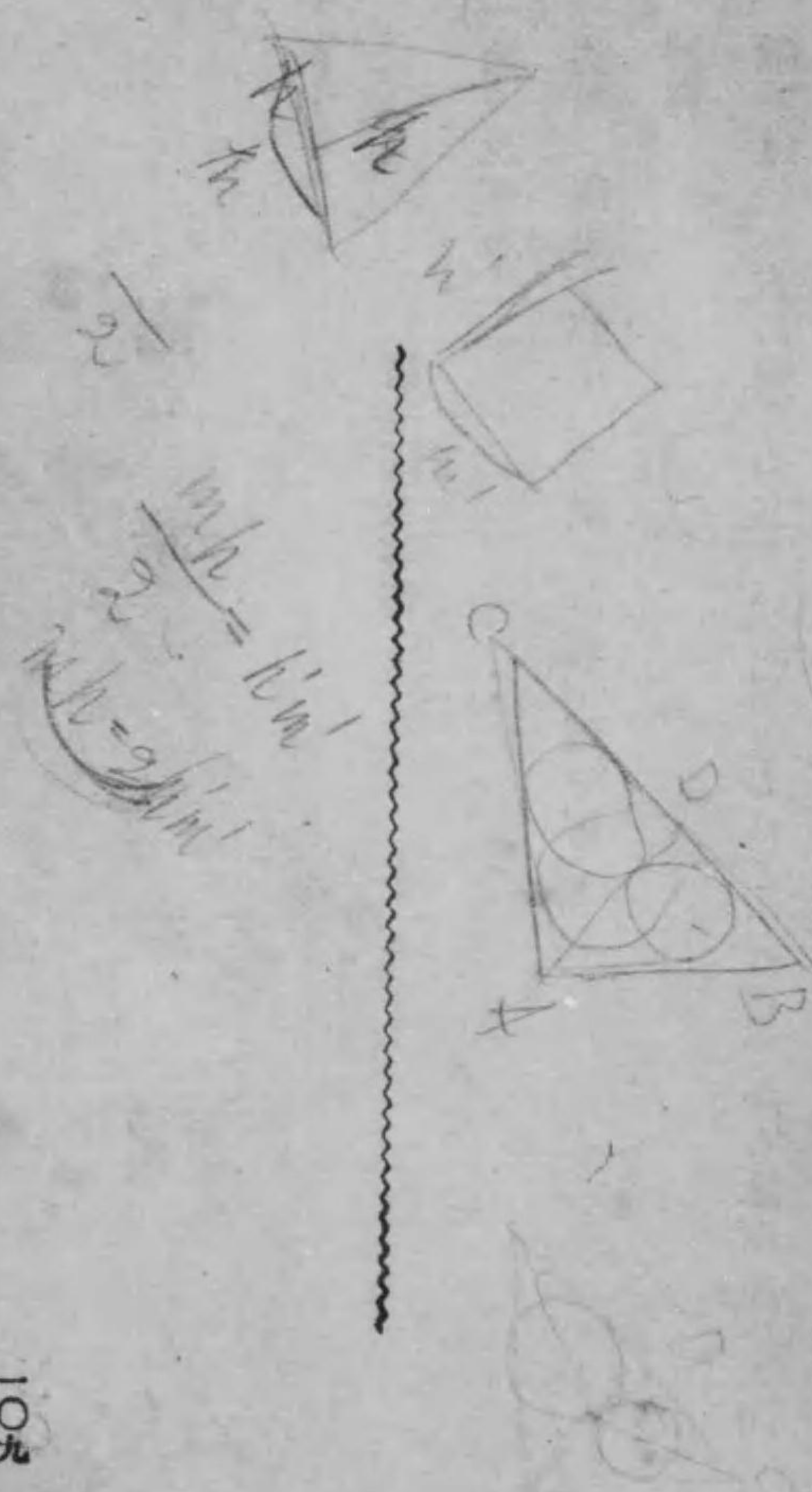
○ (1) $(\sqrt{2}-1)x^2 - \sqrt{2}x + 1 = 0$ ノ根ヲ最モ簡單ナル形ニテ表ハテ。

○ (2) $\frac{1}{a}, \frac{1}{b}, \frac{1}{c}, \frac{1}{d}$ ガ等差級數ヲナストキハ

$\frac{a+b}{a-b} - \frac{c+d}{c-d}$ ノ値ヲ求メヨ。

△ (1) 面積ノ相等シキ正三角形ト正方形トノ邊ノ比ノ値ヲ小數第二位迄正シク求メヨ。

△ (2) 直角三角形 ABC ノ直角頂點 A ヨリ斜邊ニ垂線 AD ヲ引ケバ $\triangle ABD, \triangle ACD$ ノ内切圓ノ面積ノ和ハ $\triangle ABC$ ノ内接圓ノ面積ニ等シキコトヲ證明セヨ。



大正十年度

第一國語解釋

(一) 讀方及解義

共鳴。印象。醇化。有繁。白地。願を解く。

(一) 解釋

歌の道のみ古に變らぬなどいふ事もあれどいさや。今も詠みあへる同じ詞歌枕も昔の人の詠めるは更に同じものにあらず、やすくすなほにして、すがたもきよげは、あはれも深く見ゆ。

第二文法

(一) 左ノ文章中ニ誤アラバ正セ

飢え凍へても武士は武士といふたことばを今は笑つて願ふるもない。

(二) 左ノ文章中ナル口ノ内ニ正當ナル送假名ヲアテハメヨ

教回られたるまゝに山を攀回谷々越回て行けば辛回じて家ある所に出回
大正十一年度

解釋

(一) 左ノ文章ヲ平易ナル口語文ニテ解釋セヨ

よはひの賀にやまともろこしぐさぐさの歌をひろく求めて集むること今の世に人の多くする事なり。みやびわざとはいへどさる心もなきものゝみだりにふくつけく物して只數多くあつまれるをたけきことにするは中々にこちたくぞおぼゆる。

◎注意、圈點を施したる語は特に注意すべし。但し別に書取るに及ばず。

(二) 左ノ語句ヲ簡明ニ解釋セヨ (漢字ニハ讀方ヲツケヨ)

めくされ金、慰藉、椽大の筆、抽象、鳥許、願を解く。

漢

書取及文法 (十一年度)

われ今試験場に在り

書取及文法 (十一年度)

(傍線ヲ施シタル語ニ漢字ヲ充テ文法及假名遣ニ誤アラバ正セ)

日本は東洋のラクエンと稱されること歐洲における伊太利瑞西の如し。氣候中和にして山水メイビシクウエンドクムの襲ふることなく、マウジウドクジヤのすむ事マレニクワウバウたる平原境界のツキざるものなく、カウタウたる長流數百里の山野をヒタすを見すユウダイクイキなる大陸的フウチに乏しと雖も至るところイウレイカンガなる勝景に接す。東海の岸を縫ふて進まば富士を前にし富士を後にして、チャウタイクホ浪靜に砂ナメラカなり。瀬戸内海に船をヤれば松の島を迎え、巖の嶼を送りて、朝日夕日に移らうケイシユはオウセツに暇あらず。

漢文

大正十年度

左ノ兩章ヲ讀ミ下シタル通りノ假名交リ文ニ書キ改メ其ノ圈點アル字句ヲ別録シ解釋スベシ。

(一) 秦皇挾六世之積威。歷衰殘之六國。孰與大閭之徒手奮起。制服群雄。然過用民力以取絕嗣之禍者。則與秦等。

(二) 蒼頡作書。而天雨粟。許慎曰。蒼頡始視鳥跡之文。造書契。則詐偽萌生。去本趨末。弃耕作之業。務錐刀之利。天知其將餓。故爲雨粟。

大正十一年度

左ノ文ヲ讀ミ下シタル通りノ假名交リ(日本文)ニ書キ改メ其ノ圈點アル字句ノ意義ヲ解釋スベシ。

(一)源氏以清和之胃世勤勞王事以至於賴朝經營艱苦勗建大業以致天下小康而不敢僭踰恭順其跡

(二)傳神描景之妙至泰西攝影之術而極矣鏡中之花水底之月一草一木一鬚一髮殆是天工也唯欠四肢運動與雲煙夢幻耳。

(三)絕壁懸崖衝天且欲顛山中之民奚為不眩也習使之然也故習而熟之險途猶可夷視況事之近于人情者乎

(四)為善未盡猶愈不改、改過未盡猶愈不改、聖賢之善非可一日為也、桀紂之惡非可一日改也

地理歴史

歴史

大正十年度

(一)明治二十七八年役ノ原因

(二)鎌倉幕府ノ組織

(三)左の人物場所の中三種を選びて知れる所を簡單に記述せよ。

野見宿禰、名和長年、堺、嚴島、王仁。

大正十一年度

(一)江戸時代初期の海外貿易

(二)左記の地名、人名につき略記せよ

光明子。フランシス・ザヴィエル (Francis Xavier)。菲山。

地理

大正十年度

(一) 英國ノ位置

其優良ナル點アラバ特ニ明記セヨ。

(二) 日本郵船會社歐洲航路船ノ寄港地名ヲ順ニ記セ

(三) 次ノ地名ニ就テ知ル所ヲ簡明ニ記セ

Bombay; Boston; Fiji; Cape Town; Frankfurt; Montevideo;

大正十一年度

(一) ヨーロッパ大陸ニ於テアドリヤ海以西ノ地中海ニ頻セル重要港ノ名ヲ順次ニ列記シ

且其等ノ中最顯著ナルモノ三ツニ就キ知ル所ヲ記セ。

(二) 次ノ地理學上ノ名稱ヲ解答セヨ

イ) ベルファスト ロ) キエフ ハ) ロフオデン ニ) ザール。

第一高等學院入學試験

英語問題答案様式

英文和譯

大正九年度

- 一、學校生活ニ屢々伴フ危険ハ惡友ト交ルコトデアル。我等ハ交際ヲ避ケル様ナ馬鹿ハシナイガ惡質ノ學友ト親交ヲ結ブノヲ避ケルノハヨイ。マタソウシナケレバナラナイモノダ。
- 二、彼ハ其町ニホンノ二三人シカ知人ヲ持ツタイナカツタ。シカモ彼ハ必要ヤ誘惑カラ融通ノ利カナイ自分ノ金ヲ使フ様ニナルノヲ恐レツトメテ彼等カラ遠ザカツタイタノデアツタ。

三、子供等ハ何ヲ見テモ片端カラソレヲ無意識ニ眞似ル。彼等ハ昆蟲ガ餌トスル葉ノ色ヲ自分ノ色トスル様ニ彼等ノ周圍ニ居ル人々ニ無頓着ニ似テ行クノダ。

大正十年度

- 一、苦難ハ惡人ニ時ニ祈ルコトヲ教エル。繁榮ハ決シテ教エナイ。
- 二、體格ノ薄弱ナチヨツトシタ事ニ健康ヲ害シ易イ様ナ人デモ其青年時代ノ天資ヲ老年時代ニ至ル迄持チ應ヘルト云フ事例ハ枚舉ニ遑ガナイ。
- 三、我等ノ住ム世界ハ極メテ美シイ蓬萊(仙郷)デアリ我等ノ存在ハ元來奇跡デアル。シカモ尙我等ヲ圍繞スル美ト不可思議トヲ身相應ニ樂シム人ハ少ナク更ニ心行ク迄之ヲ嗜ム人ニ至ツテハ皆無デアル。

大正十一年度

- 一、日本自身ノ結局眞實ノ利益ガ極東ノ門戸ヲ全世界ニ向ツテ残りナク開放スルニアルト云フコトヲ未ダ日本人ハ知ラナイノダ。

- 二、年ヲ取ルト男モ女モ何ニヨラス冒險ヲ嫌ツテ壁ニ面白クハナクテモ平和ヲ好クモ
ノデアル。
- 三、逃レル機會ノナイノヲ知リマシタカラ、自分ハ大膽ニ事ヲ決シ直接彼ノトコロヘ
歩ンデ行ツタ。
- 四、自由ト云フモノハ躬カラ位ヲ下ゲテ民衆ノトコロヘヤツテハ來ナイ。民衆ハヨロ
シク躬ヲ向上シテ自由ニ到達スベキモノダ。自由ト云フモノハ亨ケ得ラレ、前ニ先
ヅ額ニ汗シテ獲得セラレネバナラヌモノダ。

和文英譯

大正九年度

- 1) Have You ever been at the Uyens Library? O yes; about ten times.
- 2) One of my friends has gone to America immediately upon his finishing the middle

2

school course. Will you think it a right way?

- 3) My elder brother entered the commercial course of the college, because he wishes to
go to business in future. But I choosed the Literary course, as I have a taste for
literature.

大正十年度

- 1) H. H. the crown prince started Tokyo on the 3rd of March and is meeting with
warm receptions at every district ever since.
- 2) Nothing is more efficient in acquiring the fundamental knowledge of English composition
than to read many easy books

- 3) A) Have you visited Tokyo for the first time in your life? B) No, I had visited
Tokyo on the school excursion three years ago.

217412

大正十一年度

- 1) He gives me a lot of trouble, because he is a boy.
- 2) The Prince of Wales will be in Tokyo on the 20th of April.
- 3) When the examination comes to an end, I will first visit the Tokyo Peace Exhibition and then will play to my heart's content.
- 4) A flowery season of this year in Tokyo will be alive with people.



數 學

文 科

大正九年度

1.) x に関する二次式 ax^2+bx+c トス。

$$x=1 \text{ヲ代入スルニ} \quad a+b+c=4 \quad \dots\dots\dots(1)$$

$$x=2 \text{ヲ代入スルニ} \quad 4a+2b+c=3 \quad \dots\dots\dots(2)$$

$$x=3 \text{ヲ代入スルニ} \quad 9a+3b+c=5 \quad \dots\dots\dots(3)$$

$$(3)-(1) \quad 8a+2b=1 \quad \dots\dots\dots(4)$$

$$(3)-(2) \quad 5a+b=2, \dots\dots\dots(5)$$

$$(5) \times 2 - (4) \quad 2a=3 \quad \therefore a=\frac{3}{2} \dots\dots\dots(6)$$

$$(6) \text{ヲ}(4) \text{ニ代入シテ} \quad b=-\frac{11}{2} \dots\dots\dots(7)$$

(5) ト (7) トヲ. (1) ~ 代入シテ $c=8$

故ニ原式ハ $\frac{3}{2}x^2 - \frac{11}{2}x + 8$

故ニ之ニ $x=6$ ヲ代入スルニ

$54 - 33 + 8 = 29 \dots\dots\dots$ 答

2.) n 11 ノ後トセバ

$\frac{n}{2} \left\{ 2 \cdot 1 + (n-1) \times -\frac{1}{2} \right\} + \frac{n}{2} \left\{ 12 + (n-1) \times -\frac{1}{3} \right\} = 138 \dots\dots\dots (1)$

$\frac{n}{2} \left\{ 32 \frac{5}{6} - \frac{5}{6}n \right\} = 138$

$\frac{1970 - 5n^2}{6} = 276$

$5n^2 - 197n + 1656 = 0$

$n = \frac{197 \pm \sqrt{5689}}{10}$

$\therefore n = 27.24 \text{ or } 2.16$

驗算ヲ行フニ 28 日ハ不適當ナリ

故ニ答 13 日目

即チ 28 日目カ 13 日目カナリ。

3.) 一般三角形ノ場合

a. 二邊及其ノ夾角ガ夫々相等シキトキ。

b. 二角及其間ノ一邊ガ夫々相等シキトキ。

c. 三邊夫々相等シキトキ。

特別(直角)三角形ノ場合。

a. 斜邊 銳角ガ夫々相等シキトキ。

b. 斜邊及他ノ一邊ガ夫々相等シキトキ。

4.) 證明 $\triangle ABD$ 及 $\triangle ALC$ ニ於テ. 假設ニ依リ ax ハ A 點ニ於ケル此圓ノ切線ニシテ. BD ト平行セル故ニ

$\angle xAB = \angle ABD = \angle ACB$ 同様ニシテ。

$\angle yAD = \angle ADB = \angle ABC$



又 $\angle BAC$ は共通
 故 $\triangle ABC \cong \triangle ABD$
 従ッテ $AD:AB=AB:AC$.
 即チ $\overline{AB}^2=AD \cdot AC$.

大正十年度

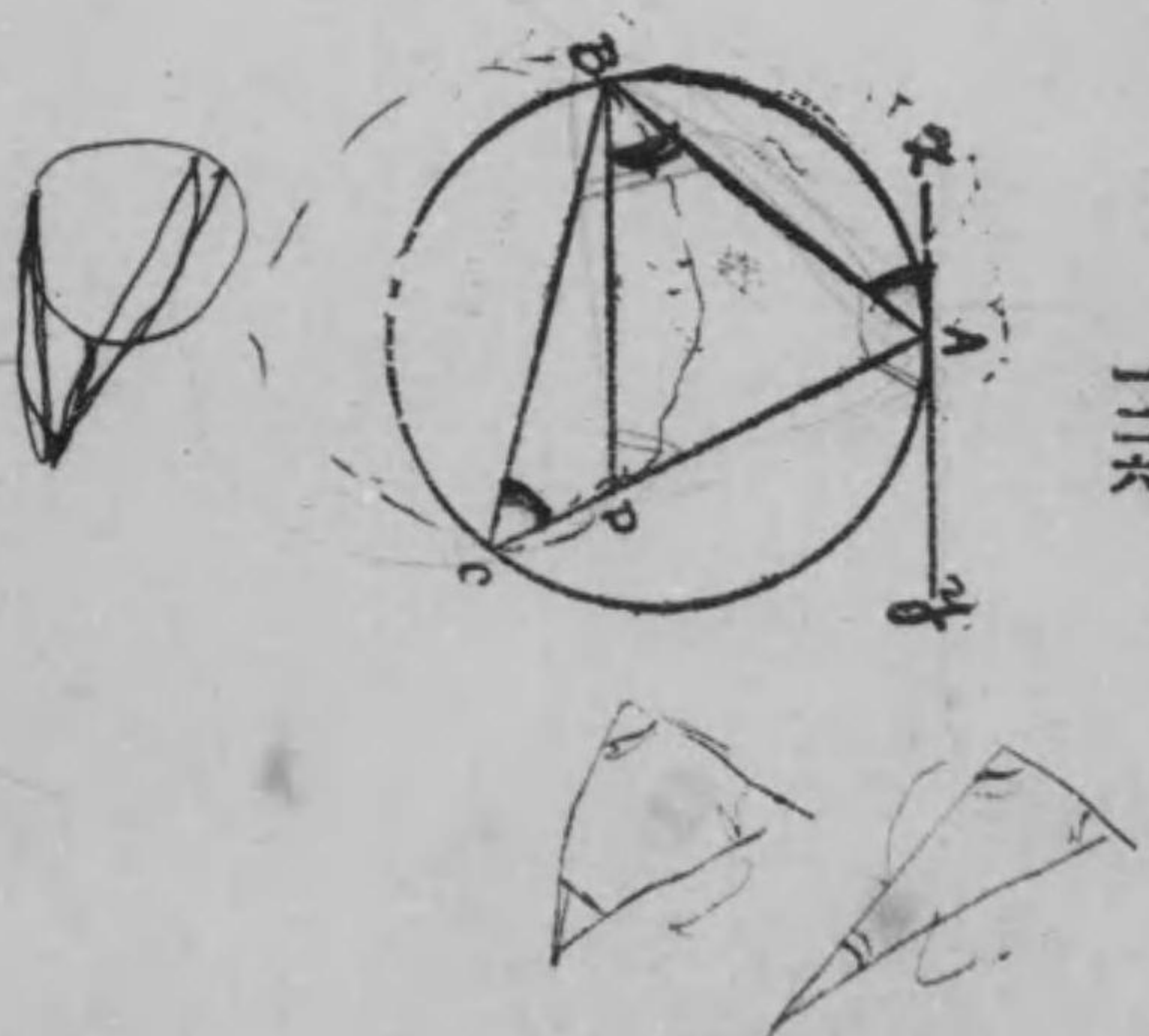
1.) 人数ヲ x 人トシ一人ノ割前ヲ y 錢トスレバ、
 儲金額ハ xy ヲ以テ現ハス事ヲ得。

$$(x+3)(y-50) = xy \dots\dots\dots (1)$$

$$(x-2)(y+50) = xy \dots\dots\dots (2)$$

$$(1)+(2) \quad y = 2:0 \dots\dots\dots (3)$$

(1) ~ 代入シテ
 $200 \times (x+3) = 250x$



$$200x + 600 = 250x$$

$$50x = 600$$

$$x = 12 \dots\dots\dots \text{答。}$$

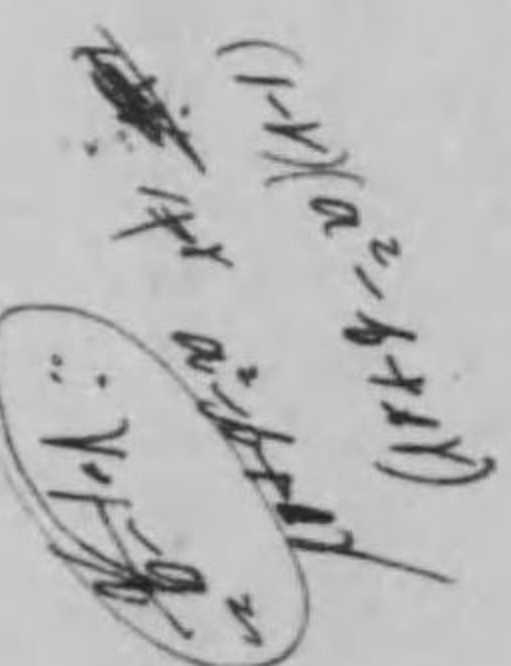
2.) 公比ヲ r トセバ

第一ノ級数ノ無限項ノ和ハ $\frac{a}{1-r}$ ナリ又

第二ノ級数ノ無限項ノ和ハ $\frac{b}{1-r}$

$$\text{故} = \left(\frac{a}{1-r}\right)^2 = \frac{b}{1-r}$$

$$a^2(1-r) = b(1-r)^2 = 0$$



$$a^2 = b(1-r)$$

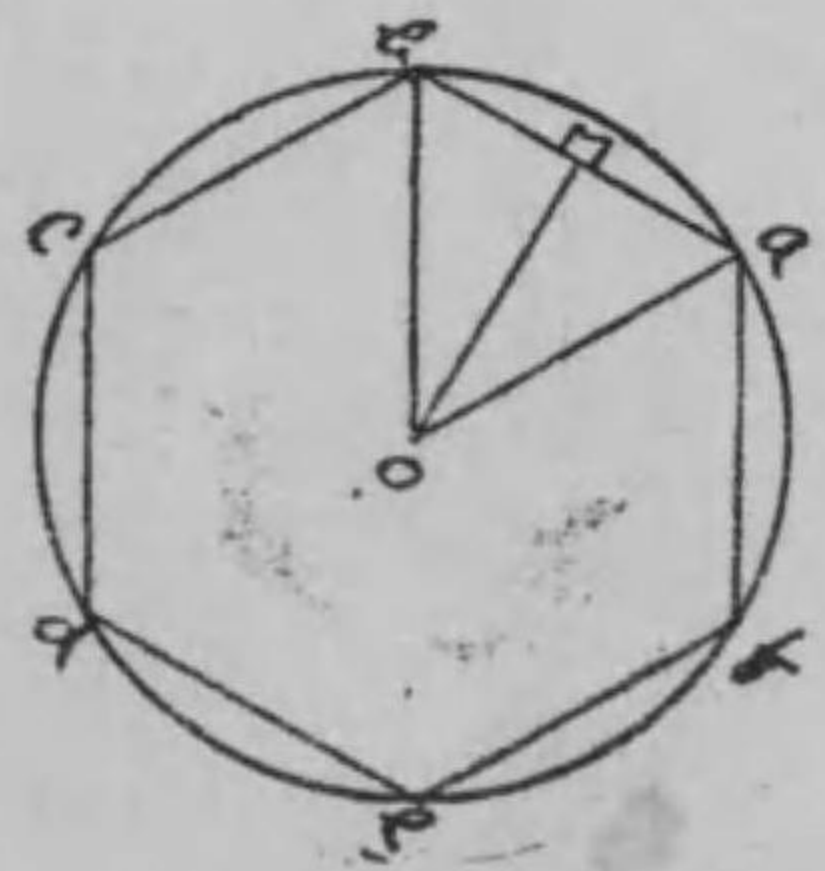
$$r = 1 - \frac{a^2}{b} \dots\dots\dots \text{答}$$

3.) O 圓 = 内接スル正六邊形ヲ $abcdef$ トス。
 而シテ中心 O ヲ各角頂ニ結ブニ六ツノ相等シキ正三角形ヲ得。

先づ正三角形 ab 於テ中心 O ヲリ ab 邊ニ垂線ヲ立テ之ト交ル點ヲ M トス。
然ルニ、 $\triangle abo$ ハ正三角形ナル故ニ M 點ハ ab ノ中點ナリ。

故ニ $OM = \sqrt{oa^2 - aM^2}$
 $OM = \sqrt{1^2 - \frac{r^2}{4}} = \frac{\sqrt{3}}{2}r$

從ツテ $\triangle ab$ ノ面積ハ $\frac{\sqrt{3}}{4}r^2$ 即チ O 圓ニ内接スル正六邊形 $= \frac{3\sqrt{3}}{2}r^2$ 答



大正十一年度

1.) 此問題ハ不可能ナリ。

2.) 此ノ無限等比級數ノ初項ヲ a ト公比ヲ r トスレバ
 第二項ハ $ar = -\frac{3}{2}$ (1)

總和ハ $\frac{a}{1-r} = 2$ (2)

(2) ヲリ $r = 1 - \frac{a}{2}$ (3)

(3) ヲ (1) へ代入スルニ $\frac{a^2 - 2a - 3}{2} = 0$
 分母ヲ拂ツテ因數分解スルニ

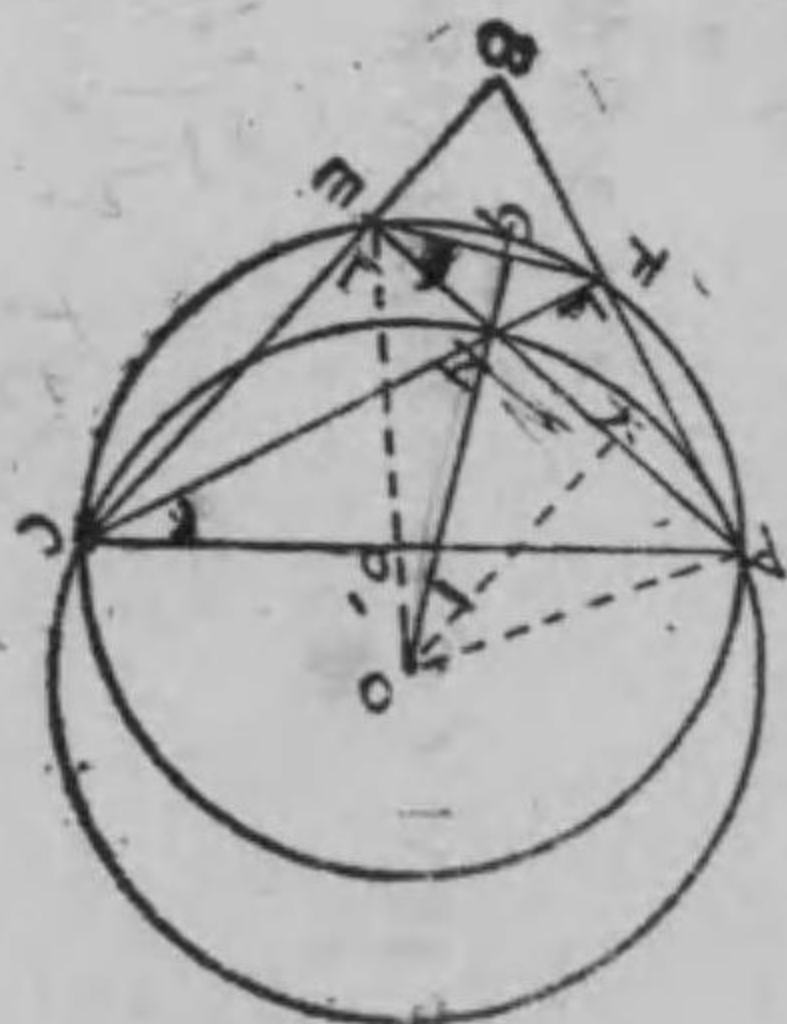
$(a-3)(a+1) = 0 \therefore a=3$ 或ハ -1

然ルニ $a = -1$ ハ無限等比級數トシテノ條件ニ適セズ故ニ捨ツ
 即チ $a = 3$

從ツテ之ヲ初項トシテ公差トスル等差級數ノ第十二項ハ
 $3 + 11 \times 1 = 14$ 答

3. 解意 $OII \perp EF$ ナルベシ。

證明 先づ中心 O ヲ A 及 H ニ結ベバ $\triangle AHO$ ハ二等邊 \triangle ナリ故ニ O ヲリ AH ニ垂線ヲ下シ OK トスサスレバ $OK = \frac{1}{2}AH$ 又 EF ヲ結ビ OH ノ延長ト G ニ於テ交ラシム



サスレバ $\triangle OKH$ 及 $\triangle GEH$ = 於テ
 $\angle GEH = \angle ACH = \frac{1}{2} \angle HOA = \angle HOK$
 然ルニ $\triangle HOH$ = 於ケル $\angle OKH = \angle R$ ナル故ニ
 $\triangle GEH$ = 於ケル $\angle HGE = \angle R$ ナリ
 即チ $OG \perp EF$ 従ツテ $OH \perp EF$ ナリ。

理科

大正九年度

1. () $ab=0$

故ニ $a=0$ ナルカ又ハ $b=0$ ナリ

(ii) $a^2 + b = 0$

故ニ $a=0$ ナルト同時ニ $b=0$ ナリ

2. $x^2 + px + 1 = (x-a)(x-\beta)$

$$= x^2 - (a+\beta)x + a\beta \dots \dots \dots (1)$$

$$x^2 + qx + 1 = (x-r)(x-s)$$

$$= x^2 - (r+s)x + rs \dots \dots \dots (2)$$

(1) ヲリ $a + \beta = -p \dots \dots \dots (3)$ $a\beta = 1 \dots \dots \dots (4)$

(2) ヲリ $r + s = -q \dots \dots \dots (5)$ $rs = 1 \dots \dots \dots (6)$

然ルニ $(a-r)(\beta-r)(a+s)(\beta+s) = (a\beta - r\beta + as - rs)(a\beta - ra + s\beta - rs)$

$$= (a\beta - r\beta)(\beta - ra)$$

$$= s^2 a\beta - \beta^2 rs - a^2 rs + r^2 a\beta$$

$$= s^2 - \beta^2 - a^2 + 1$$

(4) 及 (6) = 依ツテ $\dots \dots \dots = s^2 - \beta^2 - a^2 + r^2 + 2sr - 2a^2$

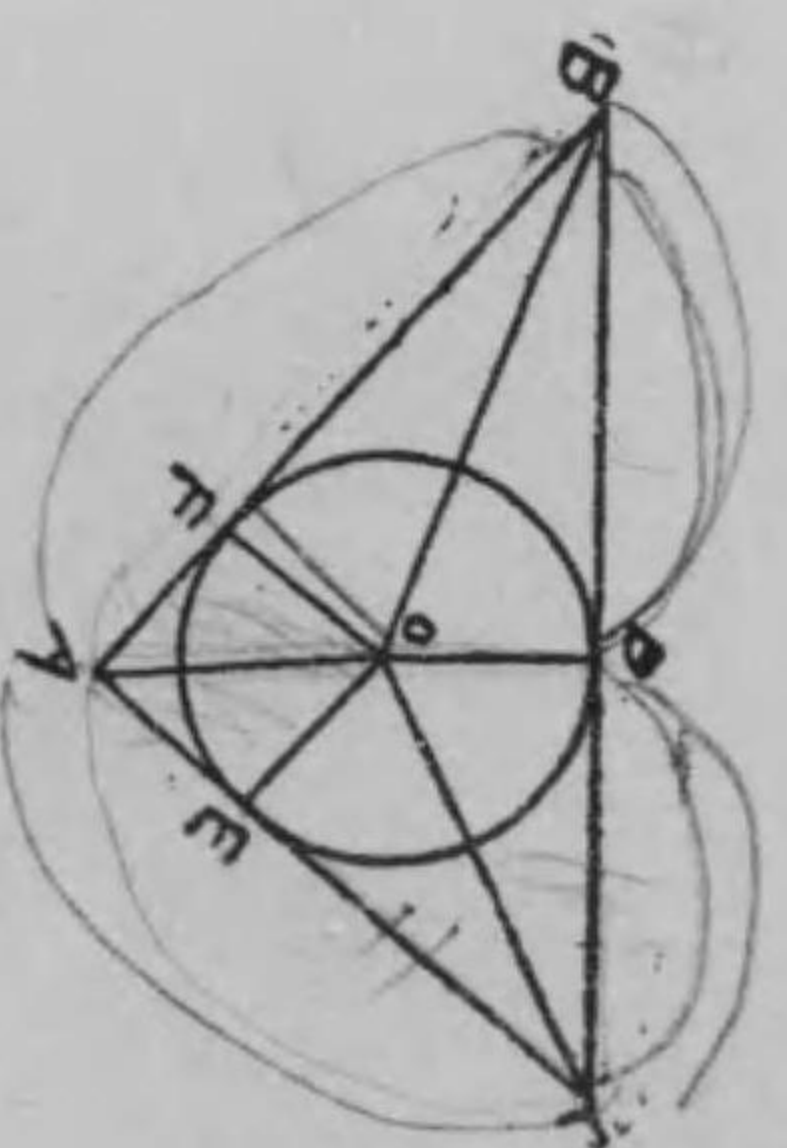
従ツテ $\dots \dots \dots = q^2 - p^2 = (q+p)(q-p) \dots \dots \dots$ 答

3. $a=1 \quad d=1 \quad A.P. \quad n$ 項ノ和 $\frac{n}{2} \{2 + (n-1) \times 1\} = \frac{n(n+1)}{2}$
 $a=2 \quad d=3 \quad " \quad " \quad \frac{n}{2} \{1 + (n-1) \times 3\} = \frac{n(3n+1)}{2}$
 $a=3 \quad d=5 \quad " \quad " \quad \frac{n}{2} \{6 + (n-1) \times 5\} = \frac{n(5n+1)}{2}$
 $a=4 \quad d=7 \quad " \quad " \quad \frac{n}{2} \{8 + (n-1) \times 7\} = \frac{n(7n+1)}{2}$
 $a=5 \quad d=9 \quad " \quad " \quad \frac{n}{2} \{10 + (n-1) \times 9\} = \frac{n(9n+1)}{2}$

$\therefore S_1 + S_2 + S_3 + S_4 + S_5 = \frac{5n(5n+1)}{2} \dots\dots\dots$ 答

4. 題意 $BD, CD = \frac{1}{2} AC$. AB ナルベシ

證明 内接圓ト他ノ二邊トノ切點ヲ E, F トス而シテ内接圓ノ半徑ヲ r トセバ
 題意ニ依テ $2BD, CD = AC, AB$



然ルニ $CD = CE$ 又 $\square AFOE$ ハ正方形ナル故ニ

$BD = BF \quad FO = EO = AF = AE = r$

故ニ $AC = CD + r$

$AB = BD + r$

$\therefore AC, AB = BD, CD + CD + r + BD + r + r^2$

然ルニ $CD + r + BD + r + r^2 = \frac{1}{2} AC, AB$

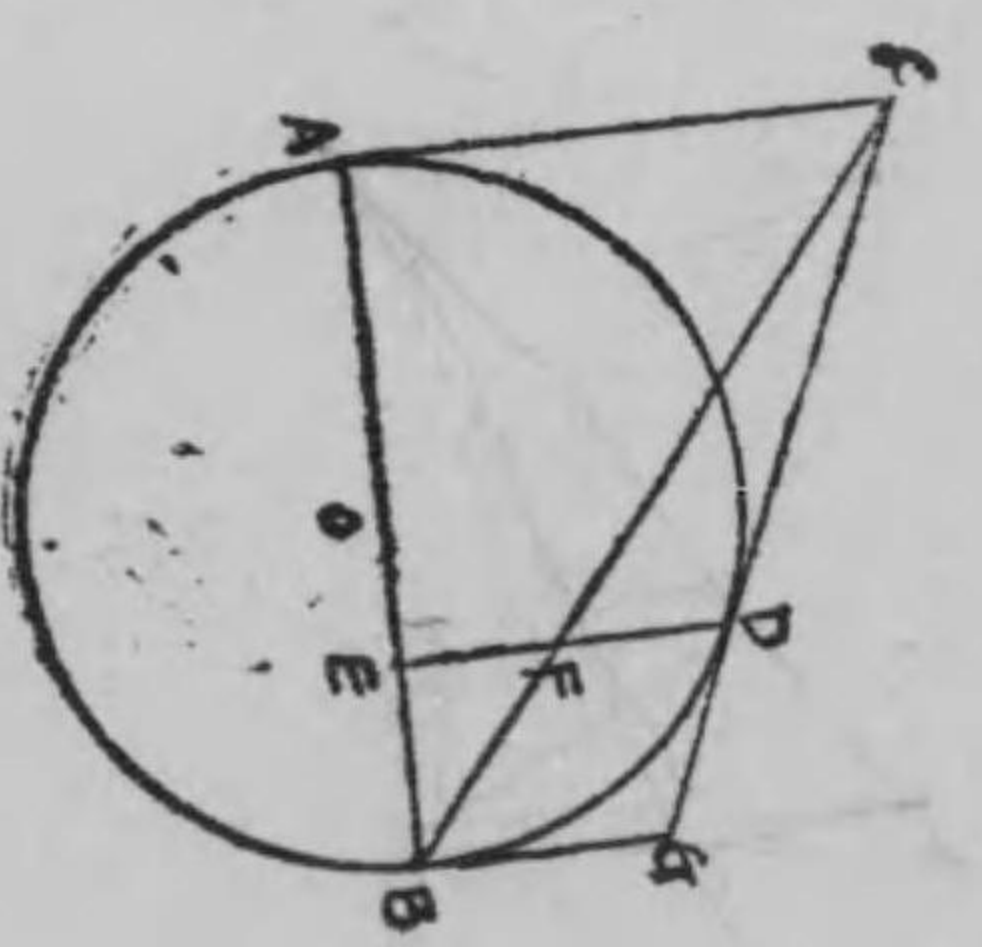
従ツテ $BD, CD = \frac{1}{2} AC, AB = \triangle ABC$ ノ面積

5.) 題意 $DE = FE$ ナルベシ

證明 $AB = B$ 點ヨリ引ケル垂線即チ B 點ニ於ケル此ノ圓ノ切線ト CD ノ延長トノ交點ヲ G トセバ

$\triangle ABC \sim \triangle EBF \therefore AB : BE = BC : BF = AC : EF$

又 $\triangle BCG \sim \triangle CFD \therefore BC : BF = CG : GD$



從ツテ $CG : GD = AC : EF$

然ルニ直線 BG ハ B 點ニ於ケル圓ノ切線ナル故

$$GD = BG$$

即チ $EC : BF = CG : GB$ 從ツテ $CG : GB = AC : EF$

又 $CG : GB = CD : DF$ 從ツテ $CD : DF = AC : EF$

然ルニ D ハ切點ナル故ニ $AC = CD$

$$\frac{DF}{CD} = \frac{EF}{AC} \therefore DF = EF$$

即チ BC ハ DE ヲ二等分ス

大正十年度

1.) 未定係數ヲ用キテ

$$(x-1)^2 (px^2 + qx + r) = Ax^4 + Bx^3 + 1 \quad \text{トス}$$

$$px^4 + (q-2p)x^3 + (p+r-2q)x^2 + (q-2r)x + r = Ax^4 + Bx^3 + 1$$

$$\text{サスレバ } A = p \dots \dots \dots (1) \quad q - 2r = 0 \dots \dots \dots (4)$$

$$B = q - 2p \dots \dots \dots (2) \quad r = 1 \dots \dots \dots (5)$$

$$p + r - 2q = 0 \dots \dots \dots (3)$$

(5) ヲ (4) へ代入シテ

$$q = 2 \quad \text{從ツテ } A = 3 \quad B = -4 \dots \dots \dots \text{答}$$

$$(3) \text{ ヲ } p = 3$$

$$2. (\sqrt{2}+1)x^2 - 2(\sqrt{2}-1)x + 5\sqrt{2}-7 = 0$$

$$x = \frac{\sqrt{2}-1 \pm \sqrt{(\sqrt{2}-1)^2 - (5\sqrt{2}-7)(\sqrt{2}+1)}}{\sqrt{2}+1}$$

$$= \frac{(\sqrt{2}-1)^2(5+1)}{\sqrt{2}+1} = (\sqrt{2}-1)^2$$

$$\therefore \sqrt{x+1} = \sqrt{(\sqrt{2}-1)^2+1} = \sqrt{2-1+1}$$

= $\sqrt{2}$答

3. $1000 + 997 + 994 + 991 + \dots$ Ap. ノ負號トナル最初ノ項迄ノ項數ヲ n トセバ
公差ハ -3 ナル故 =

$$1000 + (n-1) \times (-3) \left\{ 0 \dots \dots \dots (1) \right.$$

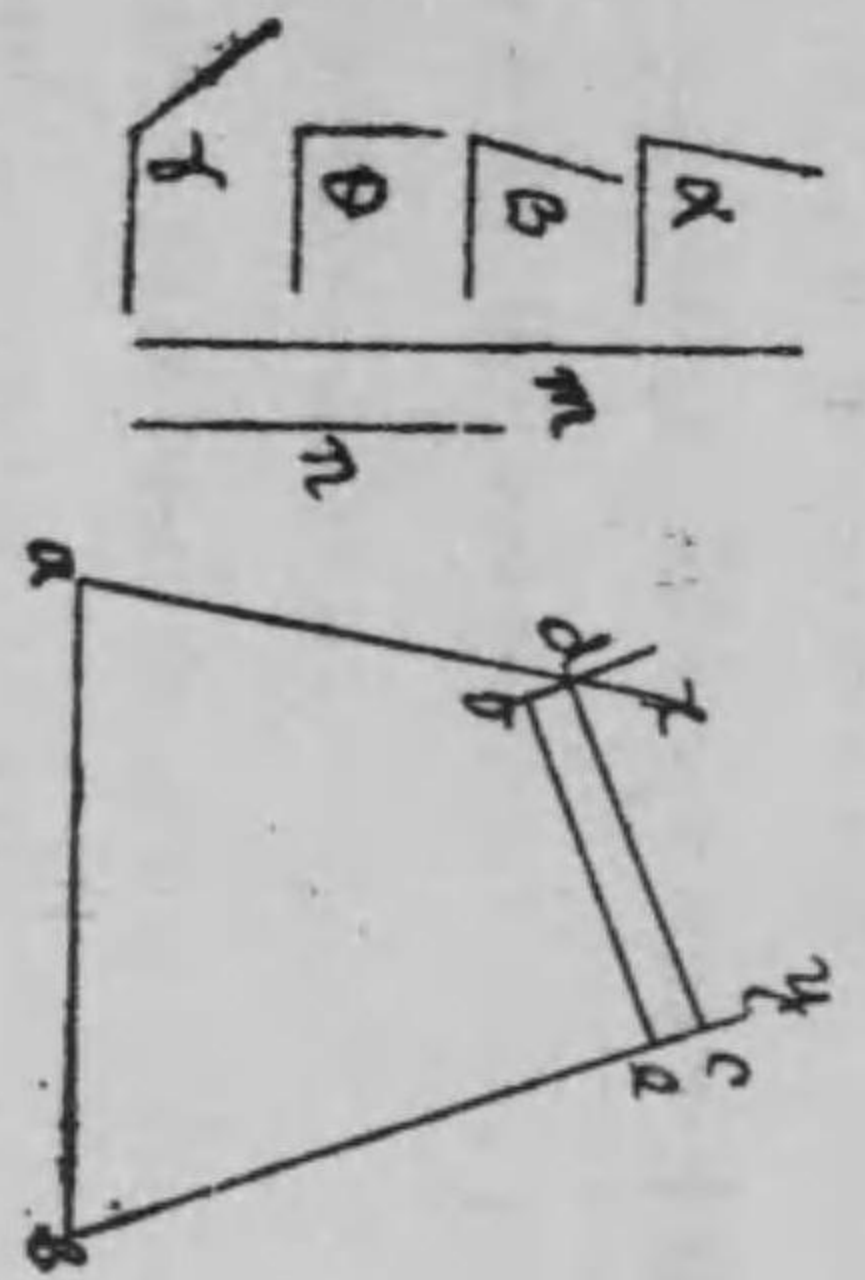
$$1000 + (n-2) \times (-3) \left\} 0 \dots \dots \dots (2) \right.$$

$$(1) \equiv \gamma_n \quad (2) \equiv \gamma_n \left(335 \frac{1}{3} \right)$$

然ルニ n ハ項數ナル故 = 整數ナラザルベカラズ故 = 所要ノ項數ハ 335 項ナリ故 = 負
數トセル最初ノ項ハ $1000 + (335-1) \times (-3) = -2 \dots \dots \dots$ 答

4 作圖

先ヅ與ヘラレタル線分 m = 等シク ab ヲ取リ a = 於テ $\angle a =$ 等シク $\angle lac$ ヲ取リ又 b
= 於テ = $\angle \beta$ 等シク $\angle aby$ ヲ取リ. 又 by 上ノ點 = 於テ $\angle \theta =$ 等シク ef ヲ取リ ef ヲ
與ヘラレタル線分 n = 等シクナラシメ f ヨリ by = 平行線ヲ引キ ac トノ交點ヲ d ト



シドヨリ ef = 平行線ヲ引キ. b, y トノ交點ヲ o
トセバ do ヲ結ベバ其處 = 生ズル $\square abcd$ ハ
所要ノモノナリ。

1. 證明 $\angle bad = \angle a$ $\angle abc = \angle \beta$ $\angle bad = \angle \theta$

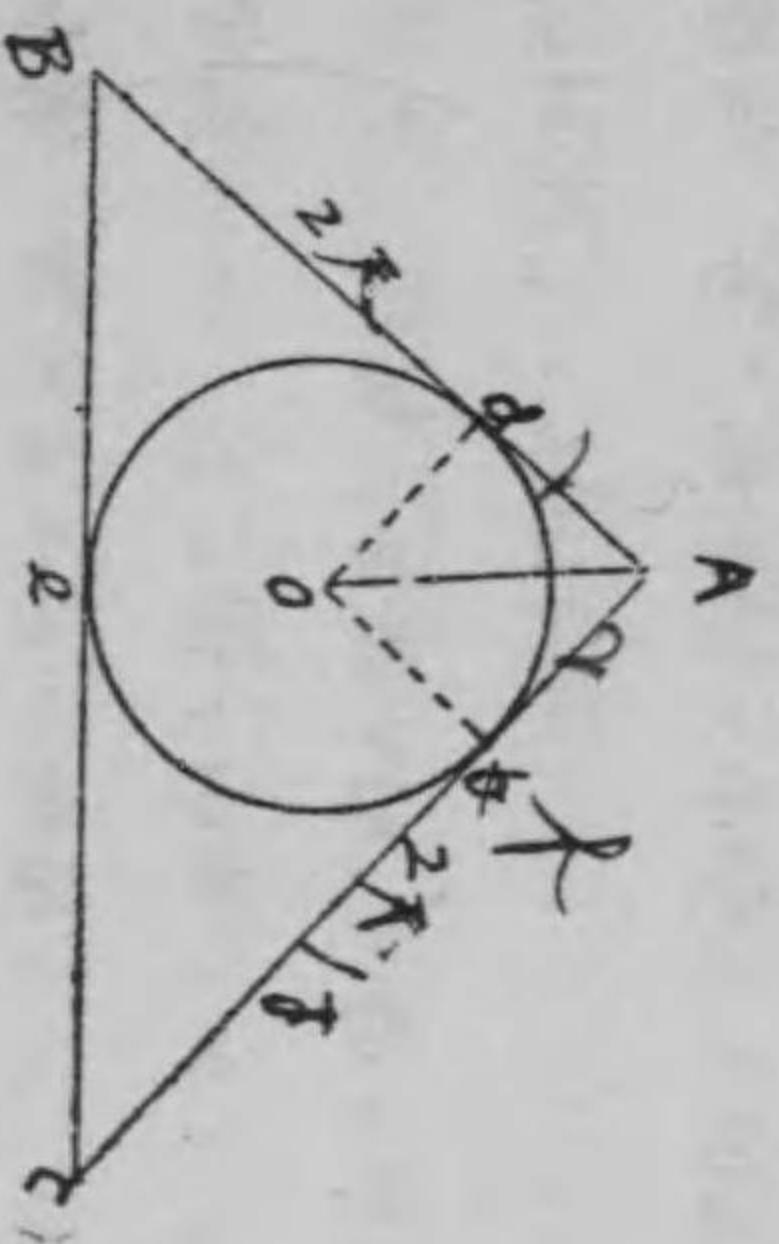
然ルニ何レノ四邊形モ内角ノ和ハ $4 \angle R$ ナル
故 = $\angle cda$ ハ當然 $\angle \gamma =$ 相等シ故 = 此ノ四邊

形ハ所要ノモノナリ。

吟味 與ヘラレタル相對スル二邊ノ長キ方ヲ底邊トシタル場合ハ底角トシテ銳角ヲ
必要トス。又二邊ノ中短キモノヲ底邊トスル場合 = ハ底角トシテ鈍角ヲ必要トス。

5. 題意 直角三角形 ABC = 於テ直角ヲ夾ム二邊 AB ヲ 2 尺トシ AC ヲ 2 尺一寸トセバ
内接圓 O ノ半徑如何。

證明 先ヅ内接圓ノ中心 O ト切點 d, f トヲ結ベバ $\square adof$ ハ正方形ナリ。 $\therefore ad = do$



$of = af =$ 内接圓ノ半径
 又 $db = be = ab - ad$ $fc = ce = ac - ae$
 $\therefore bc = be + ce = bd + ef$
 然ルニ内接圓ノ半径ヲ r 寸トセバピタゴラス
 ノ定理ニ依リ $bc^2 = ab^2 + ac^2$

$(20-n)^2 + (21-n)^2 = 30^2 + 21^2$
 $4n^2 - 164n + 16 = 841$
 $4n^2 - 164n + 210 = 0$
 $n^2 - 41n + 210 = 0$
 $(n-6)(n-35) = 0$
 $n = 6$ or 35 然ルニ $n = 35$ ハ不適當ナリ故ニ所要ノ半径ハ 6 寸ナリ。
 6 寸……………答

大正十一年度

1. $kx + y - 5 = 0$ ……………(1)
 $x^2 - 2(4x - 3y) + 35k = 0$ ……………(2)
 (1)ヨリ $y = 5 - kx$
 (2)ニ代入シテ $x^2 - 2\left\{4x - 3(5 - kx)\right\} + 35k = 0$
 $x^2 - 2(4x - 15 + 3kx) + 35k = 0$
 $x^2 - 2(4 + 3k)x + (35k + 30) = 0$
 兩根ガ等根ナル故ニ
 $(4 + 3k)^2 - 35k - 30 = 0$
 $9k^2 - 11k - 14 = 0$
 $(9k + 7)(k - 2) = 0$ $k = 2$ or $-\frac{7}{9}$
 吟味 $k = 2$ ナルトキ、 $x = 10$ $y = -15$ (1)ニ代入スルニ $20 - 15 - 5 = 0$

$k=2$ の所要ノモノナリ。

$$k = -\frac{7}{9} \text{ ナルトキ } x = \frac{5}{3} \quad y = 3\frac{19}{27} \quad (1) \text{ へ代入スルニ } -\frac{35}{27} + 3\frac{19}{27} - 5 = -2\frac{16}{27}$$

即チ $k = -\frac{7}{9}$ 不適當ナリ。 故ニ $k=2$答

2. 直角三角形ニハ (1) 直角ヲ夾ムニ邊ガ相等シキ場合ト (2) 直角ヲ夾ムニ邊ガ相等シカラザル場合トノニアリ。

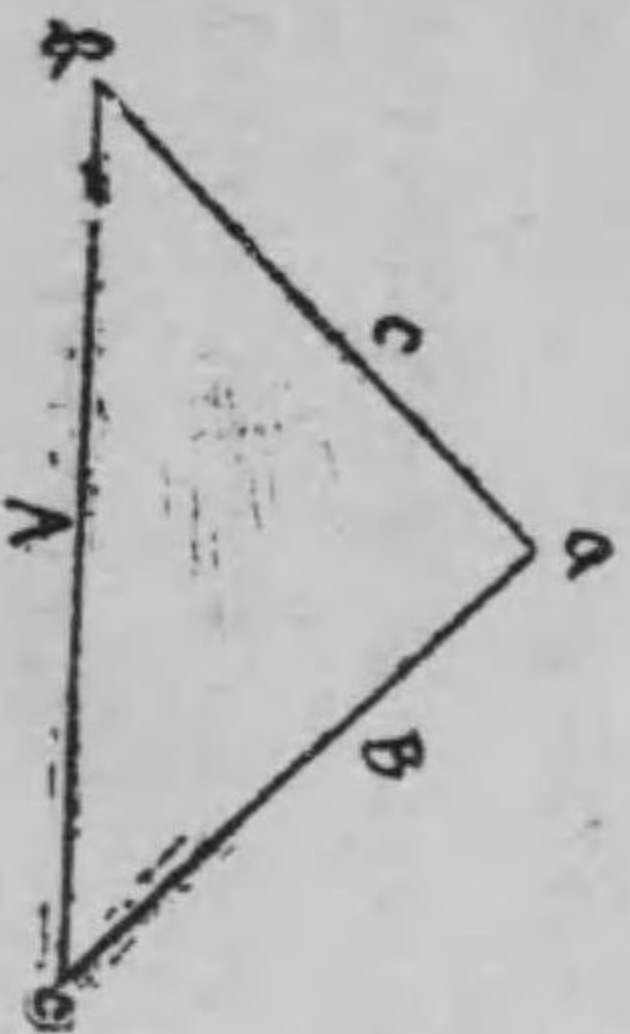
(1) 直角ヲ夾ムニ邊ガ相等シキ場合 題意 $A:(B+C)=a:b$ ナル時

$$2a^2 \geq b^2 \text{ ナルベシ}$$

今 $C \text{ト} B \text{ヲ} 1 \text{トセバ} A \sqrt{2} \text{ナリ。}$

$$\therefore \sqrt{2}:2 = a:b \text{ 之ヲ}$$

$$2a^2 \geq b^2 = \text{代入スルニ } 4 \frac{2}{2} = 4 \text{ 即相等シ}$$



(2) 直角ヲ夾ムニ邊ガ相等シカラザル場合. 題意(1)ニ同ジ。

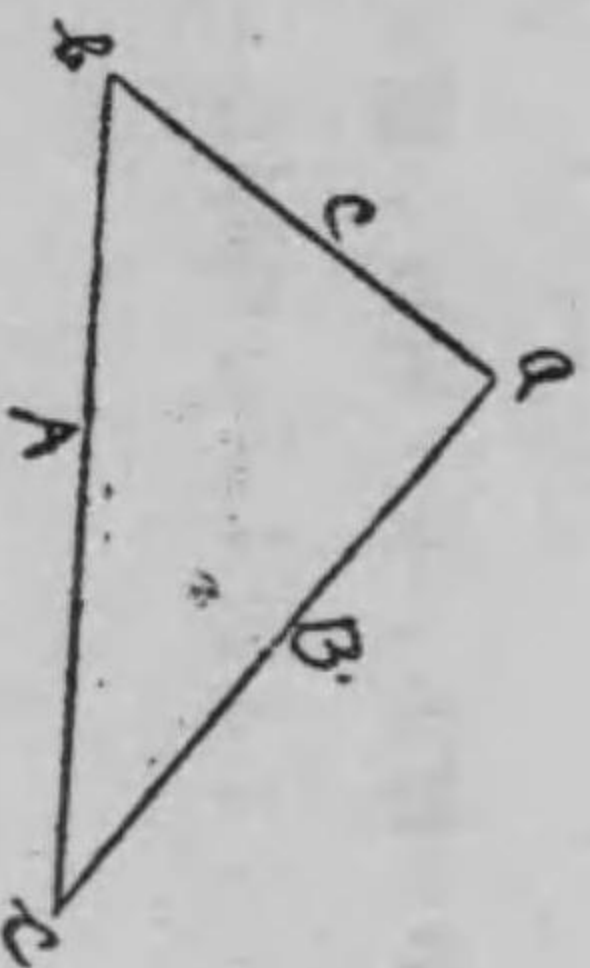
今 $C \text{ヲ} 1 \text{トシ} B \text{ヲ} 2 \text{トセバ} A \text{ハ} \sqrt{5} \text{ナリ。}$

$$\therefore \sqrt{5}:3 = a:b \text{ 之ヲ}$$

$$2a^2 \geq b^2 = \text{代入スルニ}$$

$$10 \geq 9 \text{ 即チ } 2a^2 > b^2 \text{ ナリ。}$$

之ヲ要スルニ b^2 ハ $2a^2$ ヨリモ大ナル事ナシ。



3. 等差級數ノ初項ヲ a トシ. 公差ヲ d トシ. 又等比級數ノ初項ヲ a トシ 公比ヲ r トセバ

$$a+d = ar \dots \dots (1) \quad \therefore r = 1 + \frac{d}{a}$$

$$\text{從ツテ等比級數ノ第三項ハ } a \left(1 + \frac{d}{a}\right)^2 = a \left(1 + \frac{2d}{a} + \frac{d^2}{a^2}\right)$$

$$= a + 2d + \frac{d^2}{a}$$

又等差級數ノ第三項ハ $a(3-1)d = a+2d$

a, d 符號ノ如何ニ拘ラズ. 等比級數ノ第三項ノ等差級數ノ第三項ナリ。

4. 正三角形 abc ノ内切圓ノ外接圓ノ傍切圓 O' ノ面積ノ比如何。

正三角形ナル故ニ内心Oト即チ重心ナリ故ニ内接圓ノ半徑odハ正三角形aboノ中線adノ $\frac{1}{3}$ ナリ。

又外接圓ノ半徑a0ハ正三角形abcノ中線adノ $\frac{2}{3}$ ナリ

又三角形abc及bo'ニ於テ

bcハ共通 $\angle d'o' = 60^\circ = \angle acd$

$\angle d'bo' = 60^\circ = \angle abl$

$\therefore \triangle abc \cong \triangle bo'e$ 即正三角形ナリ。

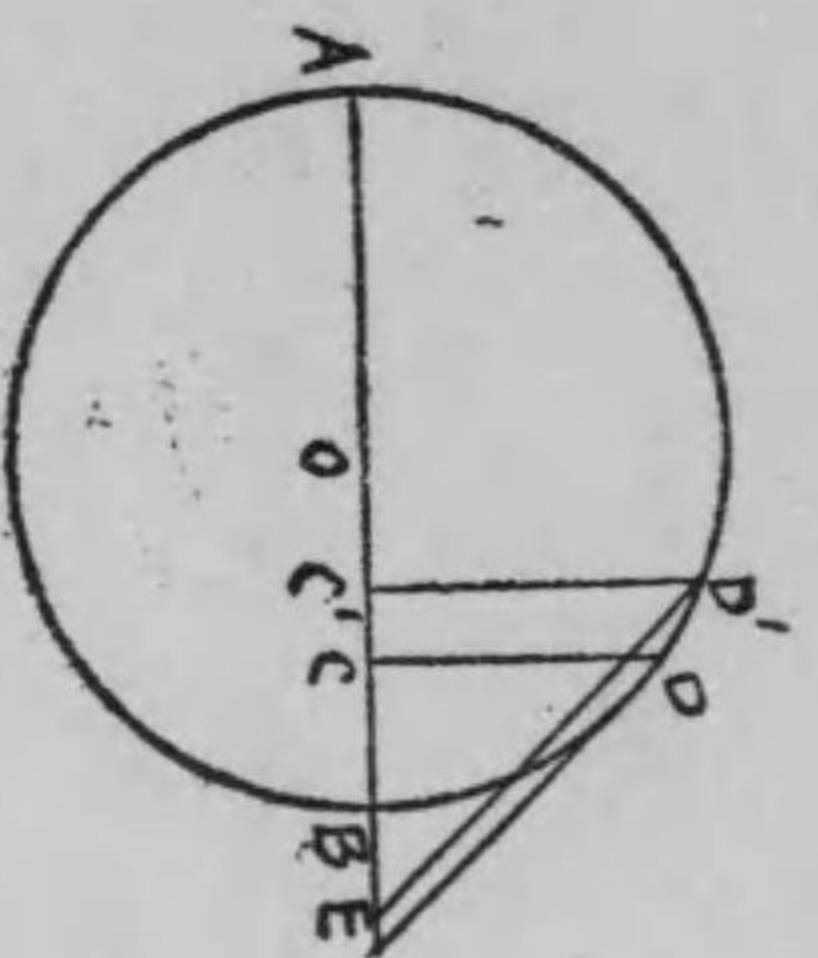
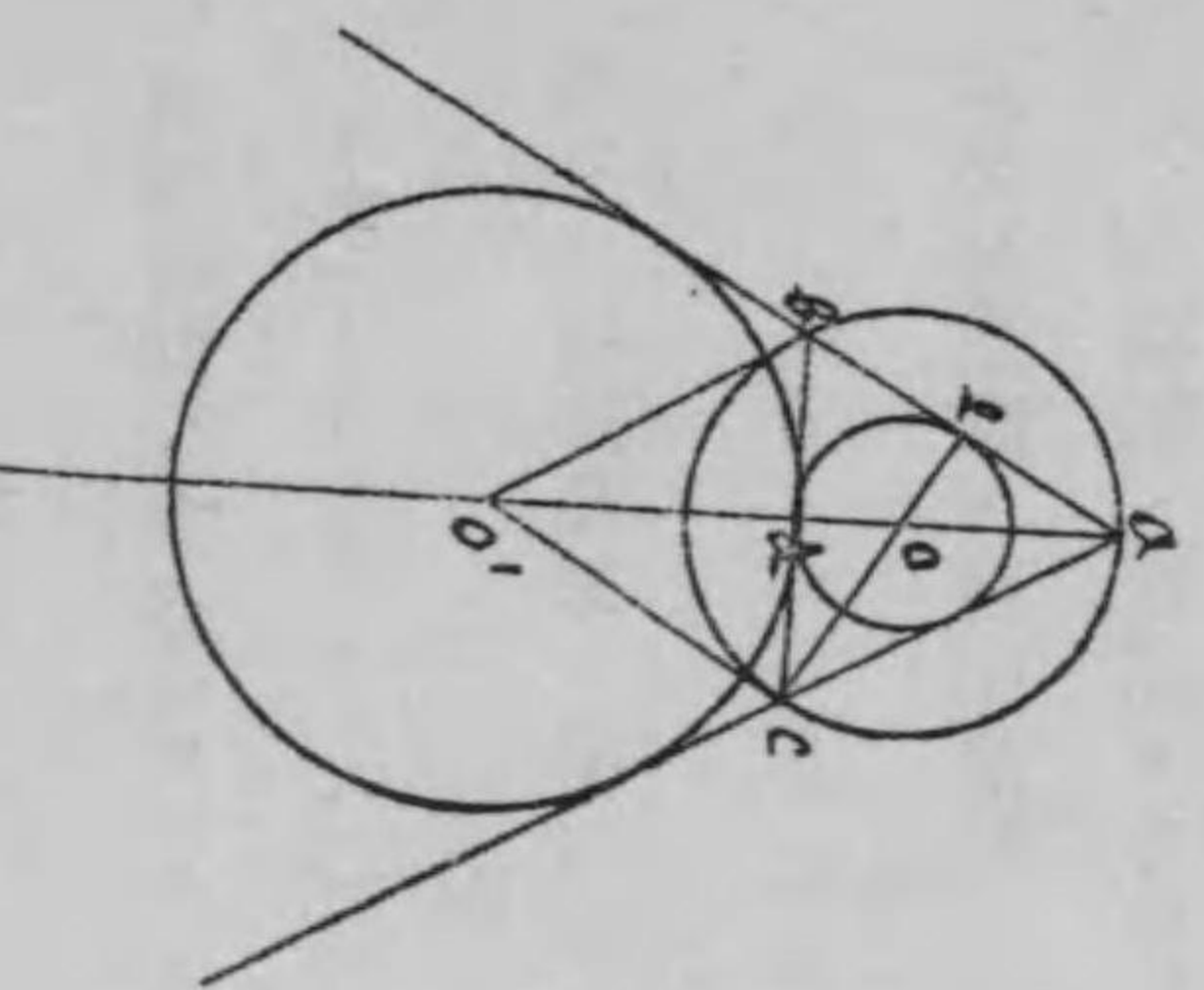
故ニ中線do'ニ中線ad

從ツテ傍切圓ノ半徑do'ニ中線ad

故ニ内切圓ノ半徑ヲ1トセバ、外切圓ノ半徑ハ2傍切圓ノ半徑ハ3ナリ。

故ニ圓ノ面積ノ比ノ定理ニ依リ此三圓ノ面積ノ比ハ

1 : 2² : 3²



5. 題意. 左圖ニ於テ ACトCDトノ和ヲ最大ナラシメヨ。

解析 先ヅC'ヲ所要ノ點ナリトシテC'ヨリ ABニ垂

線C'D'ヲ作リD'トス而シテC'D'ニ等シクAB

ノBノ方ヘノ延長上ニC''ヨリC'Eヲ取リ而シテ

D'Eヲ結ブニ $\triangle C'D'E$ ハ二等邊直角三角形ニ

シテ $\angle C'D'E = \angle C'ED' = 45^\circ$

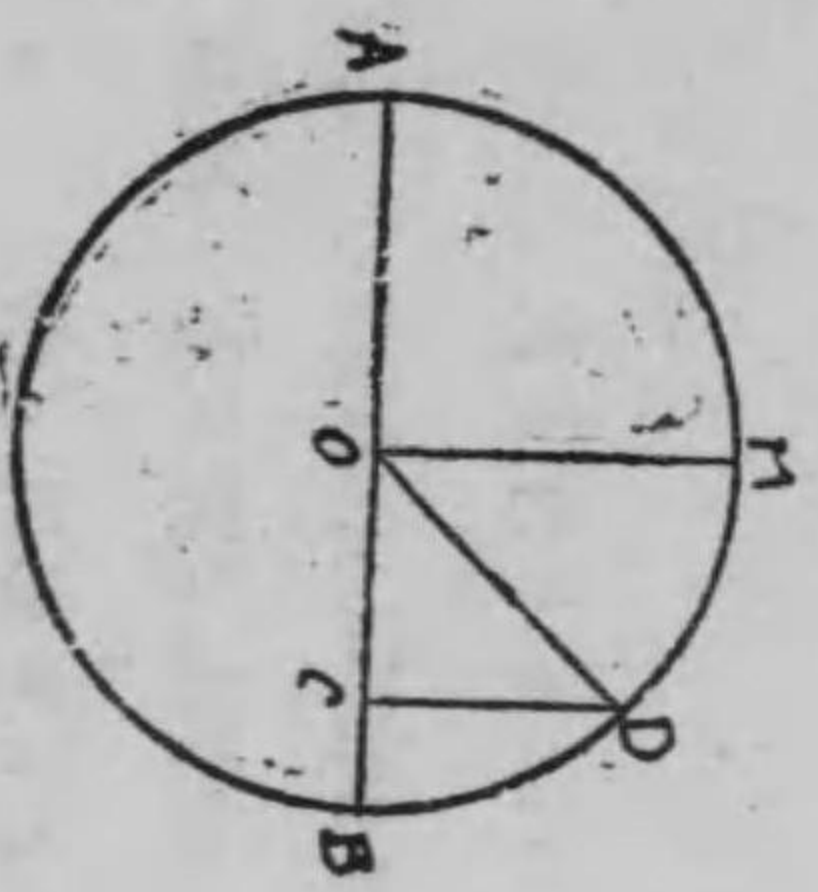
サスレバ $AC' + C'D'$ ノ最大ナルヲ望ムハ即チAE

ノ最大ナルヲ求ムルト同ジ。

然ルニDハ題意ニ依リ圓周上ニ有ラザルベカラ

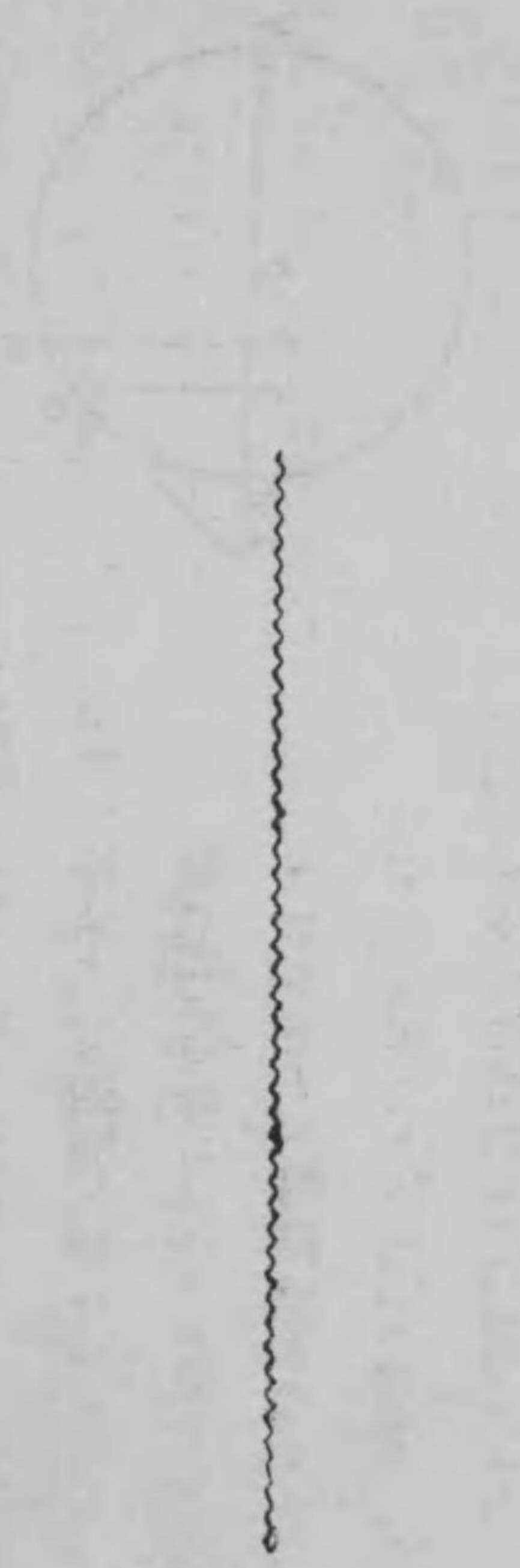
ザルガ故ニ

所要ノモノハ ABト 45° ヲナシ而シテO圓ノ切



線ノ切點ヨリノ AB = へノ垂線ノ足ナリ。

作圖 先ヅ圓ノ中心 O ヨリ直径 AB = 垂線ヲ立テ圓周トノ交點ヲ M トシテ更ニ其角 MOB ノ二等分線ヲ引キ圓周トノ交點ヲ D トシ D ヨリ AB = 垂線ヲ立テ其ノ足ヲ O トセバ O ハ所要ノ點ナリ。



國語

文科

大正九年度

- (一) 道理の無いのが道理のほんとうのところである。道理の通り行はるゝものであるならば難しいことは何もなからう。そうとも知らないで人と議論して争つたり國の政治回の事を講つたりなどして見識振つてゐるのは道理の眞實を解せぬのである。
- (二) 自己の事を顧みず我身を棄てる人であつてこそ大勢の人の人望を得られるのだ。損得を考へて自分のことをのみ計らうとすれば他人も矢張、同じ様に自分に對するであらう。他人が自分に冷酷であるといつて怨んだり、世は末であるといつて歎いたりして、其の結果社會の組織を難する様なものは先づ省みて自分を察するのが急務であらう。

(三)現今社會道德は昔日に比して頹廢の徵候あり。紳士といはれ成功者といはるゝ人にして法律に觸れざる限、不義不徳をなすを以て、反つて敏腕家なるがごとく思惟すこれ實に現代の徳育において最も憂慮すべき現象にして將來有爲の青年がかゝる輕佻浮薄の徒を模倣しその感化を受くるに至らば教育のこと絶望に歸するのみならず我が帝國の前途亦實に寒心に堪へざるなり。我等は斷じてかゝる惡風の感化を受くべからず見識を持すこと高く、品性修養の功を完うするを要す。

大正十年度

(一)神教、儒教、佛教等の教訓は種々あるが、上は畏れ多い國政より下は忙しい商人渡世或は市に出買する其日暮しの人に至るまで、朝寢をせよといふ教はないのである。それどころか聞くところによれば君を思ふ忠臣は朝は鶏と共に起き出で、夜は蚊にさゝれながら國家の事を思ひ愈く一伏吹はうと思ふと明の鐘が鳴り出して其數を數へるといふではないか。

(二)何によらず藝術に立つ人は浮世の惱みを脱する點に於て、清い世界に入り得る點に於て我利欲に捕はれることの全くない點に於て富豪よりも天子よりも、其他すべての俗界の幸運な人よりも幸福である。

大正十一年度

(一)夕月の月影に依りて玉篋の上にかゝつている霜がそこら中一杯に降りているのがきら／＼と光つて見えるなど、かへつて趣味深い冬枯の野の景色は聞であつて月がなかつたら残念な事せう。

(二)路は音もなく靜かに古今變ることのない春を縫ふている。そして花瓣が足の踏み所もない程、地に敷いている小村に、此婆さんは永い以前から一日も休まず馬の鈴の音を聞いて今日の如く白髪だらけの年になつたのだらう。

(三)イ)わすれがたみ(遺兒或ハ遺物)ロ)俗念を遣る(下劣な考へを拂ひ除ける事)ハ)勝地は主なし(風景のよいところは自由に見られる)ニ)ひたぶるに鄙びたり(全く田

舍臭い)

(三) 忠勤を擢むづ

(ロ) 舊習に拘泥して萎靡振はず

(ハ) 我意を逞しうす

(ニ) 煩悶に沈み自暴自棄に陥る

理科

大正九年度

(一) 成功と失敗といふものが人の値打を區別することは實に大きい。頼朝が後世に美名を残したのは事業が成功したからであり、義仲が汚名を残したのは事業が失敗したためである。歴史上義仲が叛臣傳に入っているのは眞に残酷なる判定といふべきである。が、斯様に酷な取扱を受けるといふのも主として大勢を見誤つた結果であ

る。大勢といふものは知らなければならぬものであるなあ。

(二) 家苞 (土産) 抽象 (精神界ノ現象) 歌枕 名所 敵愾心 (相手ト競争セントスル精神)

神) 首途 (出立ノ際) 方寸 (胸) 憧る (うかれること)

(三) 常ニ聖諭ヲ奉戴シテ孜孜奮勵シ、實力ノ滿ヲ持シテ放ツベキ時節ヲ待タバ、庶幾ハクハ以テ永遠ニ護國ノ大任ヲ全ウスル事ヲ得ン。神明ハ唯平素ノ鍛鍊ニ力メ戦ハズシテ既ニ勝テル者ニ勝利ノ榮冠ヲ授クルト同時ニ一勝ニ満足シテ治平ニ安ムズルモノヨリ直チニ之ヲ褫フ。古人曰ク勝ツテ兜ノ緒ヲ締メヨト。

大正十年度

(一) 大學者スベンサーハ其大著ノ中ニ科學ヲ最高最大ノ力デアルト見、此科學ヲ假リニ我等ノ精神界ノ女王トシ、凡ユル藝術文學ハ皆其レヲ賞メ讃ヘルコトヲ目的トシテ科學ニ土隸ノ如クニ使フベキ侍女デアルト説イタ。

(二) 傳統 (傳ハレル血統) (ロ) 賣僧 (破戒僧) (ハ) 月暈 (月傘) (ニ) 轉寢 (假寢) (ホ) 體験 (實

地ノ經驗) (ヘ) 藪蛇 (藪ヲ突イテ蛇ヲ出ス、餘計ナコトヲシテ馬鹿ヲ見ルコト)

(三) 懺悔の涙 (ロ) 霞簀掛の茶屋 (ハ) 旋毛曲り (ニ) 思索と經驗 (ホ) 阿彌陀籤をひく。

大正十一年度

(一) 普通人の心的作用はと云へば大抵雑多の現象がどんどんと表はれたり消えたりするのに任せて何等定まるところのない暮しむきの事をのみ見たり聞いたりしているのに過ぎない。これが爲に色や物やにこきつかはれたり溺れたりして行く方も知らず

に了つてしまふのである。

(二) (イ) 窓の硝子の紙は松風をすゝる様に音を立てゝいて夜を通して涼しい。

(ロ) 子は捨てることは出来ても身を捨てることは出来ないものである。

(ハ) しゃうか、しまいかと思ひ迷ふ様な事は大抵せぬ方がよい。

漢文

文科

大正九年度

(一) 東京櫻花ヲ以テ名アルハ人皆東台墨水飛鳥山ヲ稱ス。東台ハ垂絲櫻多シ。雜ルニ他種ヲ以テス。花候最モ早シ。墨水之ニ次グ。飛鳥山モ亦之ニ次グ。

東台多垂絲櫻 上野ニハ垂絲櫻(シダレ櫻)ガ多イ。

花候 花サク時期

(二) 昔時東台ニハ峻樓傑閣有リ雲際ニ聳立シ金碧燦煌トシテ樹間ニ照映ス。春雨始メテ霽レ東風徐ロニ度ルニ方リテ遙カニ一朶ノ白雲ヲ松ノ檜柏ノ間ニ認ムルヤ都人花候ノ來ルヲ知ルナリ。

傑閣 大イナル家

聳立 || 高クソビユルコト

金碧燦煌 || 金光ノ光リカバヤクサマニ云フ

東風徐度 || 東風ガソヨ / ト吹イテ來ルコト

矣 || 語ノ終リニ附シテ斷定ノ意ヲ表ハシ、「ケリ」「ナリ」ノ意

(三) 中興ノ後 堂宇灰燼 禁網稍々弛ミ 汚穢狼籍 櫻花花ヲ失フ

中興 (一度衰へタルヲ中頃マタ興スコト)

灰燼 (物ノ滅ブルニ云フ)

禁網 (法度、法規)

藉 (ミダレマシルコト)

大正十年度

(甲) 不_レズシテ見_レ可_レキヲ欲_ス而不_レザル亂_レ者ハ 善力猶淺シ也。 他日見_レテ可_レキヲ欲_ス安_シ知_ランヤ其不_レザルヲ亂_レ也。 見_レ可_レキヲ欲_ス而不_レザル亂_レ 則_チ其心深_ク入_リカ善_ニ。 善力已_ニ堅_シ。 可_レ下_レ以_テ處_ル聲

色貨利之中 而不_レ爲_ニ其ノ所_レ無_レ矣

譯 欲ガ出ナイウチニ心ノ亂レナイノハ未ダ善ノ力ガ淺イノダ、後日欲ガ出テキタトキニ、ドウシテ亂レナイト云フコトガ分ルモノカ。 欲ガ出テイテ亂レナイノハコレコソ善ニ深ク人ツテイル カクシテ泣聲女色財貨ノ中ニイテモ之ニ溺レナイデイルコトガ出キルノダ。

(乙) 義經神機武略。 智勇兼備 出奇制勝 雖_ニ韓日_一無_シ以_テ過_フコト_ト焉。 故_ニ

能_ク慶_ニシテ 平氏_ヲ於_ニ西海_ニ 建_フ不_世ノ之_勳。 然_レトモ恃_ム巧_ヲ專_ニ志_ニシテ、 不_ズ思_ハ善_後之_策ヲ 醜_醜讒_讒慝 兄弟不能_ニ相_容ル_身ハ爲_リテ_レ虜_ト流_離狼_狽セリ可_クレ_ンヤ勝_ヲ痛_惜ニ_哉、

(丙) 勿_レ以_テ惡_ヲ小_トシテ 而_爲ス_レト_之勿_レ以_テ善_ヲ小_トシテ 而不_レザルコト_爲サ

小サナコトダカラト云ツテ惡事ヲシテハナラヌ
ツマラヌ善ダカラト云ツテ爲サズニイテハナラヌ

大正十一年度

(一)是ノ日ヤ也天朗氣清惠風和暢ス仰イテ觀宇宙之大ヲ俯シテ察品類ノ之盛ヲ可以テ游日聘懷_一是以テ極ニ視聽ノ之娛_一信ニ可_レ樂_レ也。

惠風和暢_一芽出度イ風ガノドヤカニ吹ク

品類_一萬物

游日聘懷_一眺メ思ヒミル様

(二)司馬溫公曰光幼時弄青胡桃一女兒欲_レ脱_一其ノ皮_一不_レ得。女兒去リ一婢以テ湯ヲ脱_レ之_一女兒來リ問_レ光曰自_レ脱_レ也。先公適見_レ之_一呵_レ曰小子何_レ得_一謾語_一スルコトヲ。光自_レヨリ是_レ不_レ敢_レ謾語_一。

(三)孟子曰有_レ爲_一者辟_一若_レ掘_レ井_一。掘_レ井九仞_一而不_レ及_一泉_一猶_レ爲_レ棄_レ井_一也。孟子曰ク、道ヲ求メテ之ヲ完成セントスルモノハ譬ヘバ井戸ヲ掘ルガ如キモノデア_一アル、即チ潔ヨク道ニ進マントシテ中途其志ヲ拋棄スレバ前功ヲスアルモノデア_一ル之ヲ例ヘレバ深く深く井戸ヲ掘ツテ行ツテ泉ニ至ラズシテ遂ニ之ヲ棄ツルト等

シト云フ意ナリ、

理科

大正九年度

應仁以來天下大ニ亂_レ。王室衰微_一宮闕墜廢_一。凡_レ居_レ王土_一爲_レ王臣_一者_一誰_レ不_レ嗟_一悼_一。今_レ畿内粗_レ定_一當_レ修_レ禁_一以_レ安_レ帝座_一。然_レ亂後_一與_レ役_一不_レ可_一急_一迫_一恐_一擾_一民情_一宜_レ以_レ漸_一成_レ之_一。

大正十年度

(一)許衡家ニ居リ勤儉ニシテ自治ヲ強ウ。公愛兼_一不_レ盡_一嚴ナラズシテ整ウ。閭_一之内_一朝廷ノ如ク然リ。夫婦相待ツコト賓ノ如シ、凡_レ喪葬_一ハ一_一古制ニ導ヒ佛老ヲ用ヒズ。

勤儉 働キ節約ス

自治 自己ノ事ヲ自ラ治メルコト

閨門 部屋ノ入口轉ジテ一家ノ内

朝廷 政治ヲ行フトコロ

加賓 客ノ如シ

佛老 僧侶

(二) 夫レ勇悍趨捷ニシテ耻ヲ重ンジ死ヲ輕ンズルハ我國俗ノ自ラ有スル所ナリ。我先王又之ヲ養フニ恩ヲ以テシ之ヲ結ブニ信ヲ以テス。之ヲ撫摩鍊治シ數百千年ヲ經、國之民其上ニ親シミ其長ニ死スルコト手足ノ頭目ヲ扞グガ如ク以テ能ク四鄰ヲ震懾シ、魏唐之強大ト雖モ焉ニ加ヘ能ハザル以所ハ此俗ニ恃メバナリ。

趨捷 〓 スバシコクハヤシ

先王 〓 先代ノ王

撫摩鍊治 〓 養ヒキタヘルコト

閩國 〓 全國

扞 〓 フセグ、フサグ

震懾 〓 鄰 〓 隣國ヲシテ恐レシメルコト

魏唐 〓 支那ノ國名

大正十一年度

(一) 東京飛鳥山ハ舊ト江門ノ花海ト稱シ花時迨リテ都ヲ傾クル毎ニ出遊ノ士女絡繹タリ。鞭影衣香所在ニ群ヲ成シ人ヲシテ溱洧芍藥之概アラシムル也。

江門ノ花海 〓 河口ニ位セル花ノタクサンアルトコロノ意

傾都 〓 都ノ人ヲアゲテノ意

絡繹 〓 交通ノ繁キ事

衣香 〓 衣服ニシミタル香リ

溱洧芍藥之概 〓 支那ノ川ニ見ル芍藥ノ趣ガアツタ

(二) 進ンデ義勇ヲ三軍ニ厲シ退イテ高風ヲ百代ニ激ス、其生ハ軒昂百鍊崢嶸碎カズ。其

死豈霧散電滅シ漸盡シテ而水逝スベケンヤ。

三軍ニ大軍

高風ニ清キ名前

軒昂ニ氣ノ盛ナルコト

百鍊ニ種々ナル鍊磨

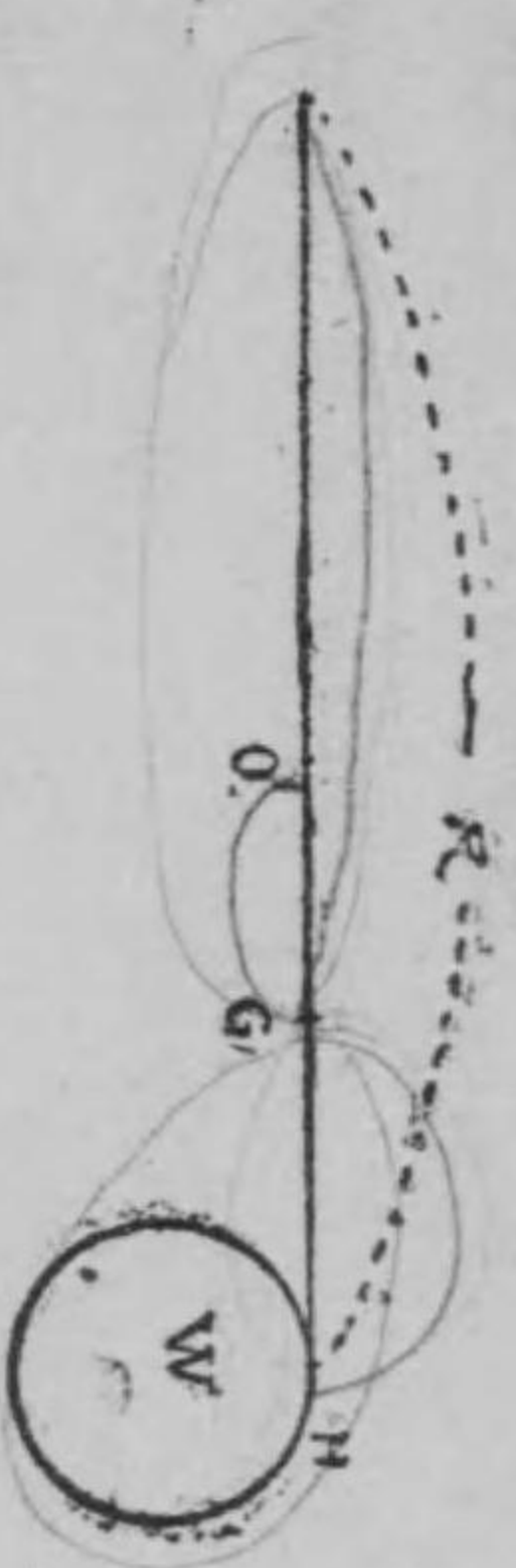
漸盡ニツキナクナルコト

水逝ニツマラナク死ス

物理化學

大正九年度

1) 求ムル重心ノ位置ヲGトス. 鐵丸ノ質量ヲWトシ棒ノ重心ヲOトスレバ其一端Hハ鐵球ノ重心ナリ。然ラバGニ關シテノ式ヲ生ズ。



$$\left\{ \frac{20}{10} \times (10 - GH) \right\} \times OG = GH \times \left(W + \frac{20}{10} \times GH \right)$$

$$\left\{ 2 \times (10 - GH) \right\} \times OG = GH \times \left\{ W + 2GH \right\}$$

$$OG = 5 - GH$$

$$\therefore (20 - 2GH) \times (5 - GH) = \overline{GH}W + 2\overline{GH}^2$$

$$100 - 30GH + 2\overline{GH}^2 = \overline{GH}W + 2\overline{GH}^2$$

$$100 = (30 + W)GH$$

$$GH = \frac{100}{30 + W} \dots \dots \dots A$$

$$\text{然ルニ } W = (0.5 \times 0.5) \times \frac{2^2}{7} \times 7.4 \times 7.8$$

$$= \frac{317.45}{7} \dots \dots \dots (B)$$

$$(A) = (B) \text{ヲ代入シテ } GH = \frac{100}{30 + \frac{317.45}{7}} = \frac{700}{527.45} = 1. \frac{8627}{2673} \text{ 寸}$$

\therefore 求ムル重心ハH點ヨリ中央ニムケ1. $\frac{8627}{26373}$ 寸ノ點ニアリ。

2) 1 だんノ力ガ物體ヲ一揮動スルノ仕事ヲ1 えるべト云フ。

1 封度ノ重量ノ物體ヲ一呎場ダブルルノ仕度ヲ1 呎封度ト云フ。

えるべノ一千倍即チ0⁵ えるべノ仕事ヲ1 じゆーるト稱ス。

毎秒1 じゆーるノ仕事ヲ1 わつとト云フ。

毎秒550 呎封度即チ745 わつとノ仕事ヲ一馬力ト云ヒ(英制)佛制ニラハ75 瓦米毎秒即チ736 わつとヲ一馬力トス。

3) 凡テノ氣體ハ或ル一定ノ温度以下ニ冷却セザレバ如何ニ壓力ヲ加ヘテモ液化スルコトナシ此温度ヲ其氣體ノ境界温度ト云フ。

水蒸氣ノ境界温度	365°
無水炭酸	31°
空氣	-14J°
水素	-24°

4) 同一振動數ヲ有スル二個ノ音又ヲ鳴サバ第一ノ音又ノ振動ガ空氣ニ傳ハリ空氣ノ

疎密波ハ他方ノ音叉ノ固有振動ト等シイ週期ヲ以テ之ニ衝突スルガ故ニ起ルモノナリ。

大正十年夏

1) 1 瓦ノ物體ニ作用シテ毎秒毎秒一厘ノ加速度ヲ生ゼシメルカヲ 1 ダイソト云フ。

∴ 1000 瓦ノ物體ニ 100 ダイソガ作用スレバ毎秒毎秒 $\frac{1}{10}$ 厘ノ加速度ヲ生ゼシム故ニ

$$50 = \frac{1}{10} t \quad \therefore t = 500 \text{ 秒}$$

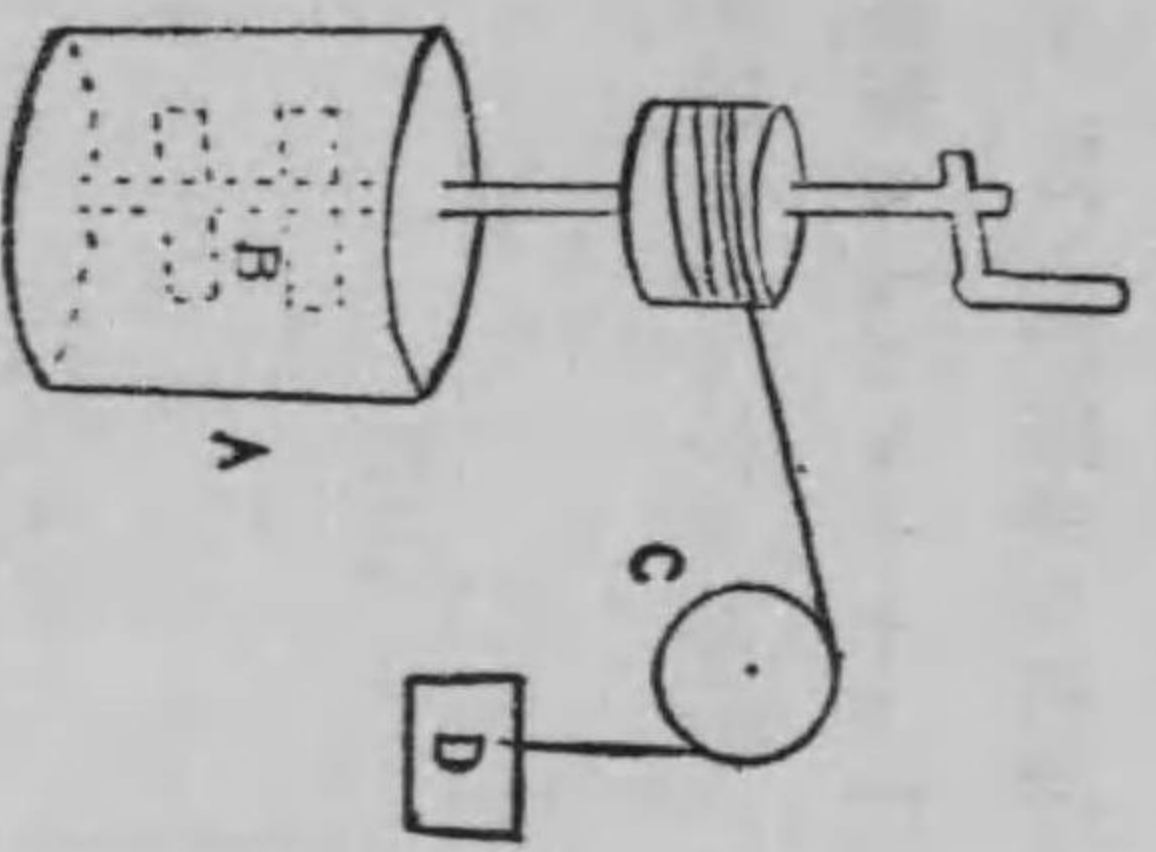
2) 甲力及乙力ハ其働キ直角ヲナスヲ以テ求ムル丙力ハ

$$\sqrt{40^2 + 30^2} = \text{丙力} = 50$$

∴ 丙力ハ正東北方向ニ向ツテ 50 斤重ノ力ナリ。

3) 仕事ハ熱ヲ發生シ熱ハ仕事ヲ得ルモノナリ 即チ熱モ亦えねるゾーノ一態ナルヲ知ル。茲ニ於テ 1 かるりノ熱量ハ 4.2×10^7 えるぐノ仕事ニ相當ス之ヲ熱ノ仕事當量ト云フ。

測定方法



水ヲ充テタル熱電計 A, 其中ニ羽根 B ヲ有スル攪拌機アリ。C ハ滑車ニシテ廻轉軸ニ巻ケル絲ニ依リテ 鍾 D ヲツル。今 鍾 D ノ質量ヲ N 瓦トシ H 厘下降シタル爲熱量計 A 中ノ N 瓦ノ水ガ熱セラレテ其温度 t° 上昇シタリトセバ 鍾ノ降下ニ依ル仕事ハ (重力ノ加速度ヲ g 秒厘毎秒トシテ) ngH えるぐニシテコレニ依ツテ器 A ノ水ノ得タル熱量ハ Nt かるりナリ故ニ 鍾ノ仕事ガ攪拌器ニヨリ水ニ移

リコレヲ熱シタルモノナリトセバ

1 かるりハ 此際 $\frac{ngH}{Nt}$ えるぐニ相當スベシ。

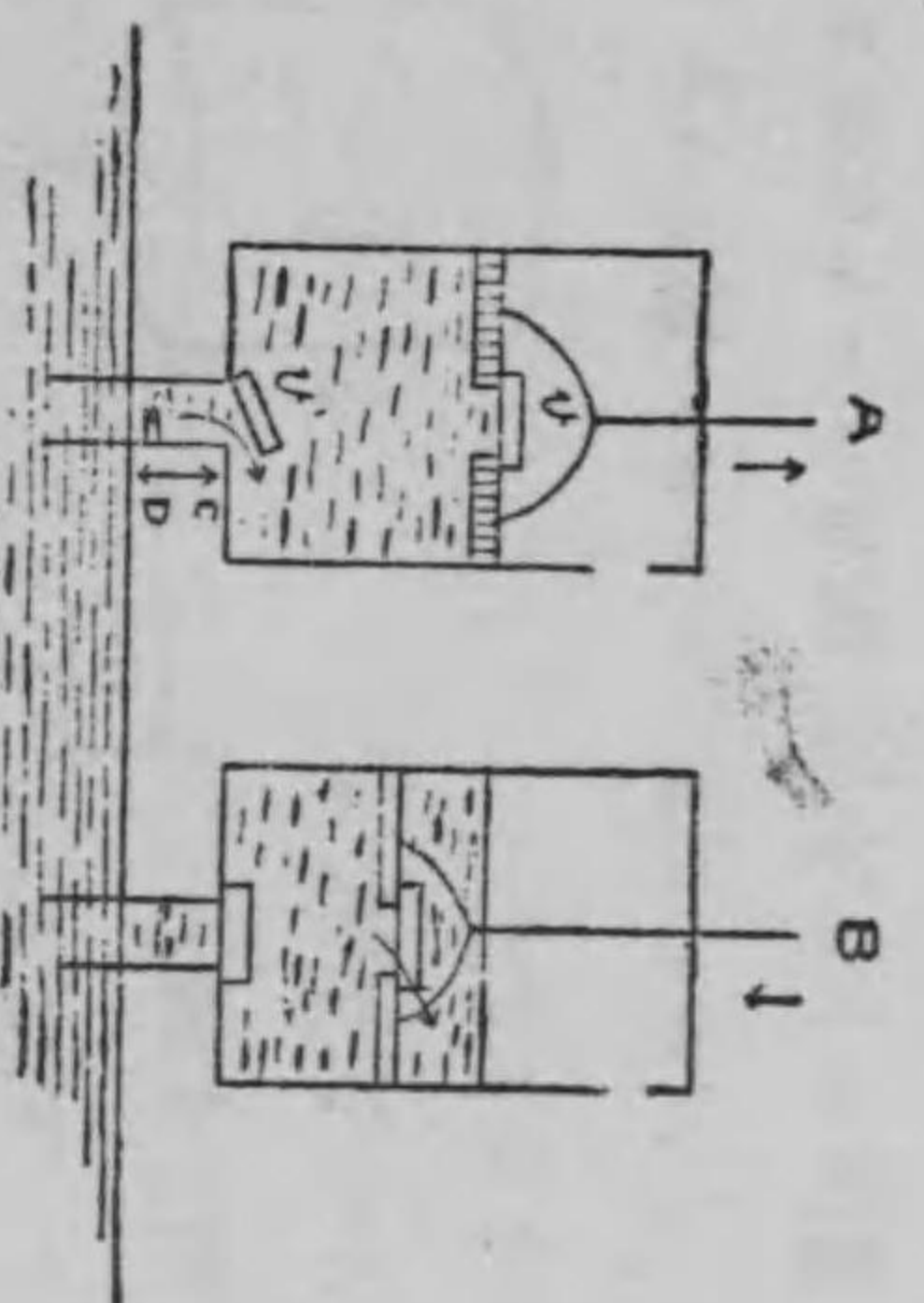
4) 水一立ノ重サハ 1000 瓦ナリ ∴ 390 立ハ 390000 瓦ナリ。

併シテ 0.°C ノ雪 1 瓦ガ 0.°C ノ水ニナルニハ 80 カロリーノ熱量ヲ要ス。

故 = $390000 \times (60 - 50) = 80x + 50x$

$x = 3100$ 答 3000瓦(雪)

b)



要部ハ活塞及ニツノ瓣並ニ圓筒ヨリナリ一ツノ瓣ハ活塞ニ他ハ圓筒ノ底部ニアリテ共ニ上方ニミ開ク今活塞ヲ下シテ後引キ上ゲルキハ(A)活塞ト底トノ間ニ真空ヲ生ゼシトスルガ故ニ活塞上ノ空氣ハ其壓力ニ依リ瓣Vヲ閉ヂ活塞ノ上ニ上ニ從ヒ筒外ニ

排出セラルト同時ニ水ハ外氣ノ壓力ニ依リ瓣Vヲ押し開キ筒中ニ進入ス次ニ活塞ヲ下ロストキハ(B)其壓力ニヨリVハ閉ヂ水ハVヲ開キテ活塞上ニ進出スベシ、故ニ此操作ヲ反覆スルキ水ハ漸時筒内ニ充テ外口ヨリ流出スルニ至ル。此時CTDノ高サハ10米ヲ超ユベカラズ。

大正十一年度

1) 物體ヲ直上ニ投グ上ゲル時初速度 = V 時間 = t 重力加速度 = $g = 9.8$ トセバ t 秒後ノ物體ノ位置ハ $Vt - \frac{1}{2}gt^2$ ナリ。

故ニ200米ノ高サヲ通過スル時刻ハ t ヲ未知數トシテ解ケバ可ナリ。

$200 = Vt - \frac{1}{2}gt^2$ $t = 2.2$ 或ハ18

∴2秒後 = 200米ノ所ヲ通過シ1.8秒後 = 又200米ノ處ヲ通過ス。

2) 100米ノ海底ニ於テ筒内ノ空氣ノ受クル壓力ハ

1氣壓 + $\frac{10000 \times 1.03}{76 \times 13.6} = 10.9$ (約)

而シテ1氣壓ノ下ニ於テ1米ノ長サノ空氣柱ハ10.9氣壓ニ於テハ

1米 $\times \frac{1}{10.9} = 9.1$ 櫃……………ノ長サナリ

故ニ1米 = 9.1櫃 = 90' 櫃(圓筒内ニ侵入スベキ海水ノ深サ)

3) 空氣中ニ現存スル水蒸氣ノ壓力ト其時ノ溫度ニ對スル水蒸氣ノ最大壓力トノ比ヲ

以テ表ハシタルモノヲ湿度ト云フ即チ

$$\text{湿度} = \frac{\text{空氣中現存スル水蒸氣ノ壓力}}{\text{其時ノ溫度ニ對スル水蒸氣ノ最大壓力}}$$

測定法

現在大氣ノ溫度ヲ計リ表ニヨツテ此溫度ニ相當スル最大壓力ヲ求メ、次ニ現存スル水蒸氣ノ壓力ヲ定ムル爲大氣ノ露點ヲ求ムルヲ要ス。何トナレバ大氣中ニ現存スル水蒸氣ノ壓力ハ露點ニ對スル最大壓力ナルカ故ニ露點ヲ知リ表ニヨリテ之ニ相當スル最大壓力ヲ求ムレバ可ナリ。

4) 或物質ノ一定量ヲ一度上昇セシムルニ必要ナル熱量ト同質量ノ水ヲ一度上昇セシムルニ要スル熱量トノ比ヲ其ノ物質ノ比熱ト稱ス。

測定法

此處ニ一物質アリ其質量 m 瓦ナリ今之ヲ t° ニ熱シタル後質量 m' 瓦ニシテ溫度 t'° ナル水中ニ投ジタリ。然ルキハ水ハ温メラレ其溫度 t'' ニ上昇シテ溫度遂ニ同一ト

ナリトシバ m 瓦ノ物ノ失ヒタル熱量ハ其比熱 c ニテ表セバ $cm(t-t')$ カゝリ一ニシテ水ノ得タル熱量ハ其ノ比熱ハ1ナルヲ以テ $1 \times m(t''-t')$ カゝリ一ナリ m 瓦ノ物ノ失ヒタル熱量ハ水ノ得タル熱量ニ等シキヲ以テ

$$cm(t-t') = m'(t''-t') \quad \therefore \frac{m'(t''-t')}{m(t-t')} \text{トナル之ヨリ比熱ヲ得ベシ}$$

5) 張リタル金屬線ノ中央ヲ打ツキ起ル運動ハ上下振動ナリ。此場合加ヘラレタル力ハ垂直ニ下ルモノトスレバ加ヘラレタル力ハ一部ハ音響トナリ一部ハ熱トナル。

化 學

大正九年度

1) 原子價或元素ノ一原子量ト化合スル水素ノ原子量ノ數ヲ其原子ノ原子價ト云フ即チ HCl H_2O H_3N H_4C 等ニ於テ鹽素ノ原子價ハ1 酸素ハ2 窒素ハ3 炭素ハ4 ナルコトヲ知ル。

分子式

1. 比重 1.8

2.1

融解ス

不融解

二硫化炭素 = 熔解ス

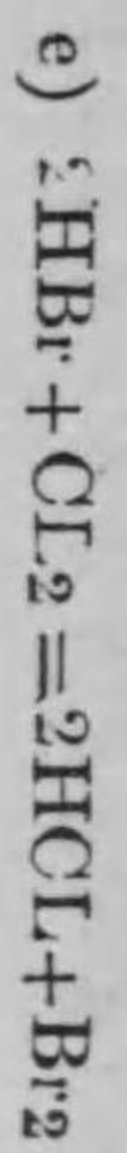
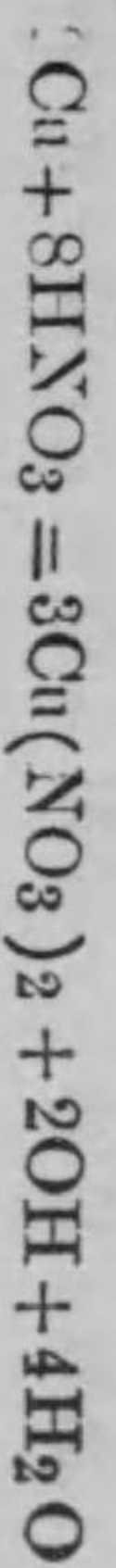
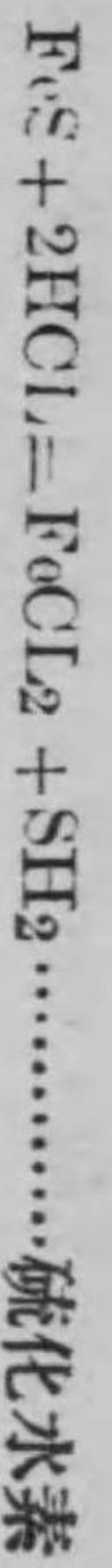
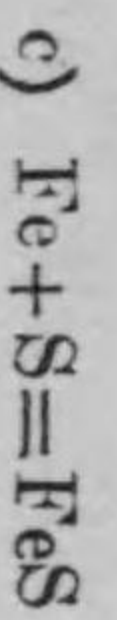
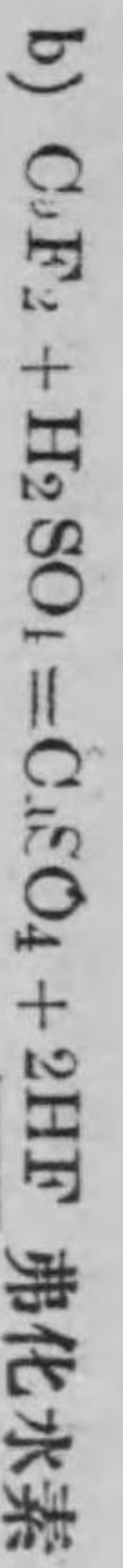
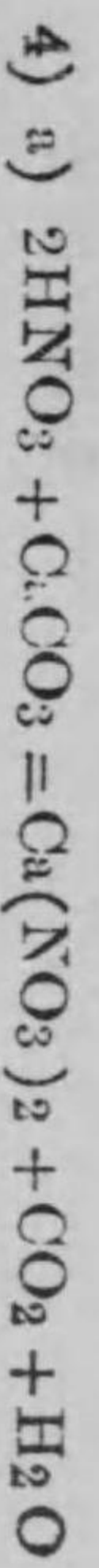
二硫化炭素 = 熔解セズ

暗所 = 發光ス

發光セズ

有毒

無毒



大正十年度

1) 倍数比例ノ定律

二種ノ元素化合シテ二種以上ノ化合物ヲ生スルキ一元素ノ同一量ニ對シ他元素ノ量ハ互ニ簡單ナル整数比ヲナス之ヲ倍数比例ノ定律ト云フ。

例	水	H_2O	水素ノ量	2	酸素ノ量	16	酸素ノ比	16:32 = 1:2
	過酸化水素	H_2O_2		2		32		

•	酸化炭素	CO	炭素ノ量	12	酸素ノ量	16	酸素ノ比	16:32 = 1:2
	無水炭酸	CO_2		12		32		

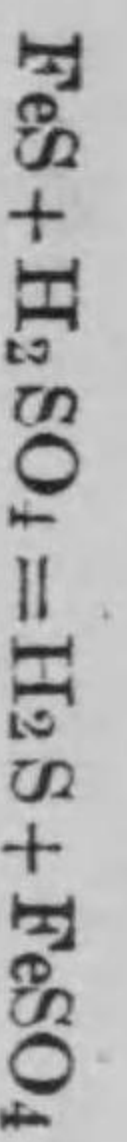
アゾガドローノ假説

同温同壓ニ於テ凡テノ氣體ノ同一體積中ニハ常ニ同數ノ分子ヲ含有ス。

2) (a) 製法

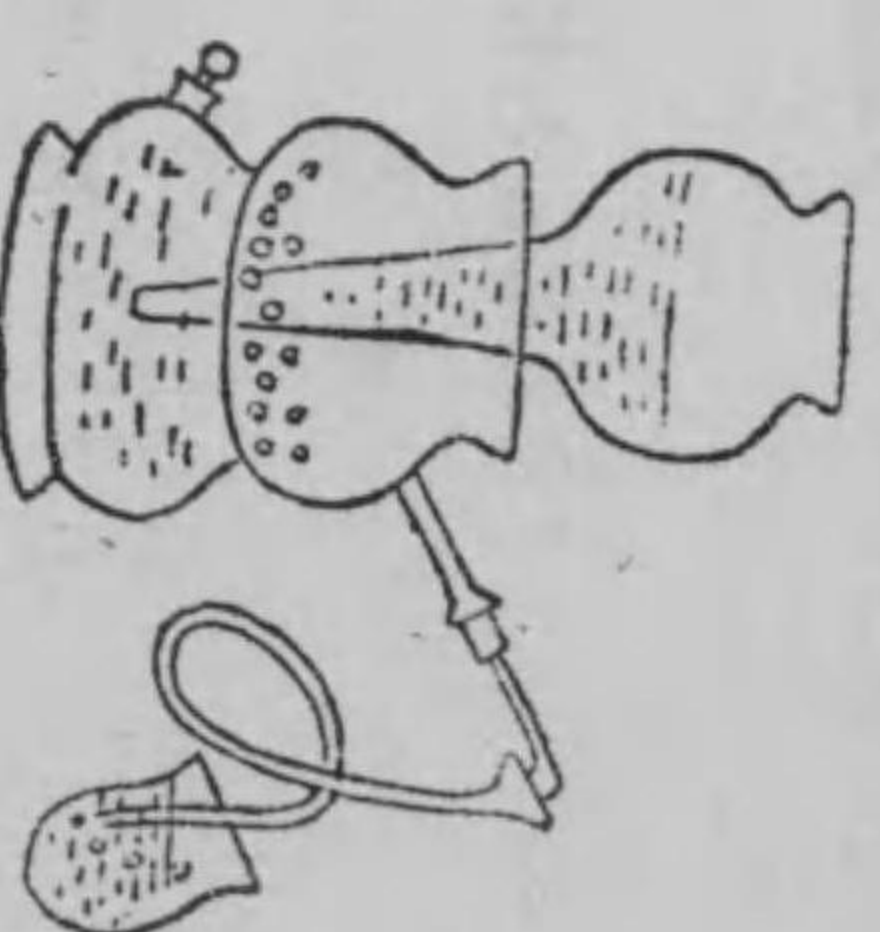
酸化ナトリウムニ硫酸ヲ作用セシメテ製スル法アレニ實驗室ニテハ硫化鐵ニ稀硫

酸ヲ加エテ製ス此場合熱スルヲ要セズ。



(b) 性質(物理的)

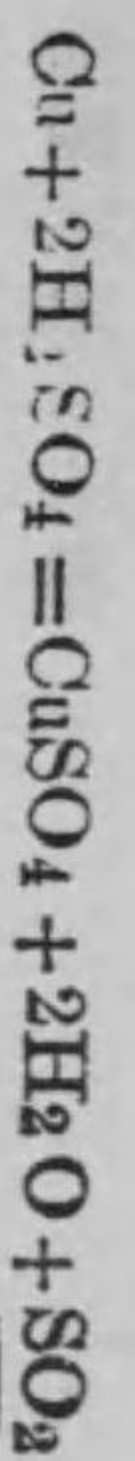
腐卵ノ如キ惡臭ヲ有スル無色ノ氣體ニシテ毒性アリ
空氣ニ對スル比重1.2ナリ。



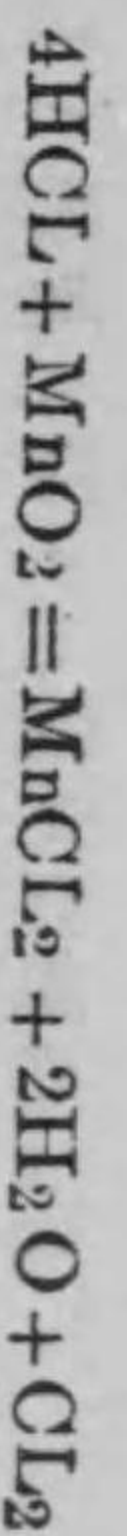
(c) 化學分析上ノ特性

各種ノ金屬ノ種類ニヨリ各特有ノ色ヲ呈スル沈澱ヲ生ズルガ故ニ分析上金屬イ
オンノ檢出ニ用ヒラル。

3) 無水亞硫酸



鹽 素



漂白作用

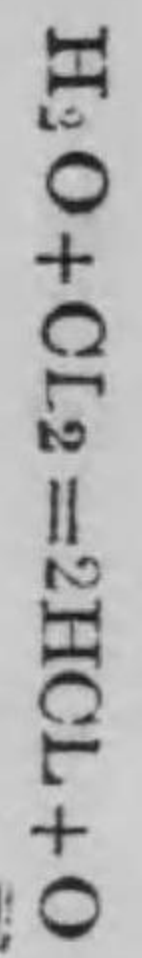
無水亞硫酸

無水亞硫酸ノ漂白作用ハ多クハ還元ニシテ時トシテハ直接化合ニヨルコトアリ即
チ無水亞硫酸ハ水ニ作用シテ亞硫酸ヲ生ジ此亞硫酸ハ他ヨリ酸素ヲ奪取シテ之
ヲ還元シテ硫酸ニ變ゼントスルノ性アリ。コレ無水亞硫酸ニテ漂白スルキ水ニ浸
ス必要アル所以ナリ。



鹽 素

鹽素ノ漂白作用ハ常ニ水ノ存在ヲ必要トスコレ鹽素ハ先ヅ水ニ作用シテ之レヲ
分解シ其水素ヲ奪ヒ取ツテ之レト化合シ酸素ヲ游離ス。



此酸素ハ發生機ノ酸素ナルヲ以テ勢大ニシテ色ニ作用シ之ヲ酸化シ無色ノ物質ニ變ゼシムルナリ。

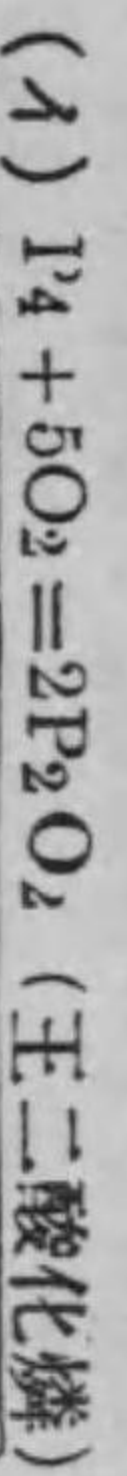
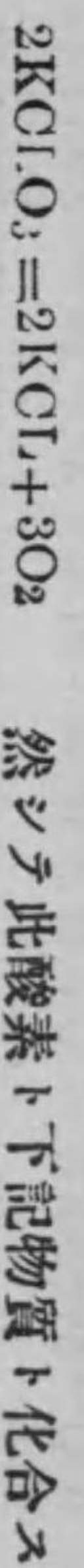
4 各氣體ノ分子量トハ、各氣體ノ酸素ニ對スル比重ヲ32倍シタルモノナリ。

$$\therefore \text{分子量} = \frac{\text{酸素ト同體積ナル或氣體ノ重量}}{\text{一定體積ノ酸素ノ重量}} \times 32$$

$$\therefore \frac{15.833}{1.429 \times 5} \times 32 = 70.4 (\text{約})$$

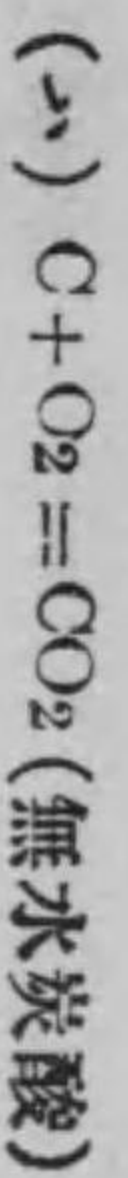
大正十一年

1) 鹽素酸カリウムヲ強熱スレバ分解シテ KCl ト O トニナル。



赤磷ヲ燒ケバ王二酸化磷ヲ生ズ $\therefore 31 \times 4 : 304 = 2 : x$

$$\therefore x = \frac{608}{124} = 4.875 (\text{王酸化磷})$$



此式ニ於テ炭素12ヲ燃シテ CO₂ 即チ44ヲ得ヨリテ Cヲ2燃セバCO₂ ノxヲ生ズ (xニ未知數)

$$12 : 44 = 2 : x \quad x = 7.3 \text{約}$$

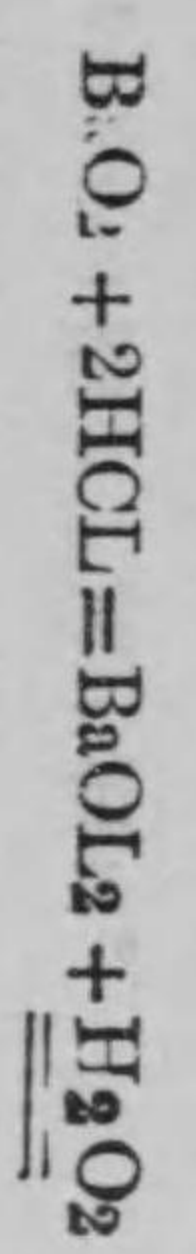
2) 水素ト一酸化炭素トハ物理的性質甚シク異ルニ係ラズ其化學的性質ハ甚ク似タルモノアリ即チ下記ノ如シ。

水	素	一酸化炭素
密度 0.09		1.25
臨界温度 -242°		-140°
微青色ニ燃燒ス		淡青色ニ燃燒ス
支燃性ヲ有セズ		支燃性ヲ有セズ

還元作用ヲ呈ス 無 害	還元作用ヲ呈ス 有 毒
----------------	----------------

3) 製法

酸素ト水素トハ水ノ他ニ過酸化水素ト云フ化合物ヲ生ズ此物質ハ過酸化バリウムニ稀鹽酸ヲ作用セシメラ製セラレ。

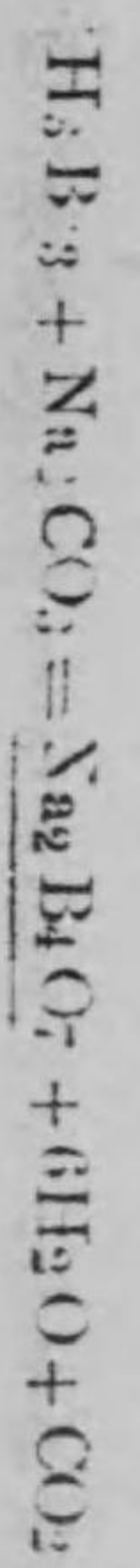


過酸化水素ハ又水ノ蒸發ニ依リテ自然ニ生成スルモノトス。

用途 過酸化水素ノ用途ハ其發生機ノ酸素ノ酸化作用ニアリシカモ液體ナルガ故ニ取扱便利ナルノミナラズ其漂白作用強激ナラザルガ故ニ象牙羽毛等ノ漂白ニ用ヒラル又油繪ノ複色等ニモ用ヒラルナリ。

4) 硼砂

硼砂ハ硼酸ニ炭酸曹達ヲ作用セシメラ製ス。



硼砂ハ一斜稜柱形ノ結晶ニシテ冷水ニハ7%熱湯ニハ5%ヲ溶解ス。微ニアルカリ性反應ヲ呈ス。硼砂ノ用途ハ金屬ヲ蠟付スルニ用ヒ鍛接ノ際銹ヲ除クニ用ヒラル金屬鑿ノ爲ニ使用セラレ。

Na₂B₄O₇
HOB

作文

一七八

こゝに作文の答案様式を掲げるのは、讀者諸君に對して一つの忠告を捧げたい爲である。

由來作文といふものは、自分の思想を發表する爲の稽古である。故に其目的は當然偽り誤ることなく自分の思想を發表し得る様になれば達せられたといふべきであるが讀む人に強い印象と完全な感得を與へ得る爲には更に技巧といふ點に考を要するのである。技巧といつても紋切形の三段形式などばかりに捕はれると發表しやうとする思想其物を傷ける様になるから、各自は其天分に訴へ、提出された問題を熟考してから、筆を取る様にせられたい。

要は多くの先輩の作物を熟讀翫味して、一面には自分の思想を豊富にし一面には不言の間に發表の「コツ」とでも云ふべきものを呑み込む様につとめ、平生は絶えず作文を稽古して行くべきであらう。昨日書いたものを今日見る様にして行けば、先生はなくても立派に練習が出来るのである。天分を發揮すると云ふ方面から見ても此方法は理想的である。

次に載せたものは『専門を擇んだについて』といふ問題の注文に對しては稍はづれてゐる様な趣があるけれども、表はれてゐる氣分より見ても、前途といふものに對する決心といふ點より見ても、或は又文章の洗練されてゐる點や、形式の調つてゐる點より見ても大きな参考文たるべきものである。これは有島武郎氏作「生れ出つる惱み」の一節を拜借したものである。

前途

君よ。然し僕は君の爲に何を爲すことが出来やうぞ。君とお會ひした時も、君のやうな人が――全然都會の臭味から免疫されて、過敏な神経や過量な人爲的智見に煩はさ

れず、強健な意力と、強靱な感情と、自然に哺まれた叡智とを以て自然を端的に見る事の出来る君のやうな土の子が——藝術の捧誓者となつてくれるのをどれ程望んだらう。けれども僕は喉まで出さうになる言葉を強ひて抑へて、凡てを擲つて藝術家になつたらいいだらうとは君に勧めなかつた。

それを君に勧めるものは君自身ばかりだ。君が唯獨りで忍ばなければならぬ煩悶——それは痛ましい陣痛の苦しみであるとは云へ、それは君自身で癒さなければならぬ苦しみだ。

君が一人の漁夫として一生を過ごすのがいいのか、一人の藝術家として終身働くのがいいのか。僕は知らないそれを軽々しく云ふのは餘りに恐ろしい事だ。それは神から直接君に示されなければならない。僕はその時が君の上下一刻も早く来るのを祈るばかりだ。

而して僕は、同時にこの地球のそここゝに君と同じ疑ひと悩みとを持つて苦しん

でゐる人々の上に最上の道が開けよかしと祈るものだ。この切なる祈りの心は君の身の上を知るやうになつてから僕の心の中に殊に激しく強まつた。

ほんたうに地球は生きてゐる。生きて呼吸してゐる。この地球の生まんとする悩みこの地球の胸の中に隠れて生れ出やうとするもの、悩み——それを僕はしみんゝと君によつて感ずる事が出来る。それは湧き出で跳り上る強い力の感じを以て僕を涙ぐませる。

君よ！今は東京の冬も過ぎて、梅が咲き椿が咲くやうになつた。太陽の生み出す慈愛の光を、地面は胸を張り擴げて吸ひ込んでゐる。春が来るのだ。

君よ春が来るのだ。冬の後には春が来るのだ。君の上にも確かに、正しく、力強く永久の春が微笑めよかし……僕はたいそう心から祈る。